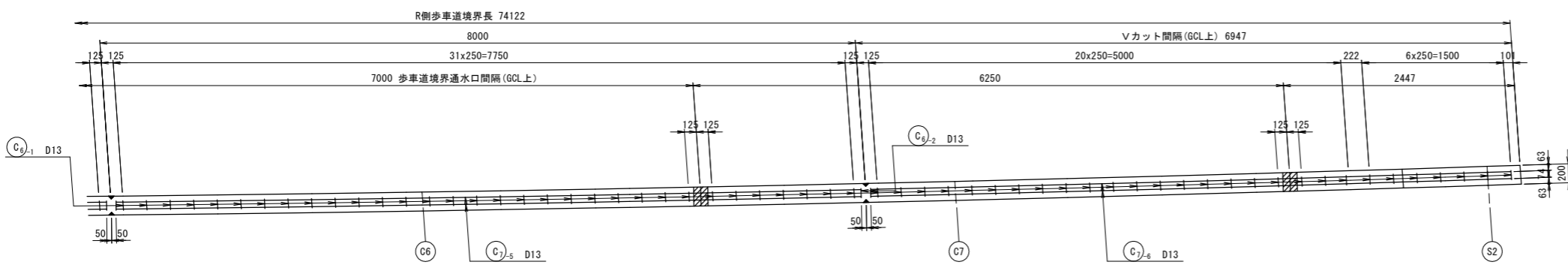
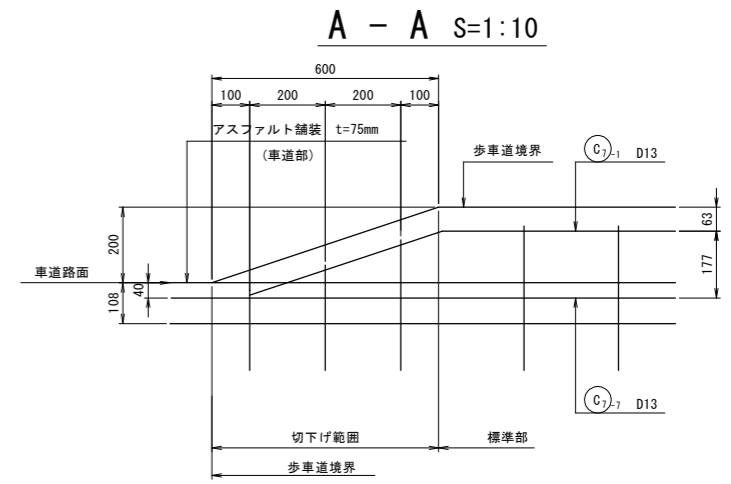
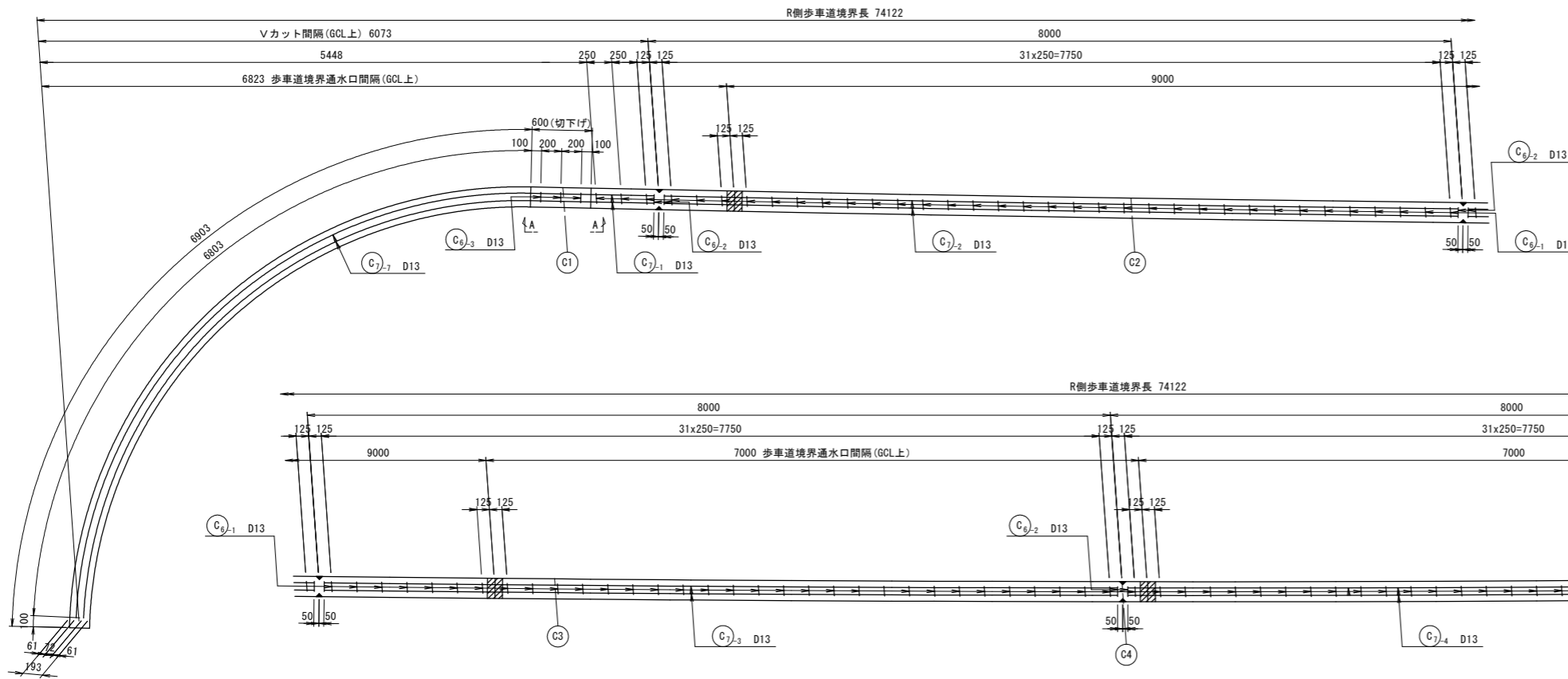


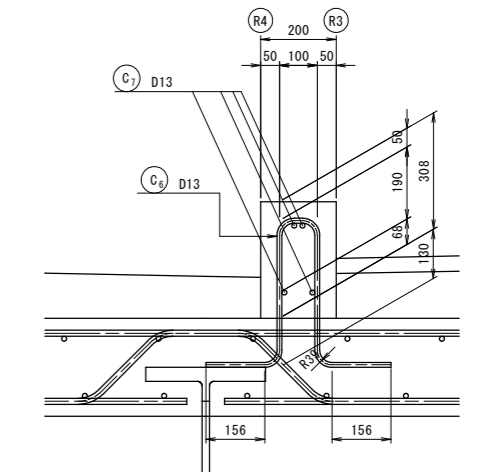
床版配筋図(その10) S=1:30

R側歩車道境界



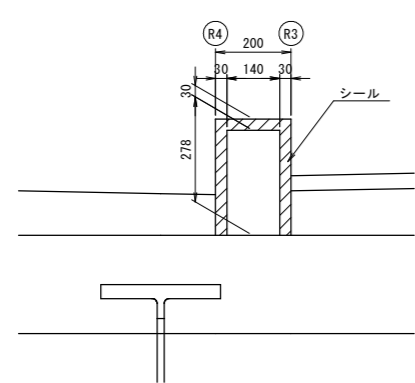
歩車道境界断面図 S=1:10

R側歩車道境界

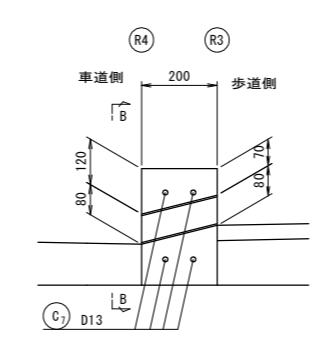


Vカット詳細 S=1:10

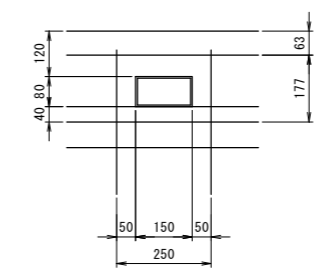
R側歩車道境界



歩車道境界通水口 S=1:10



B-B S=1:10



- 注記
- 鉄筋の材質は全てSD345とする。
 - 配置図は「床版詳細図(その6)」を参照のこと。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	床版配筋図(その10)		
縮尺	1:30	図面番号	31 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

床版配筋図(その11) S=1:30

鉄筋加工図

鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	-1	D16	10000	190	1.560	15.60	2964
S1	-2	D16	4500	190	1.560	7.02	1334 (平均長)
S2		D16	2890	178	1.560	4.51	802 (平均長)
S3		D16	2700	1068	1.560	4.21	4498
S4		D16	1920	178	1.560	3.00	533 (平均長)
S5		D16	720	178	1.560	1.12	200 (平均長)
S6		D16	760	2670	1.560	1.19	3167
S7		D16	740	178	1.560	1.15	205 (平均長)
H1	-1	D13	12000	156	0.995	11.94	1863
H1	-2	D13	10500	52	0.995	10.45	543
H2	-1	D13	12000	186	0.995	11.94	2221
H2	-2	D13	9500	62	0.995	9.45	586
H3		D13	5860	1	0.995	5.83	6
H4		D13	4440	1	0.995	4.42	4
H5	-1	D13	12000	1	0.995	11.94	12
H5	-2	D13	11000	1	0.995	10.95	11
H6		D13	5640	1	0.995	5.61	6
H7		D13	4170	1	0.995	4.15	4
H8	-1	D13	12000	2	0.995	11.94	24
H8	-2	D13	5500	1	0.995	5.47	5
H9	-1	D13	12000	9	0.995	11.94	107
H9	-2	D13	11000	3	0.995	10.95	33
H10	-1	D13	12000	6	0.995	11.94	72
H10	-2	D13	11000	2	0.995	10.95	22
H11	-1	D13	12000	6	0.995	11.94	72
H11	-2	D13	9500	2	0.995	9.45	19
H12	-1	D13	12000	6	0.995	11.94	72
H12	-2	D13	9500	2	0.995	9.45	19
Y1		D13	1470	37	0.995	1.46	54 (平均長)
Y2		D13	1470	37	0.995	1.46	54
Y3		D13	670	6	0.995	0.67	4
Y4		D13	760	90	0.995	0.76	68
Y5		D13	380	6	0.995	0.38	2
Y6		D13	1420	37	0.995	1.41	52 (平均長)
Y7		D13	1470	37	0.995	1.46	54
Y8		D13	650	6	0.995	0.65	4
Y9		D13	760	90	0.995	0.76	68
Y10		D13	350	6	0.995	0.35	2
A1		D16	590	54	1.560	0.92	50
A2		D16	590	51	1.560	0.92	47
D1		D16	1000	56	1.560	1.56	87

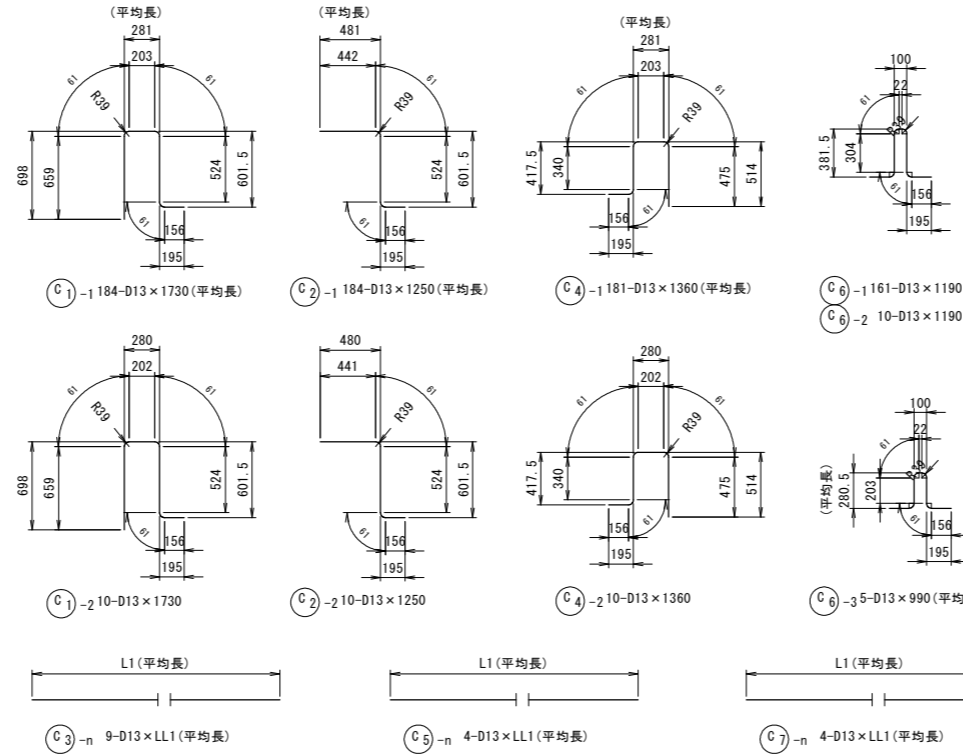
19950

D13 6063 kg

D16 13887 kg

合計 19950 kg

橋面積		642.589	m ²
アスファルト舗装面積	車道部 (t = 75~125 mm)	390.446	m ²
	歩道部 (t = 40 mm)	186.619	m ²
防水層面積	車道部 (シート系)	390.446	m ²
	歩道部 (塗膜系)	186.619	m ²
コンクリート体積	床版 (σ _{ck} = 30 N/mm ²)	191.136	m ³
	調整コンクリート (σ _{ck} = 18 N/mm ²)	44.418	m ³
	間詰めコンクリート (強度指定なし)	30.323	m ³
膨張材質量	(w = 30 kg/m ³)	7977	kg
型枠面積		7.517	m ²
埋込型枠 (発泡スチロール)	体積	356.209	m ³
	面積	593.351	m ²

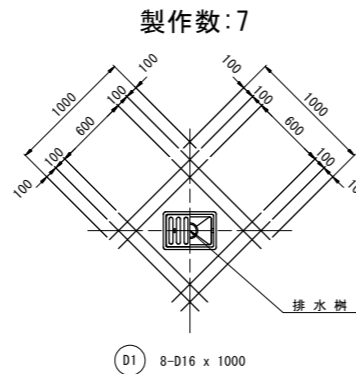


記号	L1	LL1
C3-1	6808	6810
C3-2	7911	7920
C3-3	7905	7910
C3-4	7898	7900
C3-5	7892	7900
C3-6	6787	6790

記号	L1	LL1
C5-1	6040	6040
C5-2	7909	7910
C5-3	7902	7910
C5-4	7897	7900
C5-5	7891	7900
C5-6	6786	6790

記号	L1	LL1	N
C7-1	1158	1160	2
C7-2	7910	7910	4
C7-3	7904	7910	4
C7-4	7897	7900	4
C7-5	7891	7900	4
C7-6	6786	6790	4
C7-7	8033	8040	2

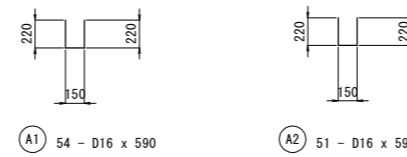
排水柵補強鉄筋図



製作数:7

D1 8-D16 x 1000

伸縮装置部埋込鉄筋



A1 54 - D16 x 590

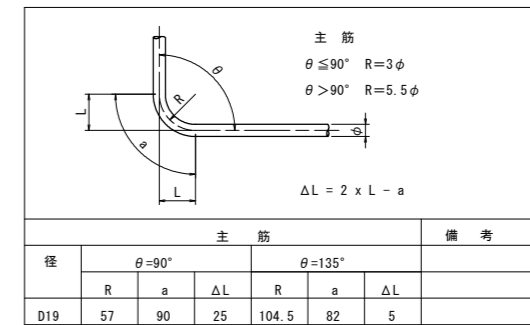
A2 51 - D16 x 590

注) A1 A2については、伸縮装置図を参照のこと。

鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C1	-1	D13	1730	184	0.995	1.72	317 (平均長)
C1	-2	D13	1730	10	0.995	1.72	17
C2	-1	D13	1250	184	0.995	1.24	229 (平均長)
C2	-2	D13	1250	10	0.995	1.24	12
C3	-1	D13	6810	9	0.995	6.78	61 (平均長)
C3	-2	D13	7920	9	0.995	7.88	71 (平均長)
C3	-3	D13	7910	9	0.995	7.87	71 (平均長)
C3	-4	D13	7900	9	0.995	7.86	71 (平均長)
C3	-5	D13	7900	9	0.995	7.86	71 (平均長)
C3	-6	D13	6790	9	0.995	6.76	61 (平均長)
C4	-1	D13	1360	181	0.995	1.35	245 (平均長)
C4	-2	D13	1360	10	0.995	1.35	14
C5	-1	D13	6040	4	0.995	6.01	24 (平均長)
C5	-2	D13	7910	4	0.995	7.87	31 (平均長)
C5	-3	D13	7910	4	0.995	7.87	31 (平均長)
C5	-4	D13	7900	4	0.995	7.86	31 (平均長)
C5	-5	D13	7900	4	0.995	7.86	31 (平均長)
C5	-6	D13	6790	4	0.995	6.76	27 (平均長)
C6	-1	D13	1190	161	0.995	1.18	191
C6	-2	D13	1190	10	0.995	1.18	12
C6	-3	D13	990	5	0.995	0.99	5 (平均長)
C7	-1	D13	1160	2	0.995	1.15	2 (平均長)
C7	-2	D13	7910	4	0.995	7.87	31 (平均長)
C7	-3	D13	7910	4	0.995	7.87	31 (平均長)
C7	-4	D13	7900	4	0.995	7.86	31 (平均長)
C7	-5	D13	7900	4	0.995	7.86	31 (平均長)
C7	-6	D13	6790	4	0.995	6.76	27 (平均長)
C7	-7	D13	8040	2	0.995	8.00	16 (平均長)
1792							
D13						1792	kg
地覆コンクリート体積 (σ _{ck} =24N/mm ²)				20.751		m ³	
車道境界コンクリート体積 (σ _{ck} =24N/mm ²)				2.624		m ³	
膨張材質量 (w = 30 kg/m ³)				702		kg	
型枠面積				101.405		m ²	

鉄筋曲げ加工表



注記

1. 配置図は「床版詳細図(その8)」を参照のこと。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	床版配筋図(その11)
縮尺	1:30 図面番号 32 / 56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

支承詳細図(その1) S=1:15

A1: 固定

設計条件

反力	最大反力	Rmax	1400 kN	
	最大反力 回転照査用	Rmax2	710 kN	
	死荷重反力	Rd	970 kN	
	最大活荷重反力	Rl	430 kN	
	最大水反力	Rheq1	855 kN	
変位量	上向きの地震力	Ru	291 kN	
	照査荷重時の変位量	δ_{cl}	0.29 mm	
	回転変位量	δ_r	0.58 mm	
	水変位量	常時橋軸方向	$\Delta L1$	0 mm
		橋軸直角方向	$\Delta Le1$	0 mm
		地震時	$\Delta Le2$	0 mm

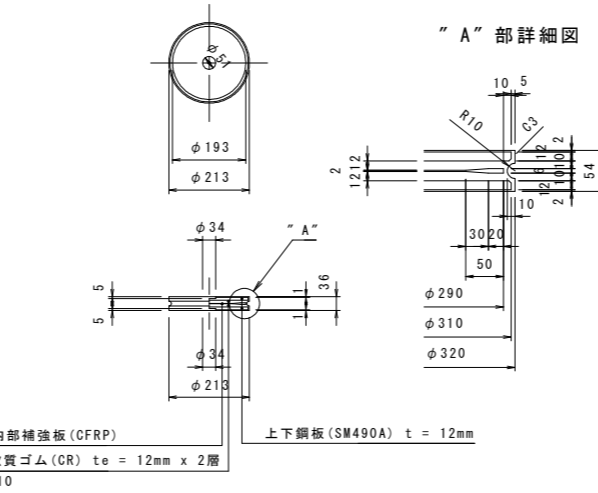
材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	17.9	CR Ge=1.0N/mm ²
2	上沓	SM490A	1	65.2	
3	ベースプレート	SM490A	1	240.2	
4	下沓	SM490A	1	155.9	
5	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	86.4	
6	せん断キー	SM490A	1	16.9	
7	アンカーボルト	S35CN+SR235	4	35.2	
8	六角ボルト	-----	12	3.3	座金(22H)付
9	六角ボルト	-----	12	2.6	座金(22H)付
10	六角穴付ボルト	-----	8	5.2	
11	せん断キー	SM490A	2	0.3	
12	調整プレート	SM490A	1	169.1	
13	取付プレート	SM490A	1	87.0	
14	六角ボルト	-----	8	---	座金(22H)付
全質量(kg)				885.2	

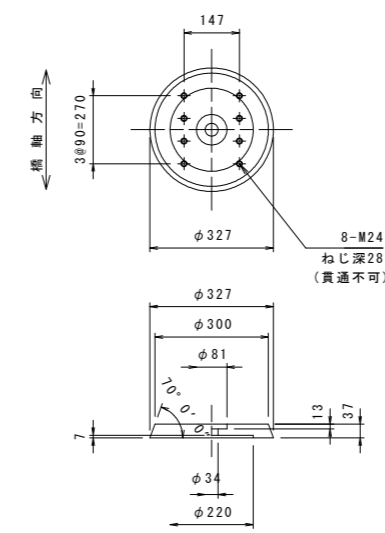
注) 1. ◎印はST-SGN12仕様とする。
 2. ◇印はMEL-N12仕様とする。
 ただし、ナイロンコーティングはボルト頭部及びワッシャーのみとし、ボルト本体はMELめつきとする。
 3. ○印はST-SG仕様とする。
 4. □印は黒色酸化皮膜処理とする。
 注) 5. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする
 注) 6. 必要に応じて吊り用のねじ孔を設けてもよい。

8	六角ボルト	M20x80	強度区分 10.9
		平座金(22H)	
9	六角ボルト	M20x55	強度区分 10.9
		平座金(22H)	
10	六角穴付ボルト	M24x150	強度区分 10.9
14	六角ボルト	M22xL	強度区分 10.9
		平座金(22H)	

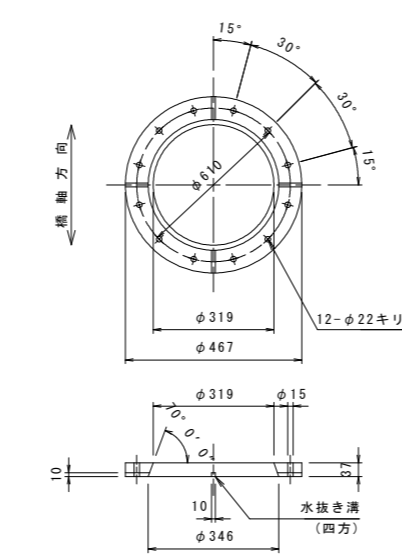
① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP



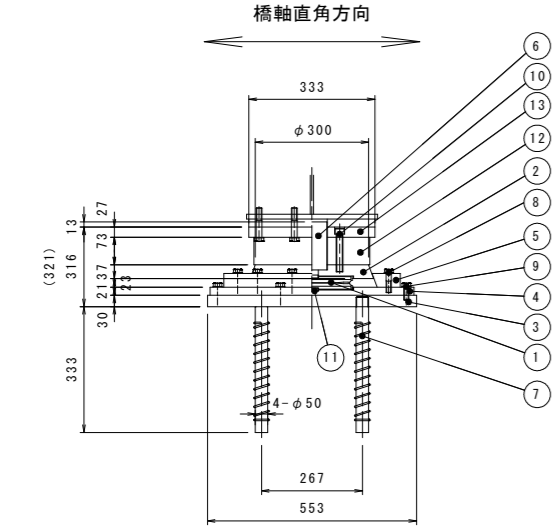
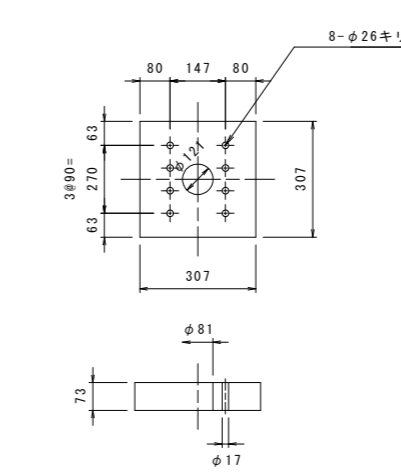
② 上沓 SM490A



⑤ 拘束リングプレート SM490A 又は S35CN相当以上

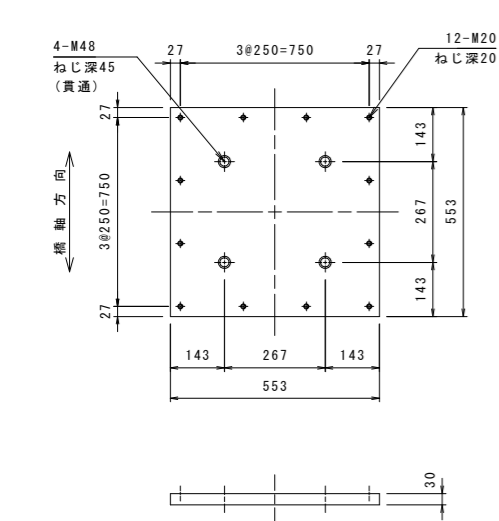


⑫ 調整プレート SM490A

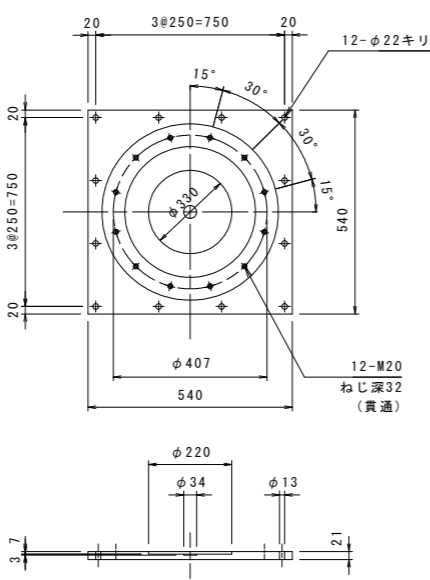


注) () 内寸法は重防錆皮膜を考慮した構造高を示す。

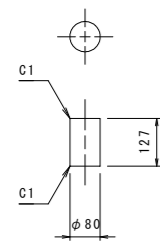
③ ベースプレート SM490A



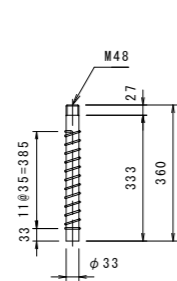
④ 下沓 SM490A



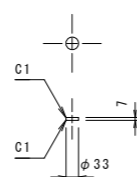
⑥ せん断キー SM490A



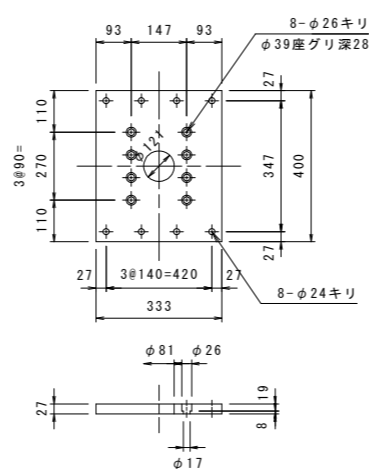
⑦ アンカーボルト S35CN+SR235



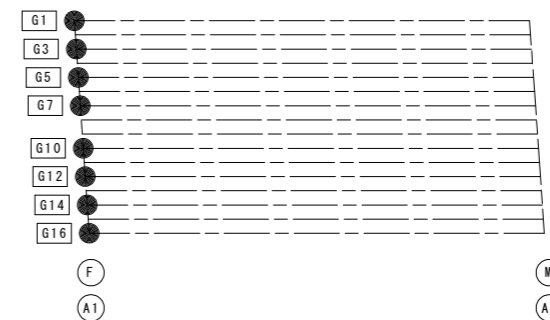
⑩ せん断キー SM490A



⑬ 取付プレート SM490A



位置図



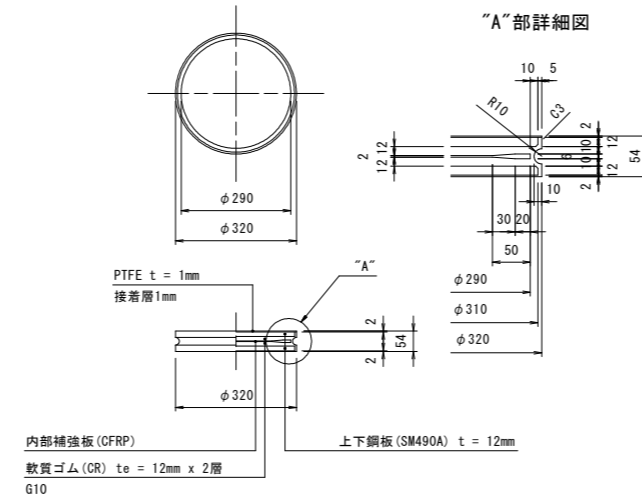
当初設計図面 縮小版
 【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	支承詳細図(その1)		
縮尺	1:15	図面番号	33 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

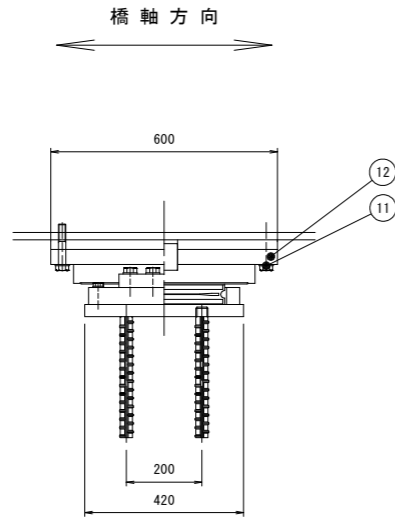
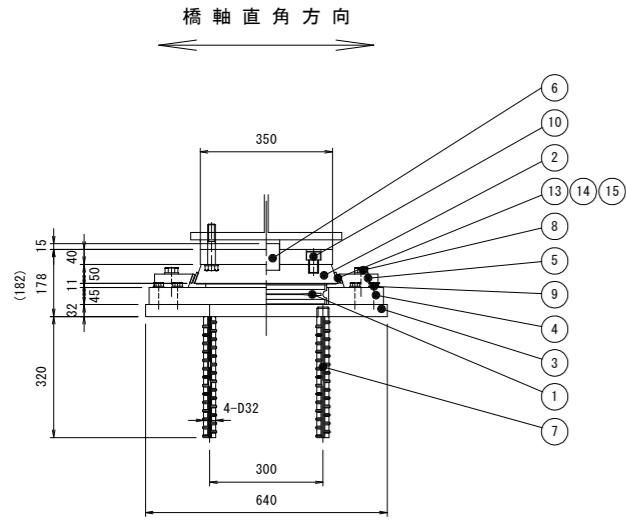
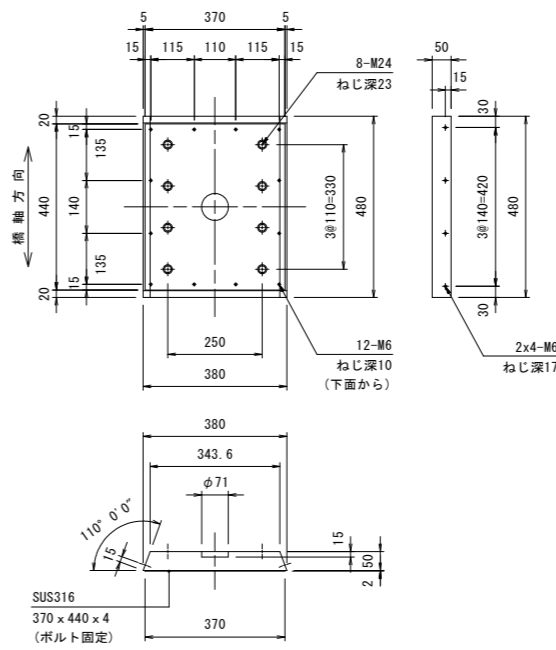
支承詳細図(その2) S=1:10

A2: 可動

① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP+PTFE

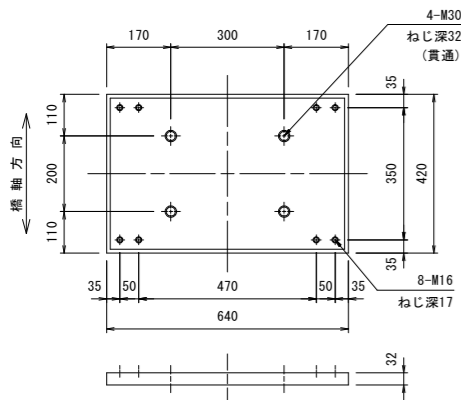


② 上沓 SM490A+SUS316

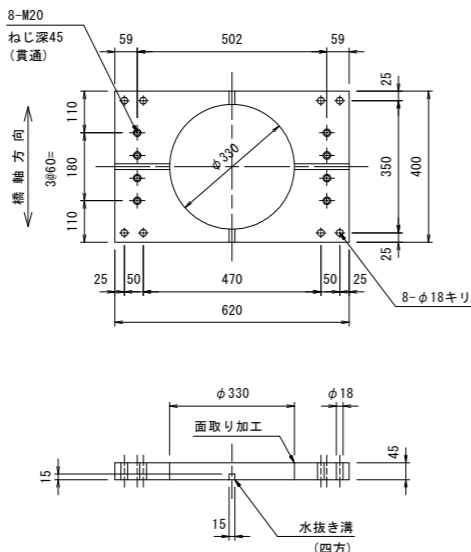


注) ()内寸法は重防錆皮膜を考慮した構造高を示す。

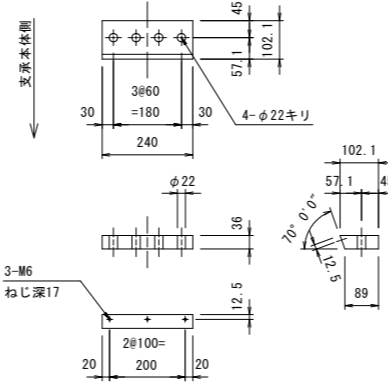
③ ベースプレート SM490A



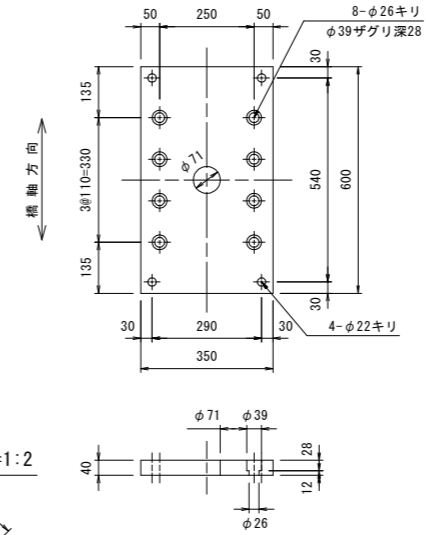
④ 固定枠プレート SM490A



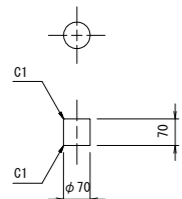
⑤ サイドブロック SM490A



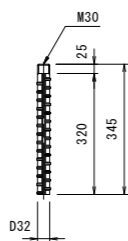
⑫ 取付プレート SM490A



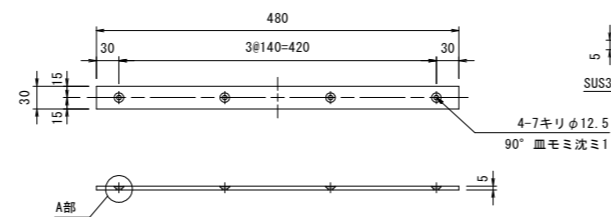
⑥ せん断キー SM490A



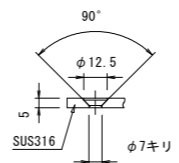
⑦ アンカーボルト SD345



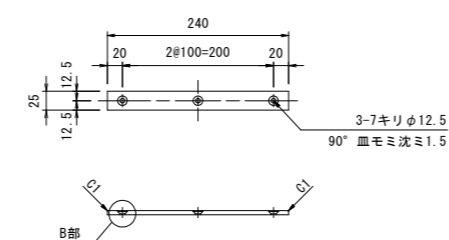
⑬ すべり板 SUS316 (上沓側) S=1:5



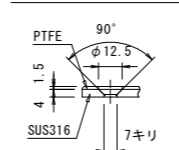
A部詳細 S=1:2



⑭ すべり板 PTFE+SUS316 (サイドブロック側) S=1:5



B部詳細 S=1:2



設計条件

反力	最大反力	Rmax	1390 kN	
	最大反力 回転照査用	Rmax2	680 kN	
	死荷重反力	Rd	960 kN	
	最大活荷重反力	Rl	440 kN	
	最大水平力	Rheq1	139 kN	
変位量	照査荷重時の変位量	δcl	0.30 mm	
	回転変位量	δr	0.58 mm	
	水変位量	常時橋軸方向	ΔL1	33 mm
		橋軸方向	ΔLe1	0 mm
		橋軸直角方向	ΔLe2	0 mm

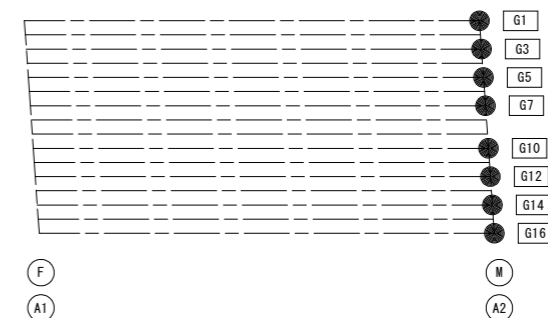
材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高面圧すべりゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	17.9	CR Ge=1.0N/mm ²
2	上沓	SM490A+SUS316	1	69.6	
3	ベースプレート	SM490A	1	66.6	
4	固定枠プレート	SM490A	1	55.8	
5	サイドブロック	SM490A	2	12.2	
6	せん断キー	SM490A	1	2.1	
7	アンカーボルト	SD345	4	8.6	
8	六角ボルト	-----	8	1.8	座金(22H)付
9	六角ボルト	-----	8	1.1	座金(22H)付
10	六角穴付ボルト	-----	8	2.0	
11	六角ボルト	-----	4	---	座金(22H)付
12	取付プレート	SM490A	1	61.7	
13	すべり板	SUS316	2	1.1	上沓用
14	すべり板	PTFE+SUS316	2	0.4	サイドブロック用
15	十字穴付皿小ねじ	-----	14	0.1	すべり板用
全質量(kg)				301.0	

注) 1. ◎印はST-SGN12仕様とする。
 2. ◇印はMEL-N12仕様とする。
 ただし、ナイロンコーティングはボルト頭部及びワッシャーのみとし、ボルト本体はMELめっきとする。
 3. ○印はST-SG仕様とする。
 4. □印は黒色酸化皮膜処理とする。
 5. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする。
 6. 必要に応じて吊り用のねじ孔を設けてもよい。

- ⑧ 六角ボルト M20x60 強度区分 10.9 平座金(22H)
- ⑨ 六角ボルト M16x65 強度区分 10.9 平座金(22H)
- ⑩ 六角穴付ボルト M24x35 強度区分 10.9
- ⑪ 六角ボルト M20xL 強度区分 10.9 平座金(22H)
- ⑬ 十字穴付皿小ねじ M6x16 (ステンレス鋼)

位置図

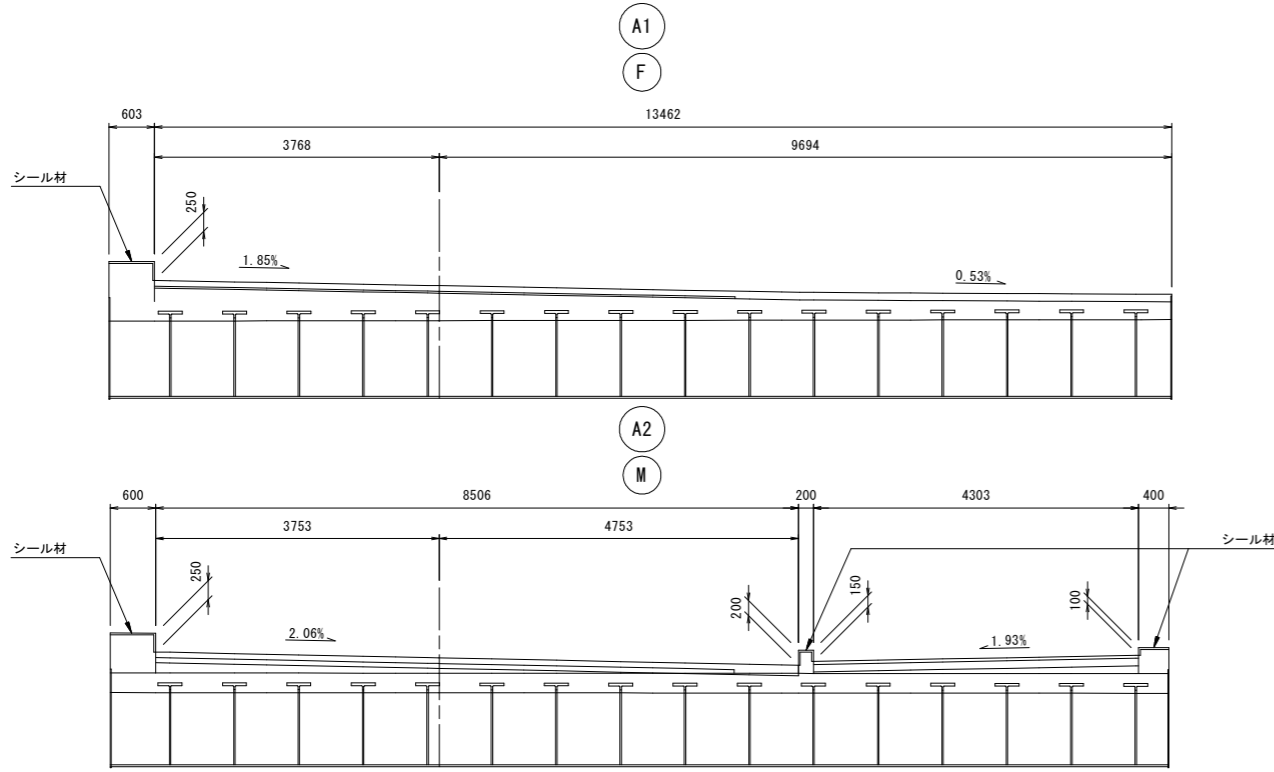


当初設計図面 縮小版
 【上部工設計図面】

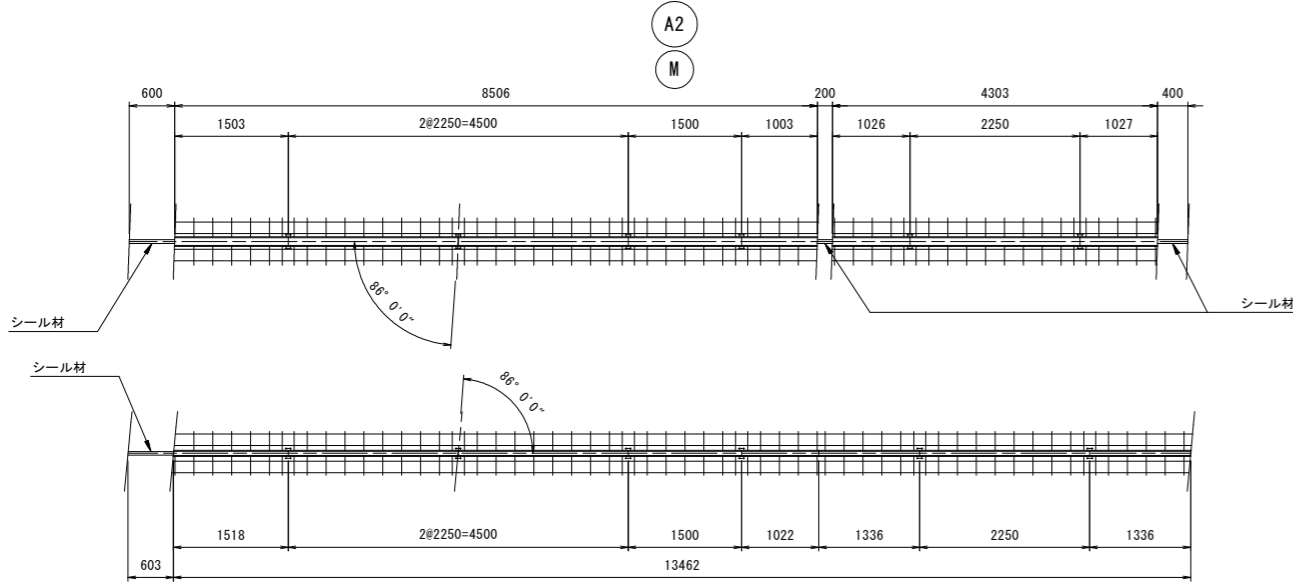
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	支承詳細図(その2)		
縮尺	1:10	図面番号	34 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

伸縮装置詳細図(その1) S=1:50

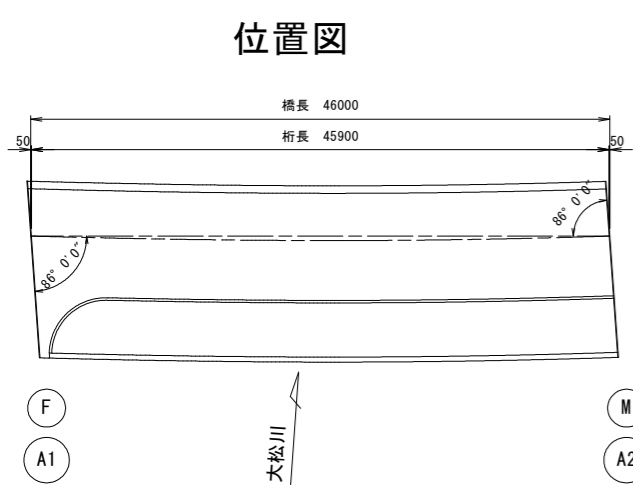
断面図



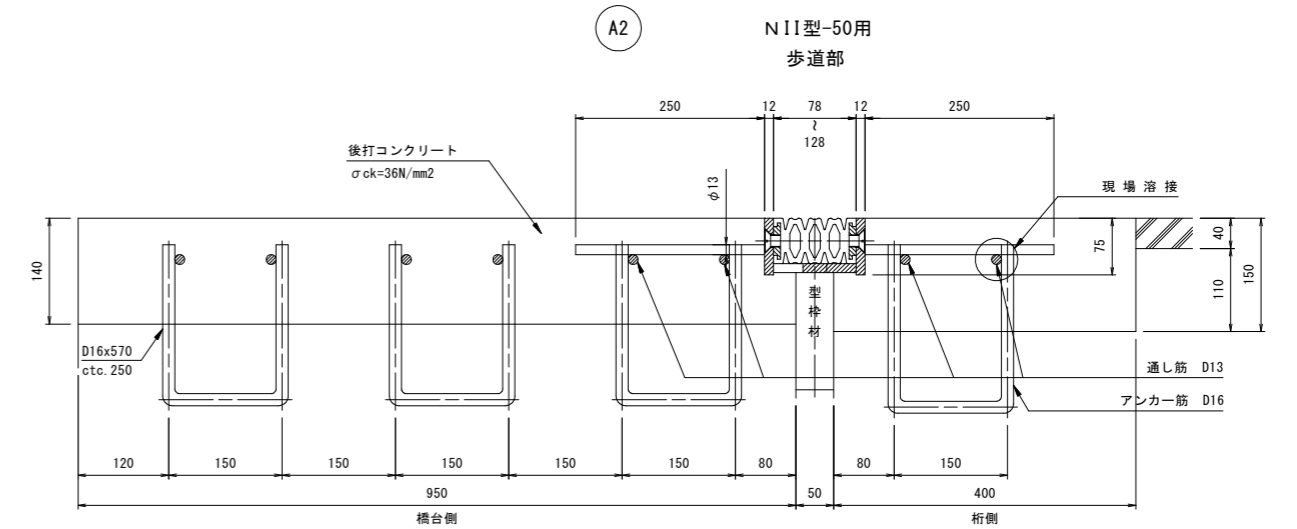
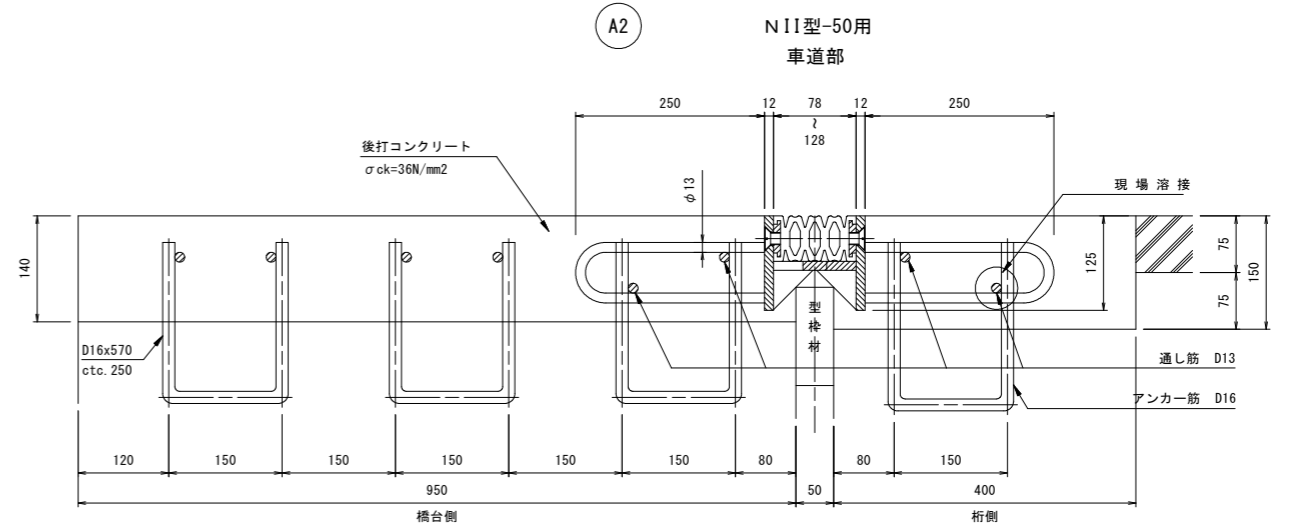
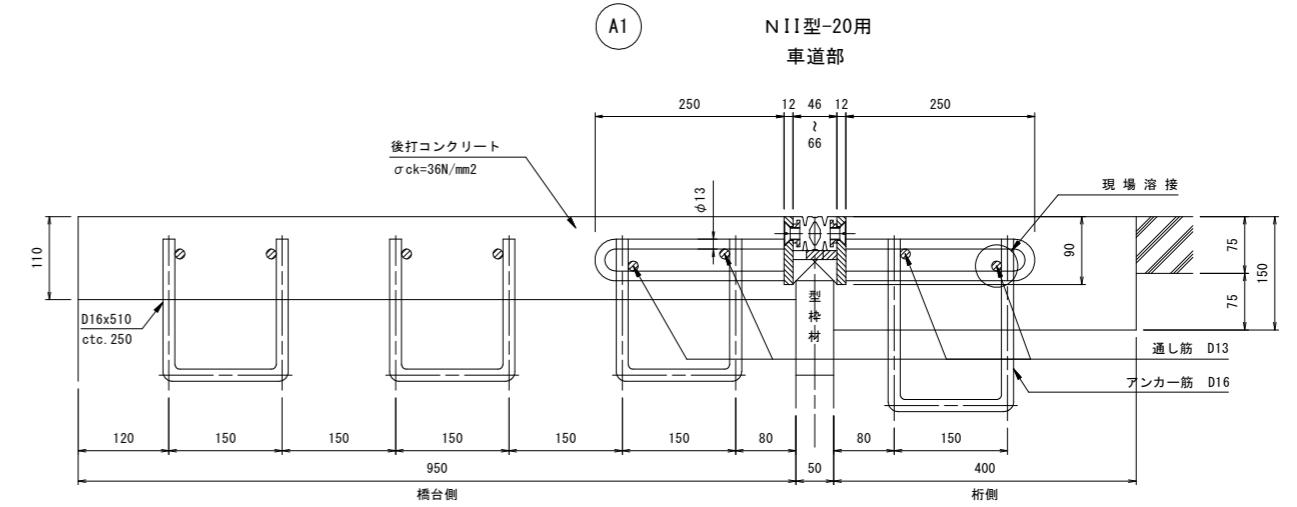
平面図 S=1:50



位置図



伸縮継手断面図 S=1:5

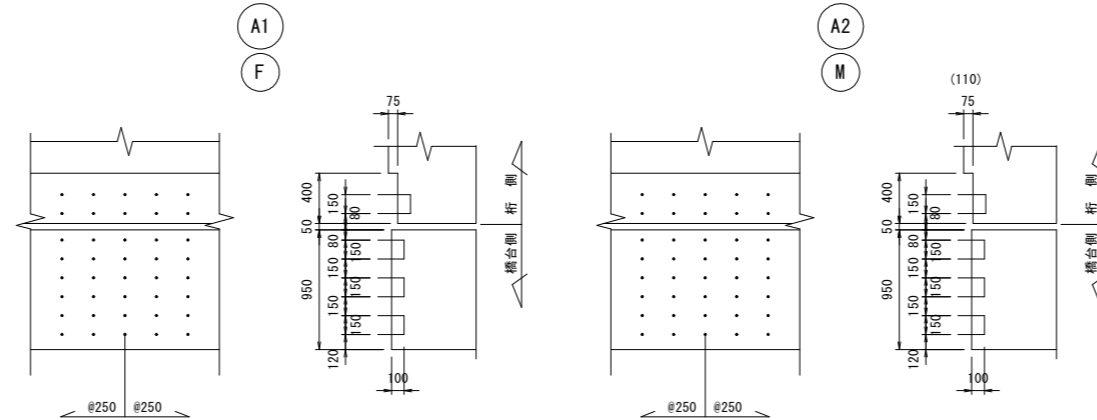


当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	伸縮装置詳細図(その1)		
縮尺	1:50	図面番号	35 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

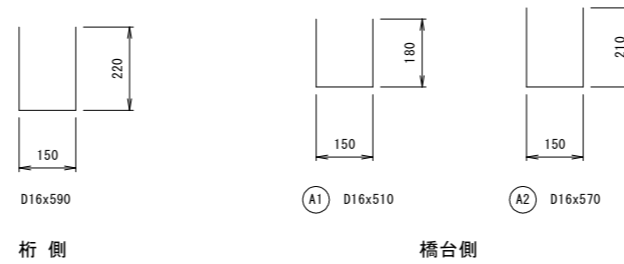
伸縮装置詳細図(その2) S=1:30

アンカー筋埋設図



※ () 内の数値は歩道部を示す。

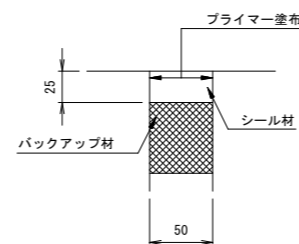
鉄筋加工図 S=1:10



伸縮継手材料表

名称	材質	A 1 数量	A 2 数量	合計数量	備考
プロフジョイントNII型-20用	SS400 合成ゴム SD345	13.462 m		13.462 m	車道用, 通し筋を含む
プロフジョイントNII型-50用	"		8.506 m	8.506 m	車道用, 通し筋を含む
プロフジョイントNII型-50用	"		4.303 m	4.303 m	歩道用, 通し筋を含む
シール材	シリコン系	1.07 リッター	2.38 リッター	3.45 リッター	地覆部・緑石部
後打ちコンクリート		2.214 m ³	2.472 m ³	4.686 m ³	

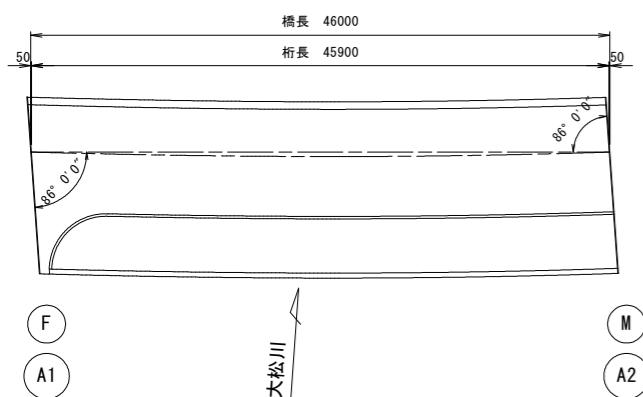
シール材充填図 S=1:3



アンカー筋表

寸法	A 1 数量	A 2 数量	合計数量	1本当り質量	合計質量	備考
D16x590	54 本	51 本	105 本	0.920 kg	96.6 kg	桁側
D16x510	162 本		162 本	0.796 kg	129.0 kg	橋台側
D16x570		153 本	153 本	0.889 kg	136.0 kg	橋台側

位置図

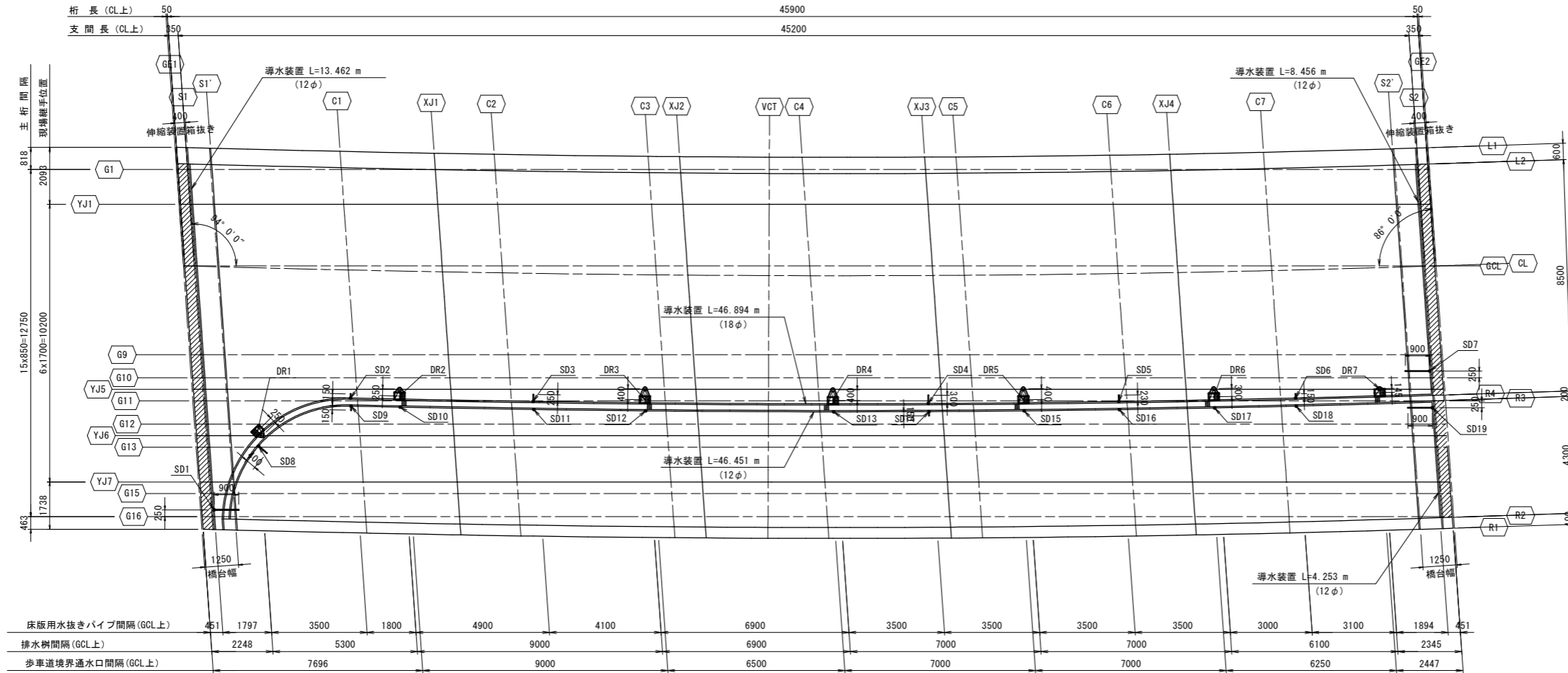


当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

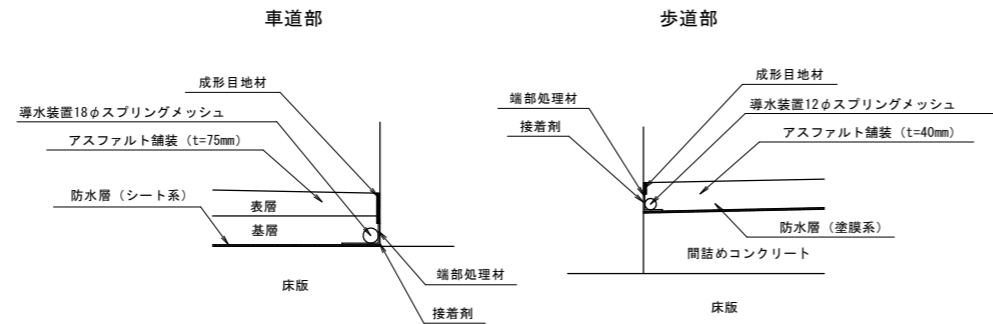
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	伸縮装置詳細図(その2)		
縮尺	1:30	図面番号	36 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

排水装置詳細図(その1) S=1:100

配置図

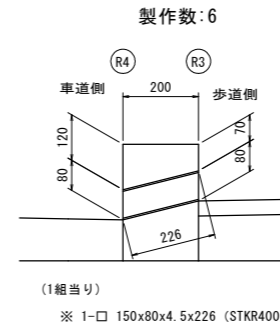


導水装置詳細図 S=1:5



	単位	数量	備考
流水延長	m	46.894	車道部 (18φ)
スプリングメッシュ	m	72.622	歩道部 (12φ)
成型目地材	m	119.516	
端部処理材	m	119.516	
接着剤	m	119.516	
防水層	m ²	390.446	車道部 (シート系)
		186.619	歩道部 (塗膜系)

歩車道境界通水口 S=1:10



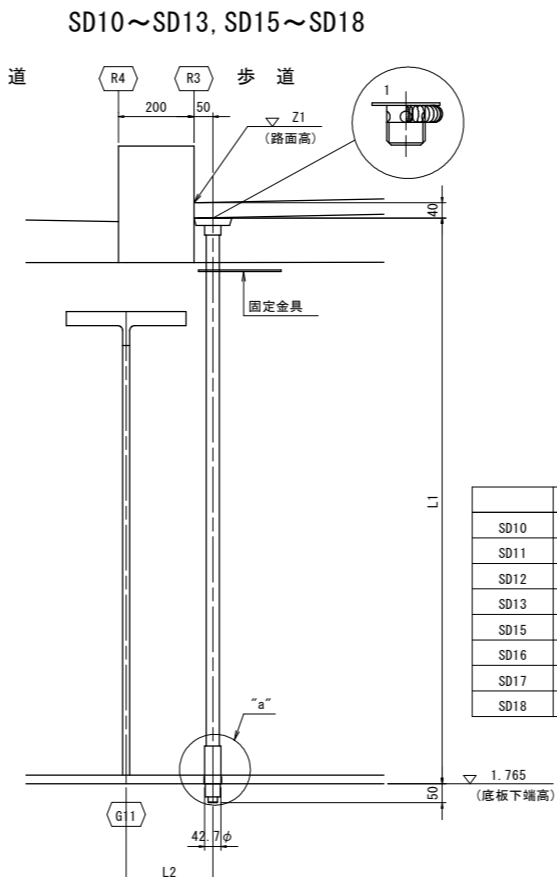
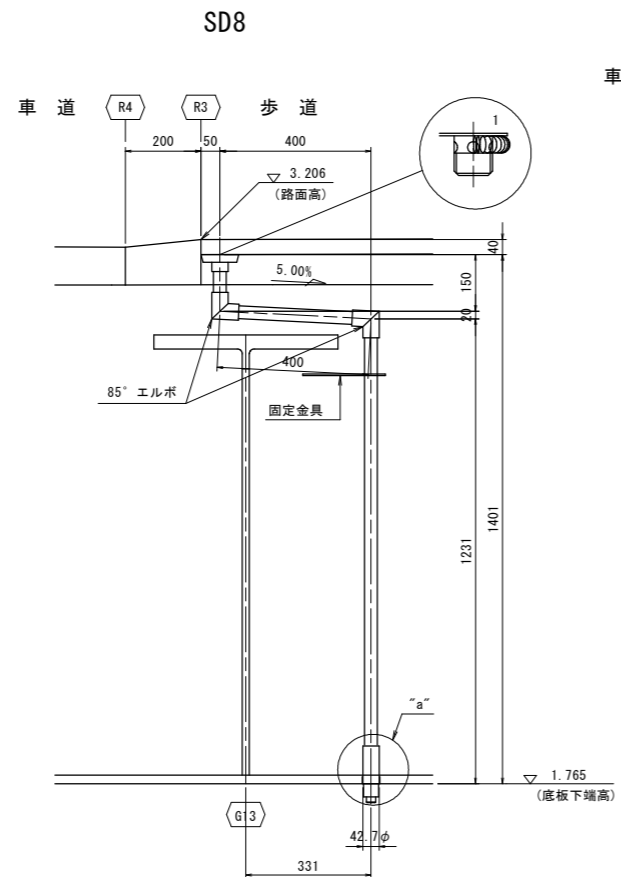
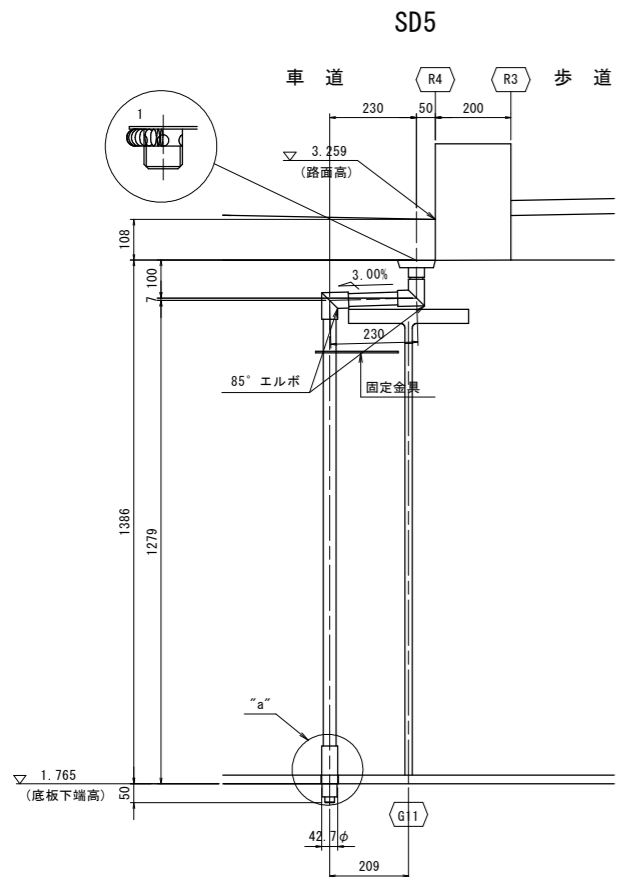
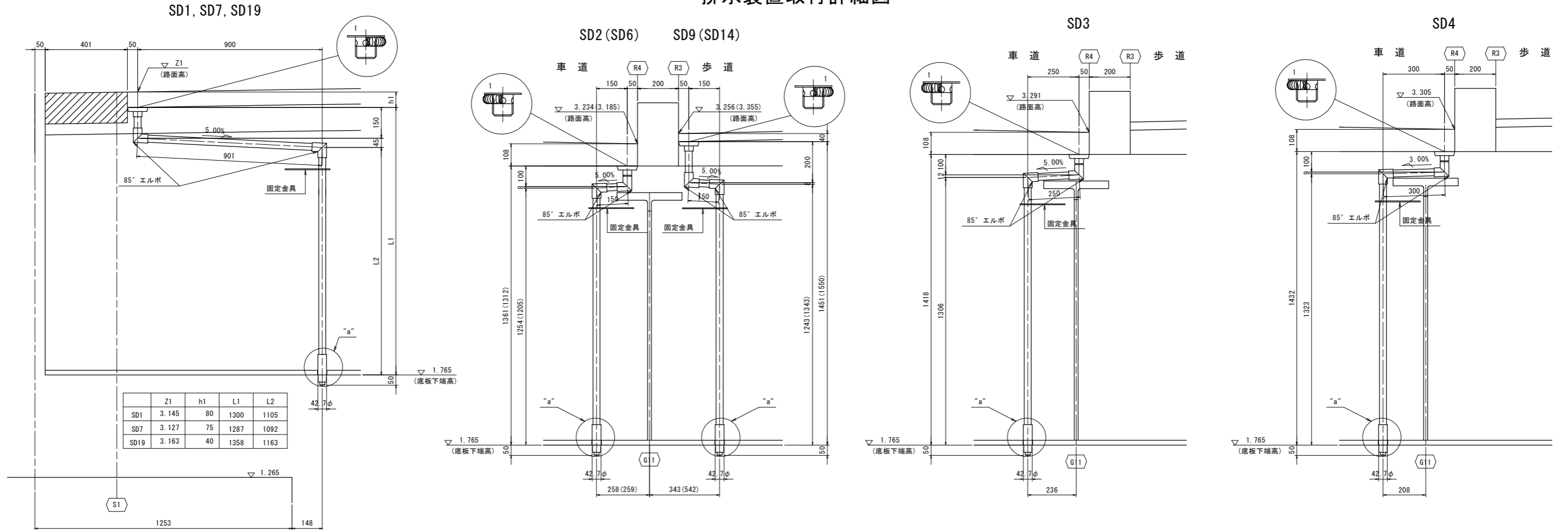
- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ※印鋼材は全て亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 2種 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナット類 HDZ35とする。
 - 導水装置は、排水樹の孔に差し込むものとする。
 - SDキャップは、舗装する前に1に交換。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

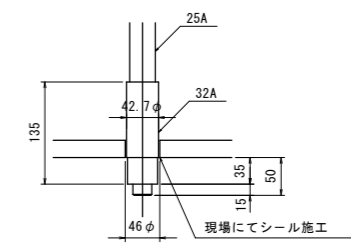
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	排水装置詳細図(その1)		
縮尺	1:100	図面番号	37 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

排水装置詳細図(その2) S=1:10

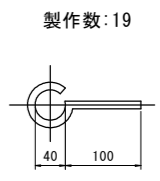
排水装置取付詳細図



"a"部詳細 S=1:5



固定金具詳細 S=1:5



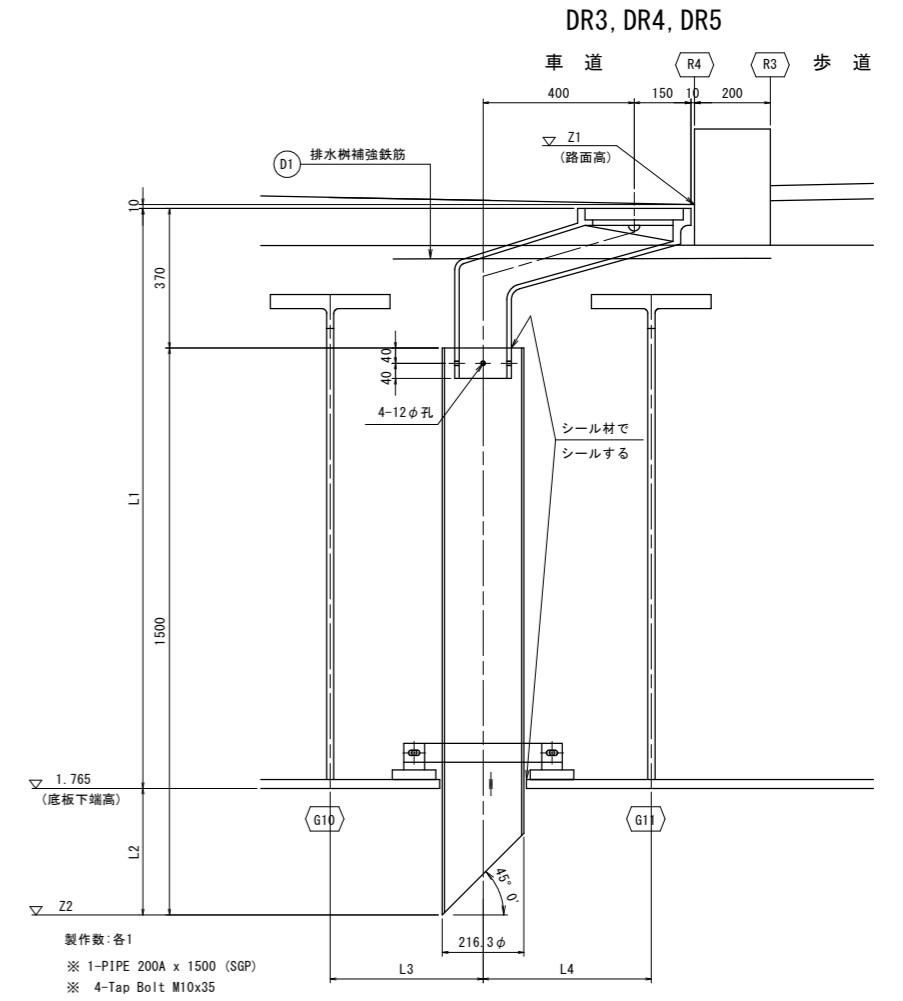
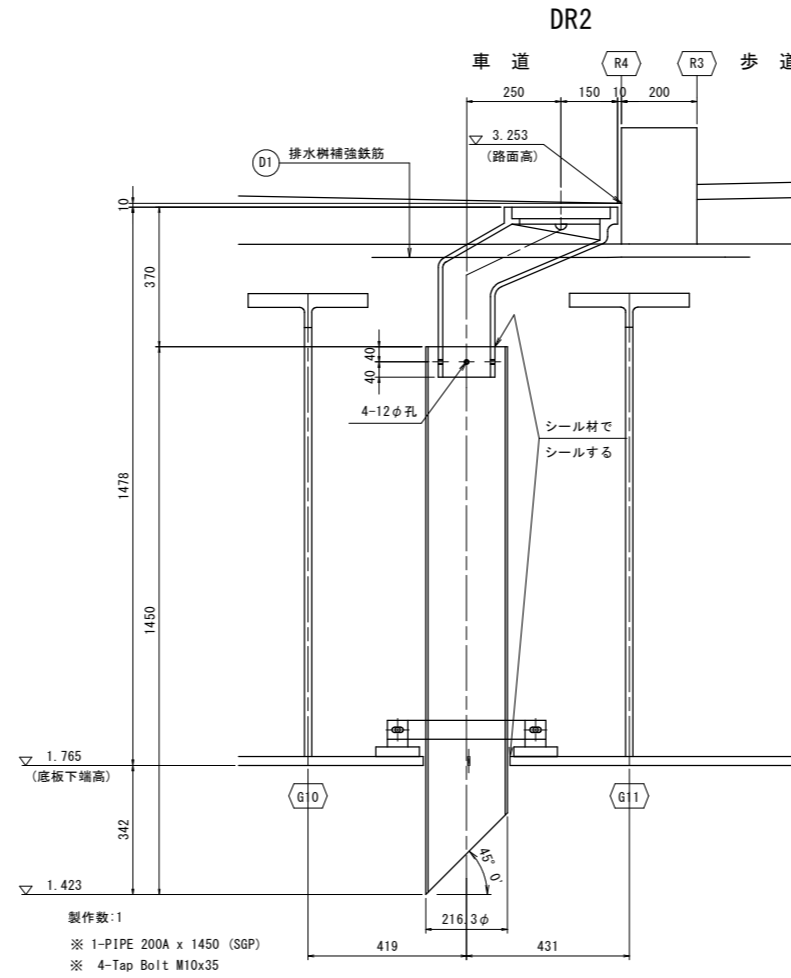
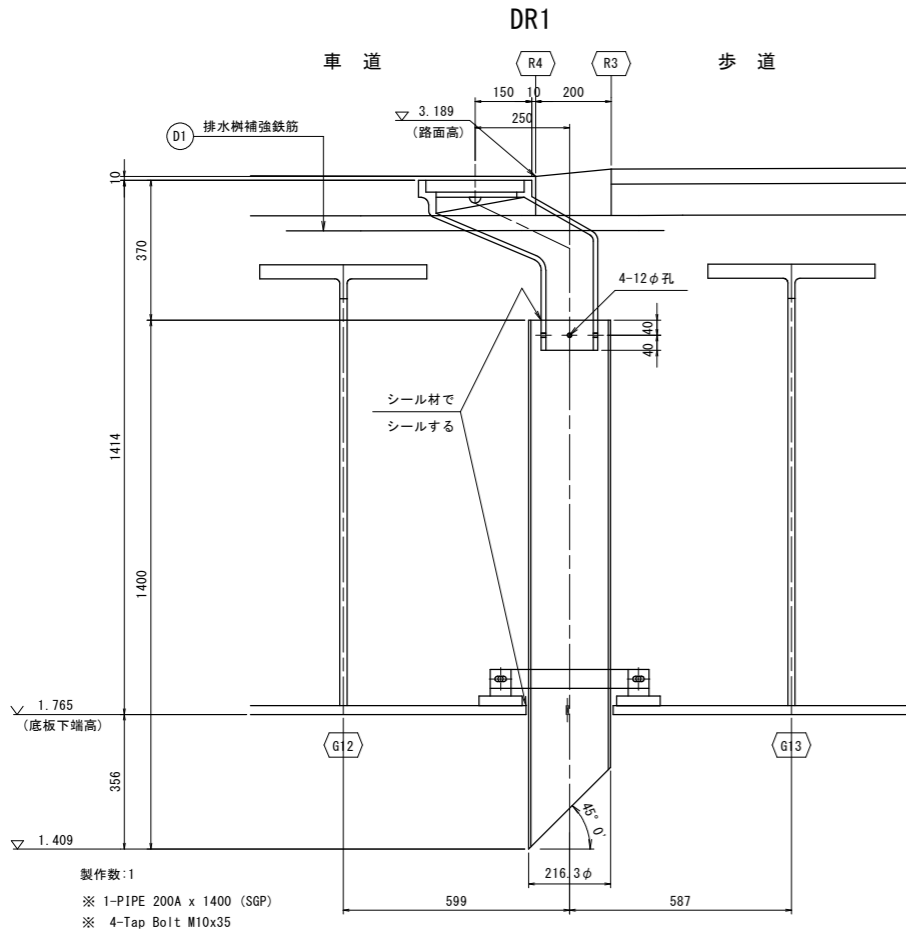
- 注記
1. 排水装置は、排水側の孔に差し込むものとする。
 2. SDキャップは、舗装する前に交換。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

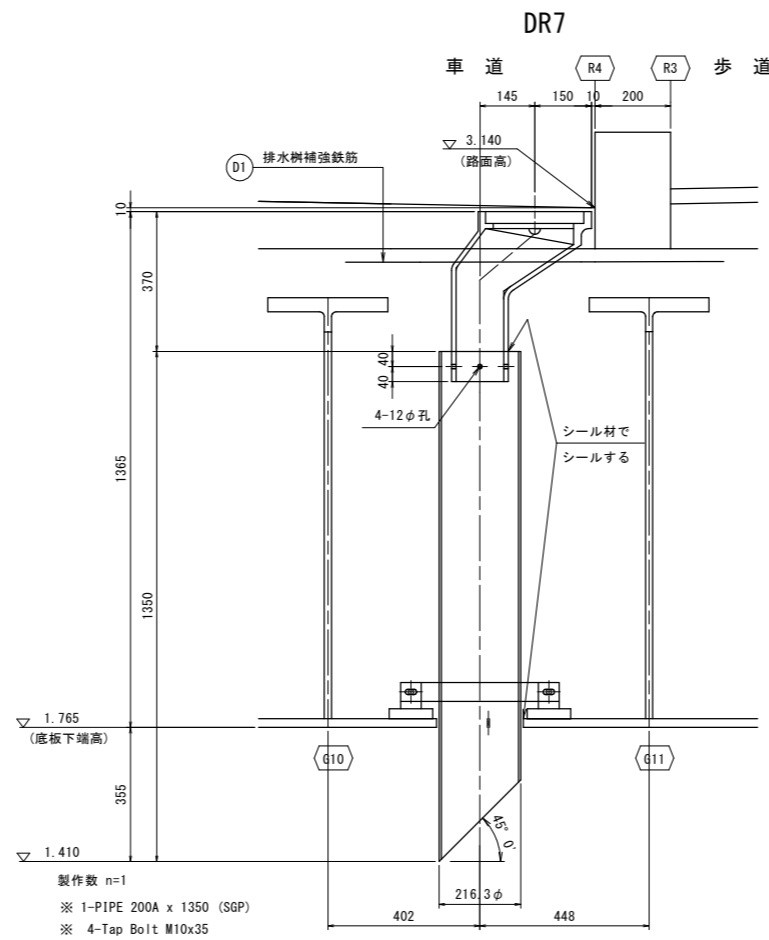
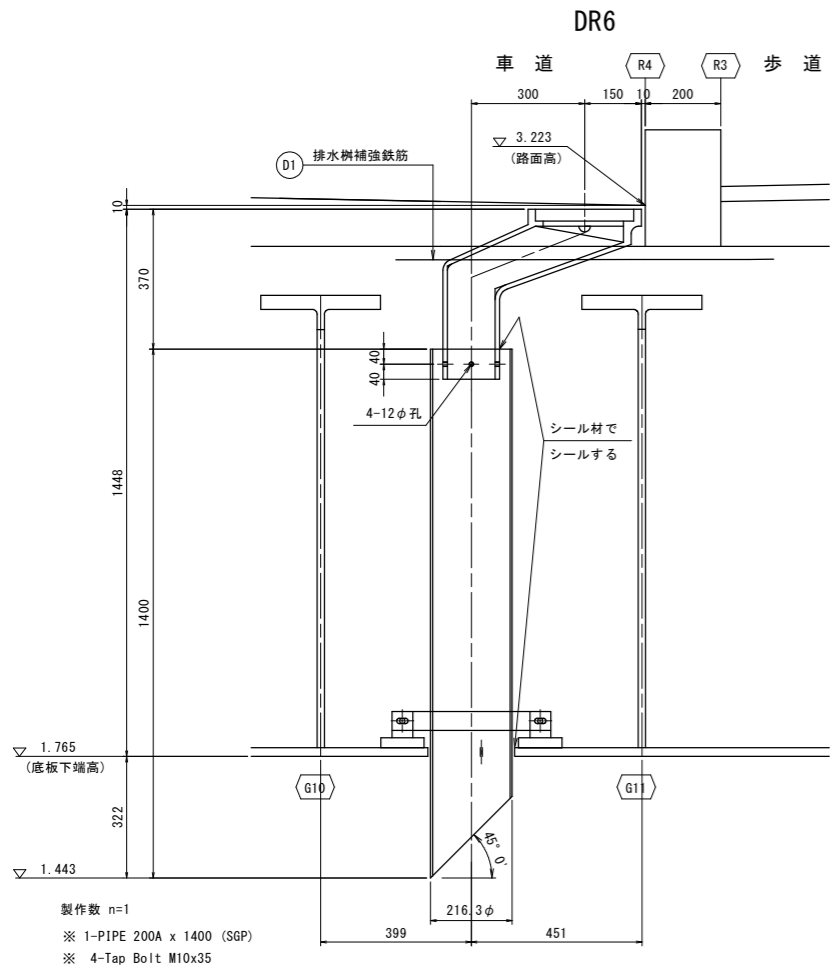
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	排水装置詳細図(その2)
縮尺	1:10 図面番号 38/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

排水装置詳細図(その3) S=1:15

排水装置取付詳細図



	Z1	Z2	L1	L2	L3	L4
DR3	3.310	1.430	1535	335	405	445
DR4	3.316	1.436	1541	329	440	410
DR5	3.287	1.407	1512	358	406	444



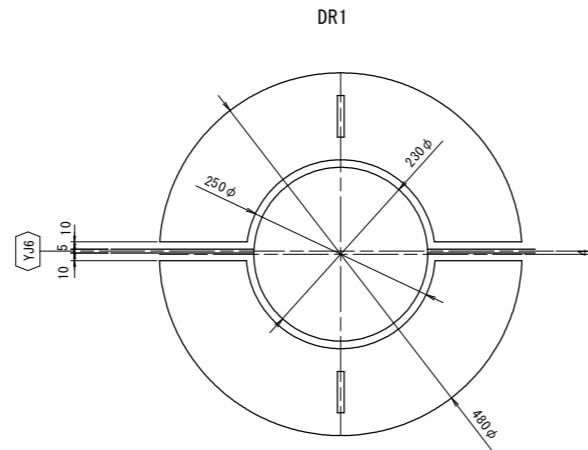
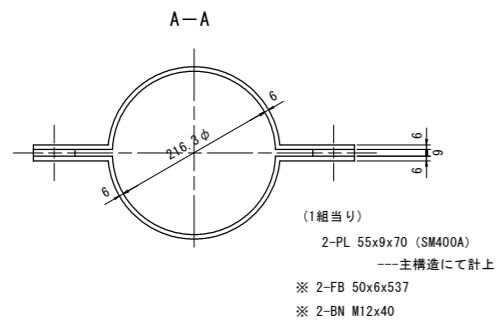
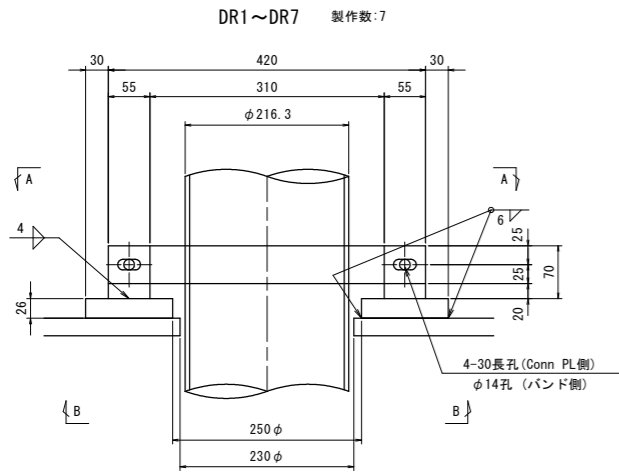
- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ※印鋼材は全て亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 2種 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナット類 HDZ35とする。
 - 鉄筋D1は、床版にて計上する。

当初設計図面 縮小版
 【上部工設計図面】

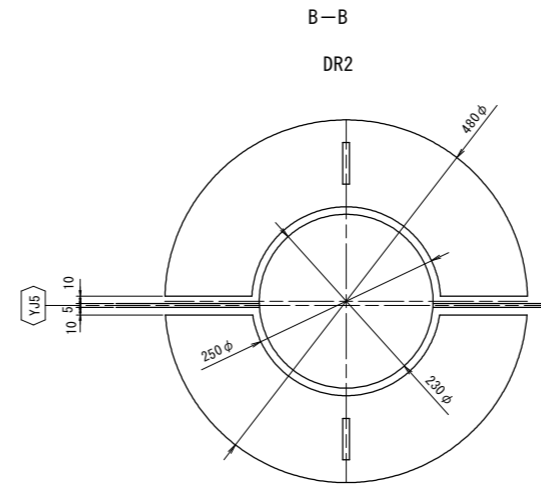
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	排水装置詳細図(その3)		
縮尺	1:10	図面番号	39 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

排水装置詳細図(その4) S=1:5

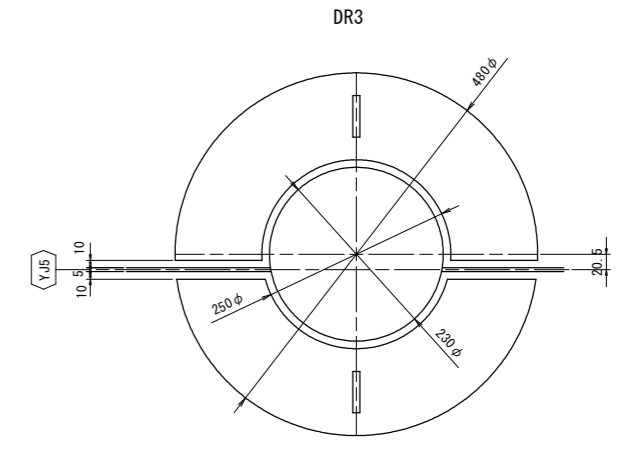
金具と底板部補強板詳細図



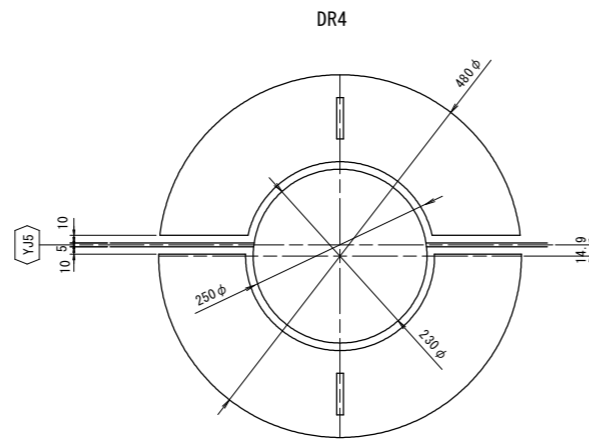
(1組当り)
1-PL 224x26x479 (SM490YB)
1-PL 232x26x480 (SM490YB)
---主構造にて計上



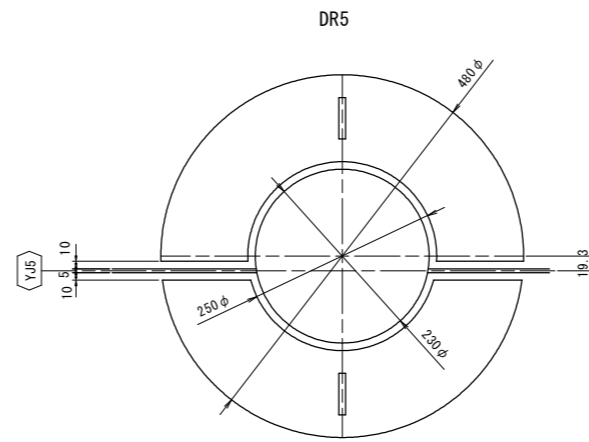
(1組当り)
1-PL 233x26x480 (SM490YB)
1-PL 222x26x479 (SM490YB)
---主構造にて計上



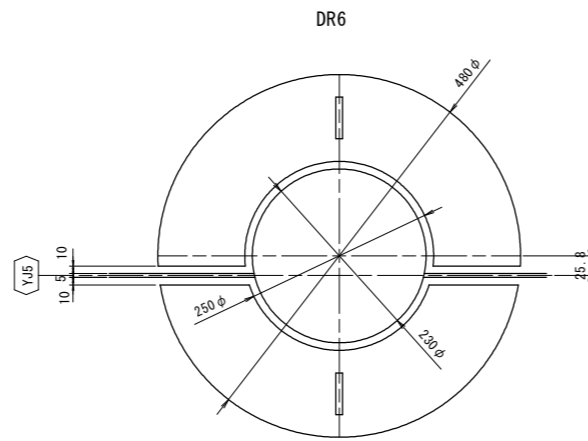
(1組当り)
1-PL 248x26x480 (SM490YB)
1-PL 207x26x476 (SM490YB)
---主構造にて計上



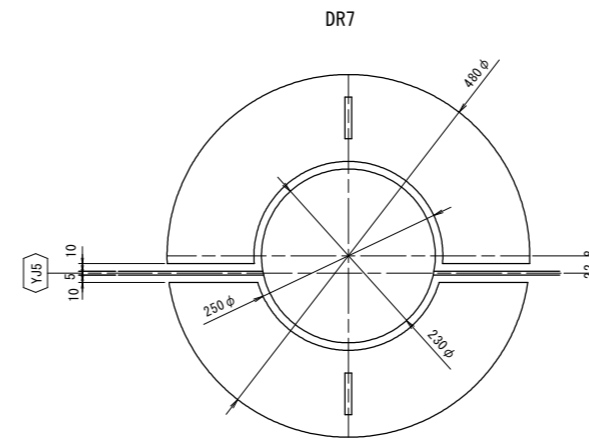
(1組当り)
1-PL 213x26x477 (SM490YB)
1-PL 242x26x480 (SM490YB)
---主構造にて計上



(1組当り)
1-PL 247x26x480 (SM490YB)
1-PL 208x26x476 (SM490YB)
---主構造にて計上



(1組当り)
1-PL 253x26x480 (SM490YB)
1-PL 202x26x474 (SM490YB)
---主構造にて計上



(1組当り)
1-PL 250x26x480 (SM490YB)
1-PL 205x26x475 (SM490YB)
---主構造にて計上

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ※印鋼材は全て亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 2種 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナット類 HDZ35とする。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

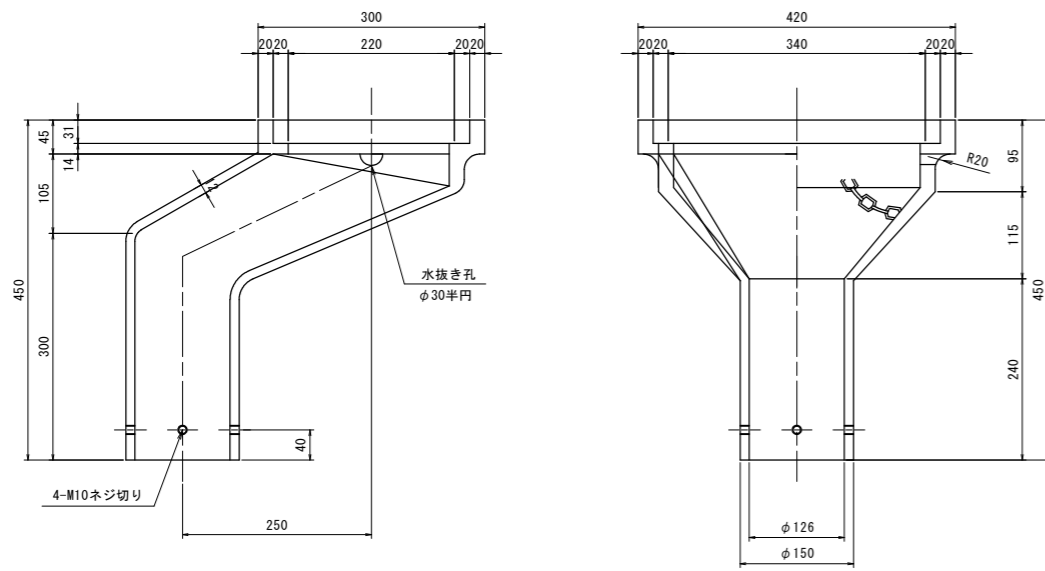
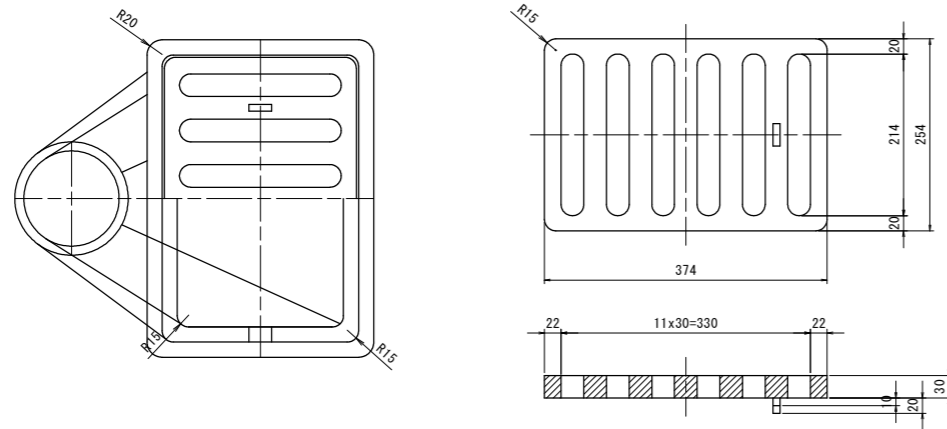
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	排水装置詳細図(その4)		
縮尺	1:5	図面番号	40/56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

排水装置詳細図(その5) S=1:5

排水柵詳細

DR1, DR2

製作数：2組



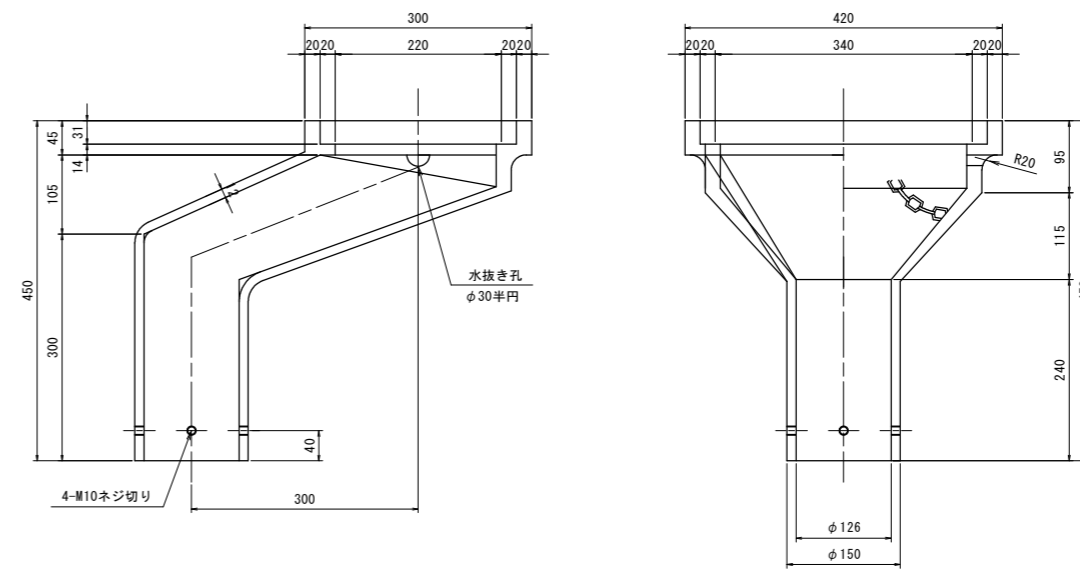
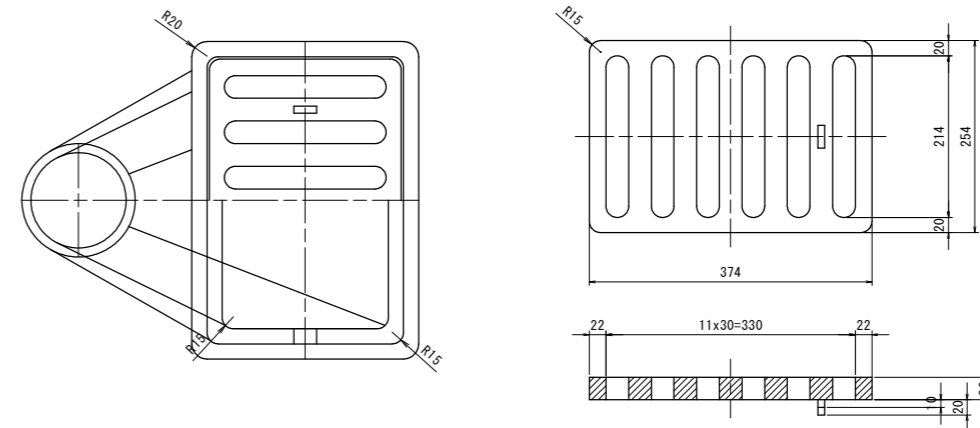
材料表

名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
本体	FC250	1	52.8	熔融亜鉛メッキ
スクリーン	FC250	1	12.5	熔融亜鉛メッキ
チェーン	SS400	1	0.1	L=450 熔融亜鉛メッキ
1組分合計			65.4 kg	

注) 導水パイプ貫通孔は、縦断方向の高い側に配置すること。

DR6

製作数：1組



材料表

名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
本体	FC250	1	62.2	熔融亜鉛メッキ
スクリーン	FC250	1	12.5	熔融亜鉛メッキ
チェーン	SS400	1	0.1	L=450 熔融亜鉛メッキ
1組分合計			74.8 kg	

注) 導水パイプ貫通孔は、縦断方向の高い側に配置すること。

当初設計図面 縮小版

【上部工設計図面】

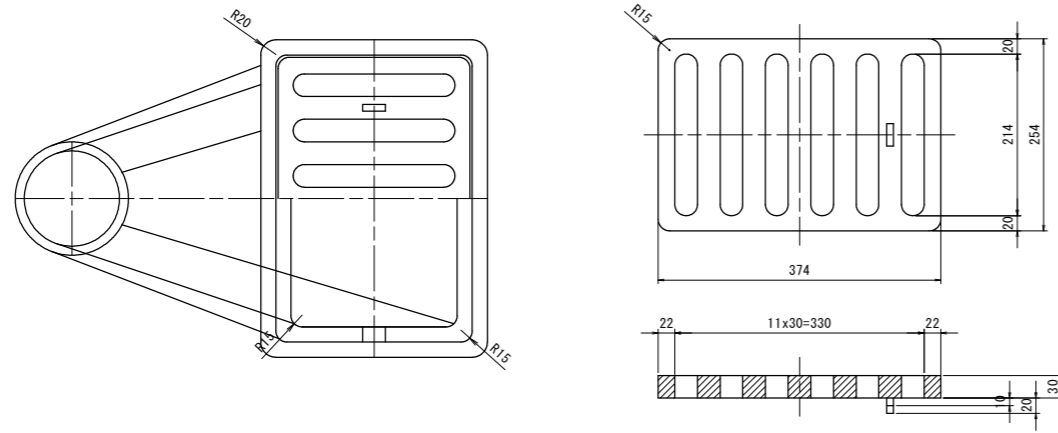
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	排水装置詳細図(その5)		
縮尺	1:5	図面番号	41 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

排水装置詳細図(その6) S=1:5

排水柵詳細

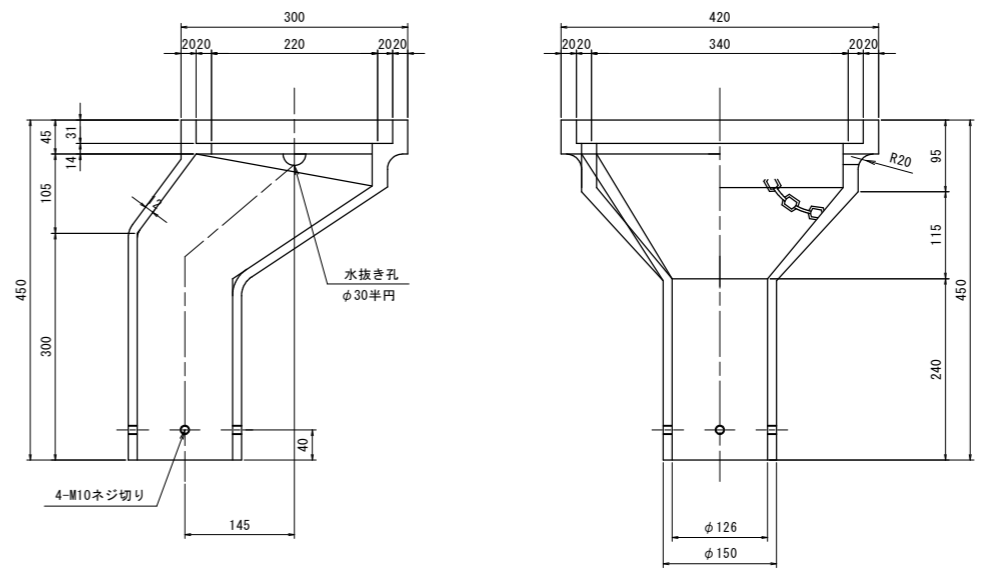
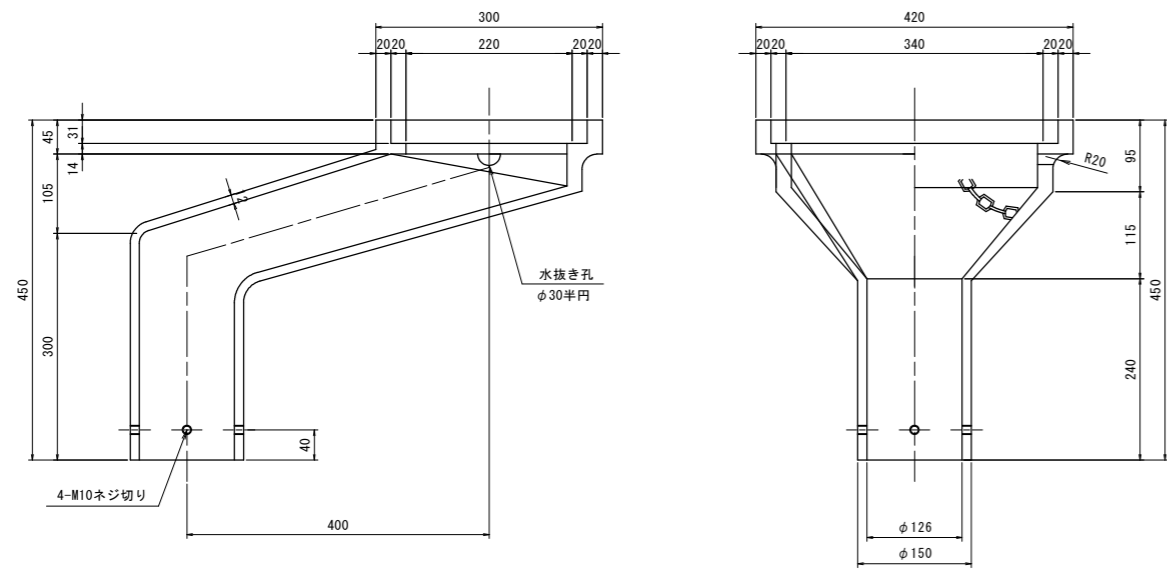
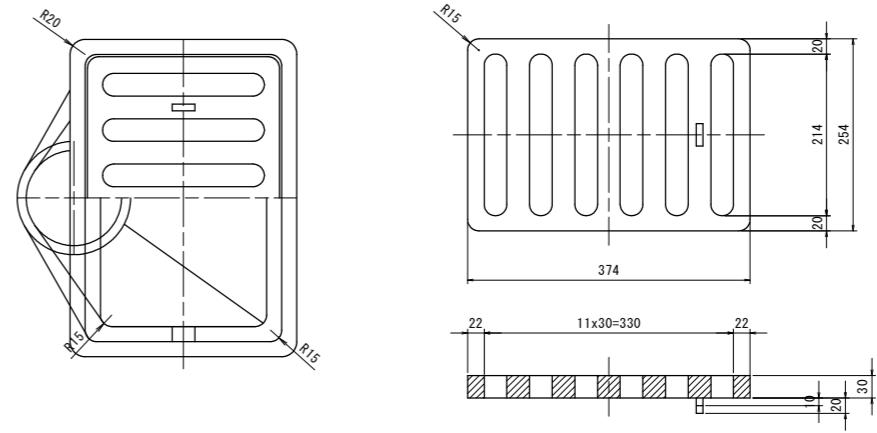
DR3, DR4, DR5

製作数：3組



DR7

製作数：1組



材料表

名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
本体	FC250	1	62.2	熔融亜鉛メッキ
スクリーン	FC250	1	12.5	熔融亜鉛メッキ
チェーン	SS400	1	0.1	L=450 熔融亜鉛メッキ
1組分合計			74.8 kg	

注) 導水パイプ貫通孔は、縦断方向の高い側に配置すること。

材料表

名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
本体	FC250	1	44.2	熔融亜鉛メッキ
スクリーン	FC250	1	12.5	熔融亜鉛メッキ
チェーン	SS400	1	0.1	L=450 熔融亜鉛メッキ
1組分合計			56.8 kg	

注) 導水パイプ貫通孔は、縦断方向の高い側に配置すること。

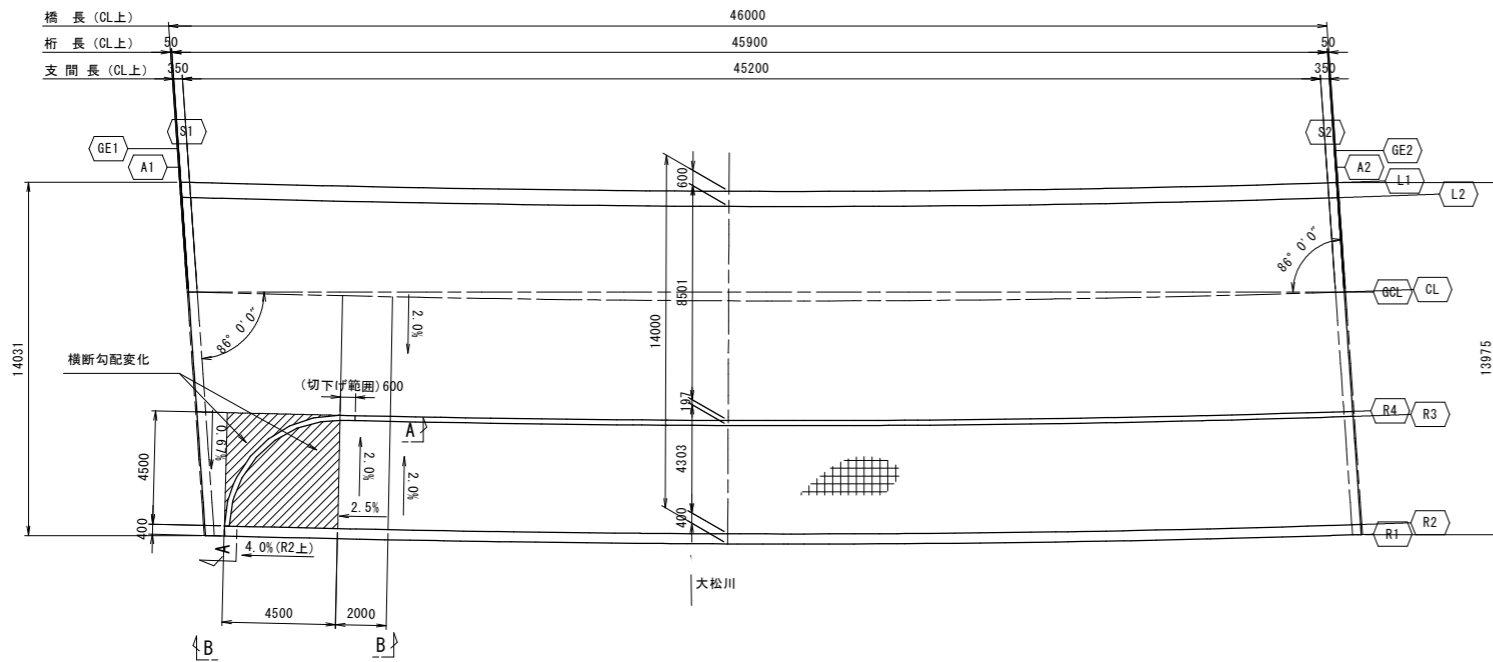
当初設計図面 縮小版

【上部工設計図面】

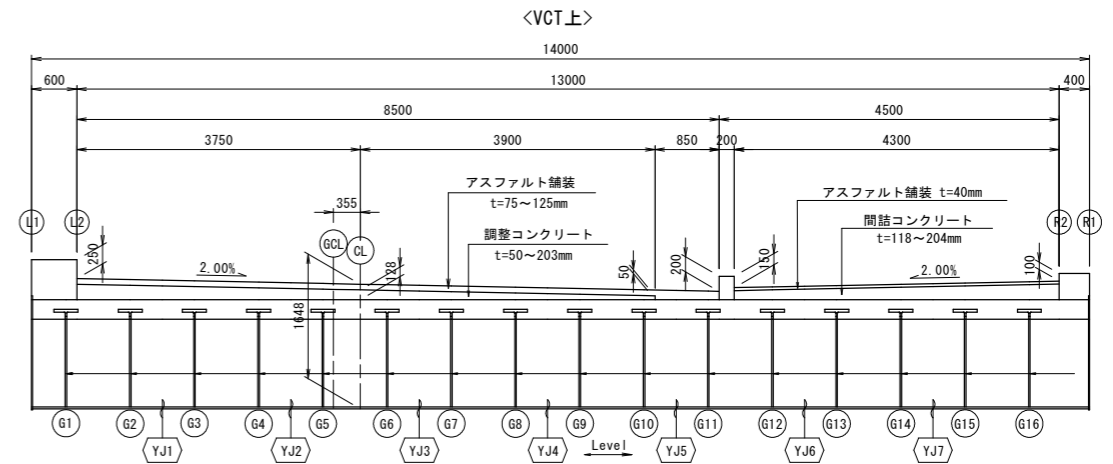
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	排水装置詳細図(その6)		
縮尺	1:5	図面番号	42 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

路面工及び歩道詳細図 S=1:150

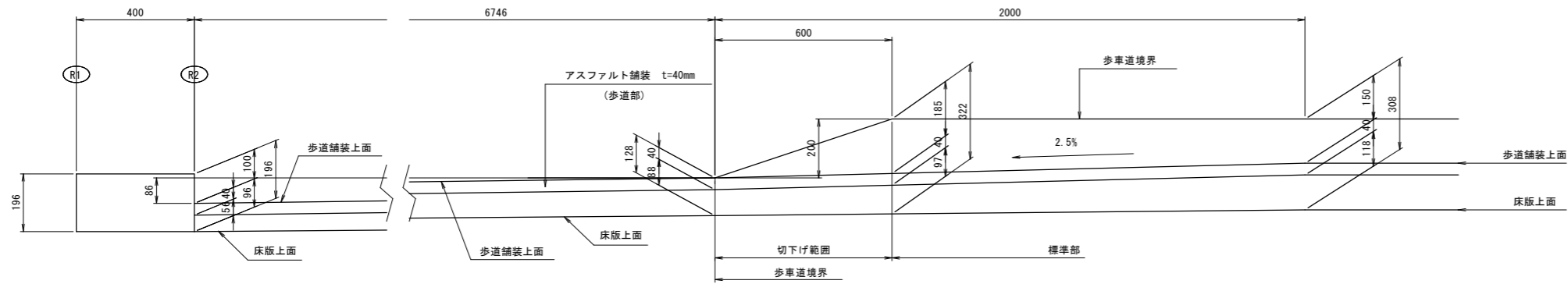
平面図



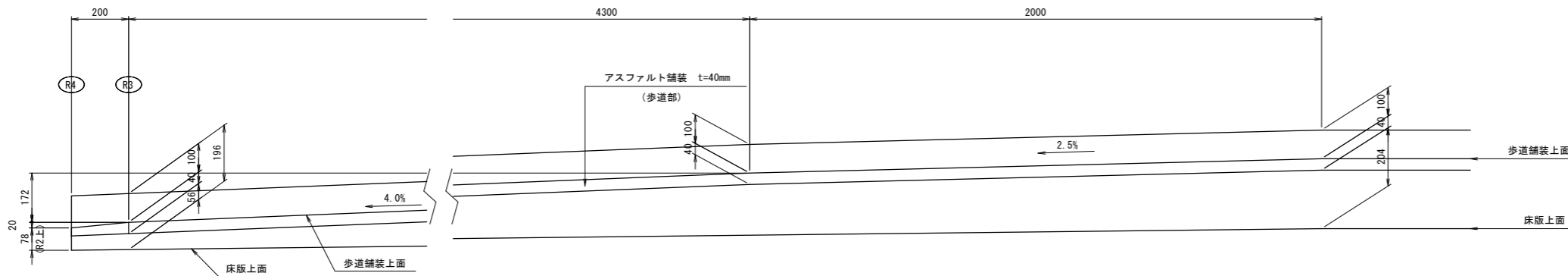
断面図 S=1:50



A - A S=1:10 R3上



B - B S=1:10 R2上



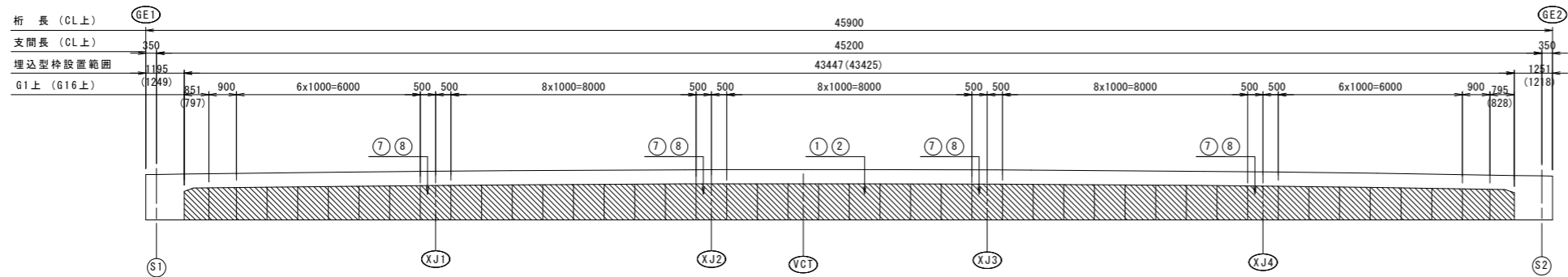
注記
1. 調整コンクリートは、規定床版厚(DFT)上面から130mmの範囲)から上面コンクリートを示す。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

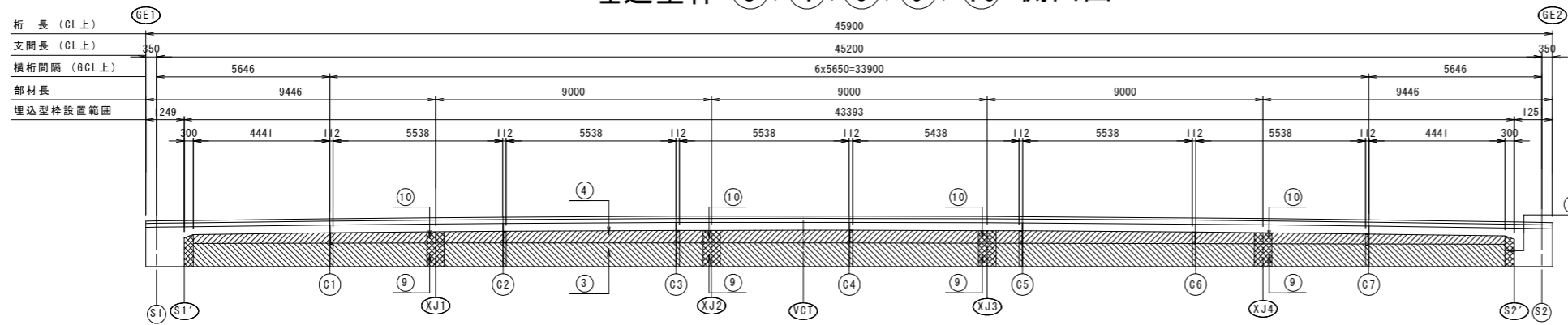
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	路面工及び歩道詳細図
縮尺	1:150 図面番号 44/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

埋込型枠詳細図(その1) S=1:100

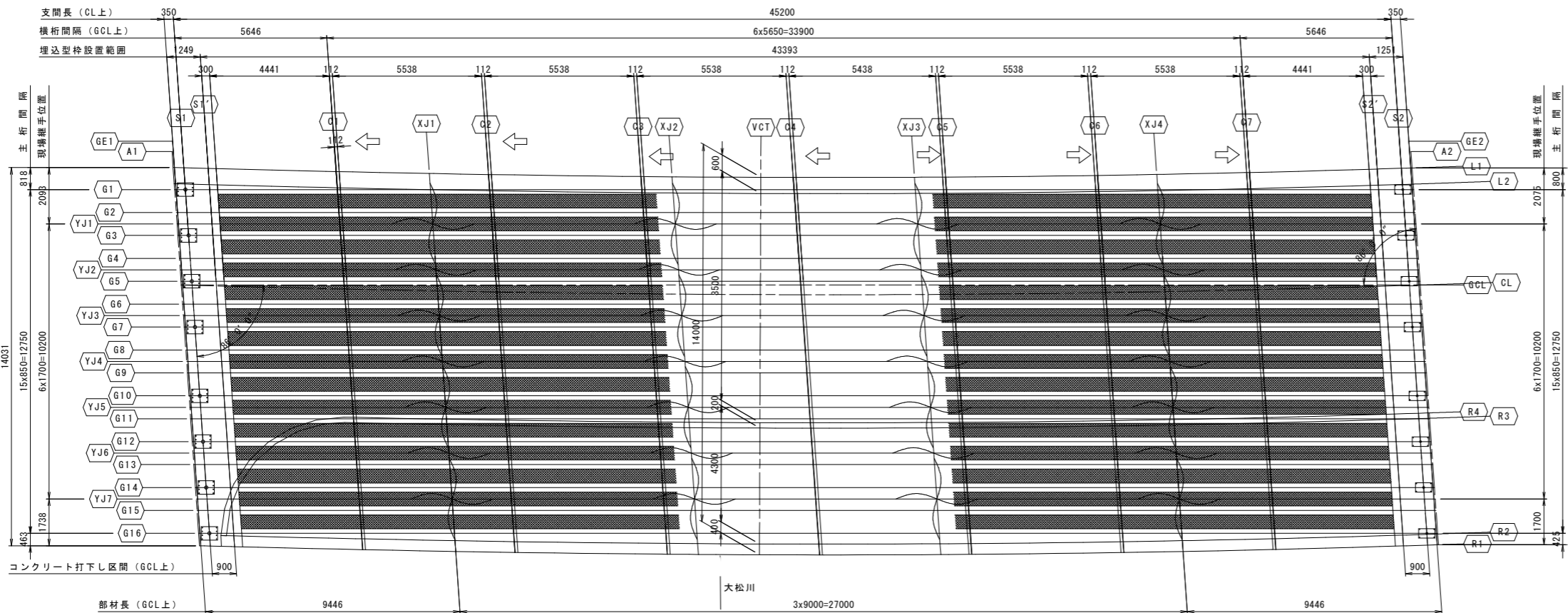
埋込型枠 ①, ②, ⑦, ⑧ 側面図



埋込型枠 ③, ④, ⑥, ⑨, ⑩ 側面図

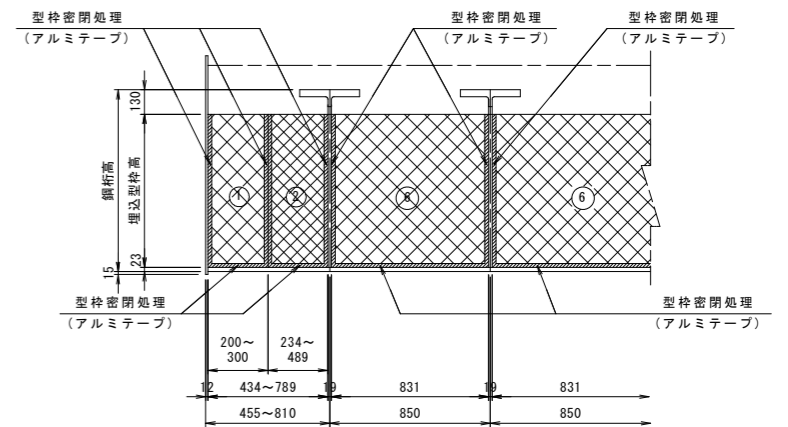


埋込型枠 ⑤ 平面図

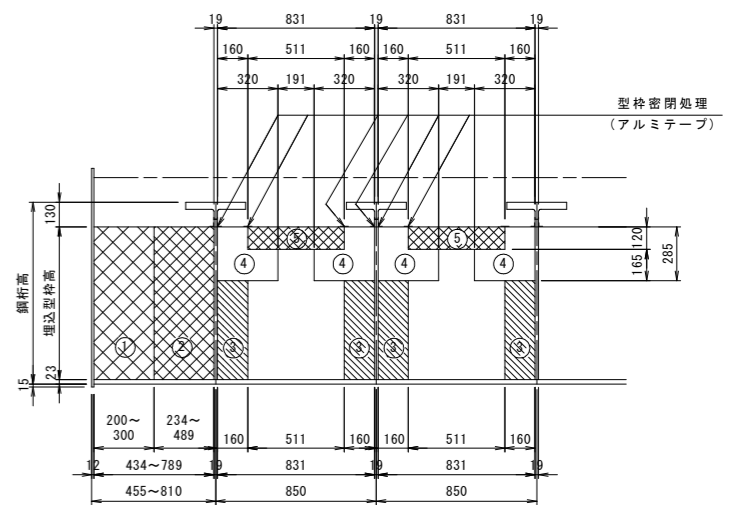


断面図 S=1:20

(埋込型枠端部)



(埋込型枠中間部)



注記
1. 平面図に示す←印は、横桟払い込み方向を示す。

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳理 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	埋込型枠詳細図(その1)
縮尺	1:100 図面番号 45/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

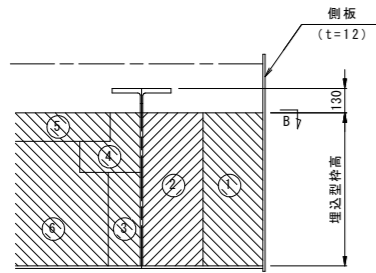
埋込型枠詳細図(その2) S=1:20

埋込型枠詳細：発泡スチロール

埋込密閉処理詳細：アルミテープ処理

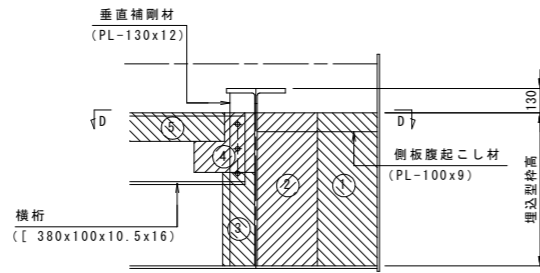
端部

A - A



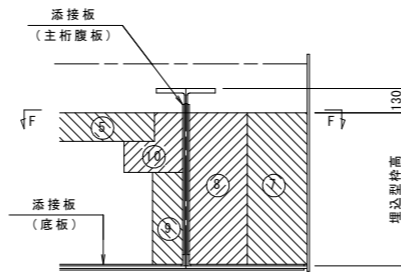
横桁及び側板腹起こし材部

C - C

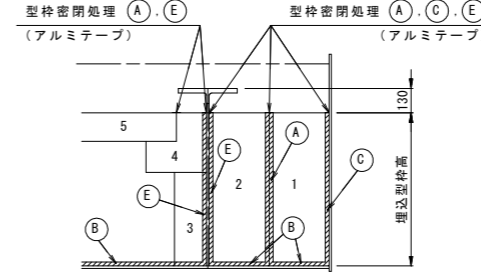


横継手部

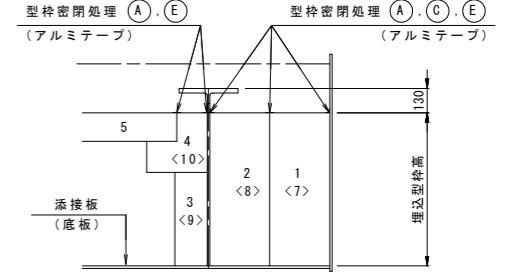
E - E



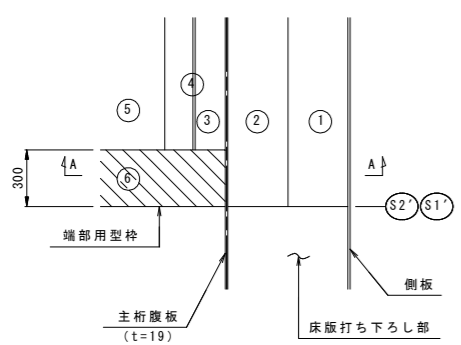
型枠端部断面図



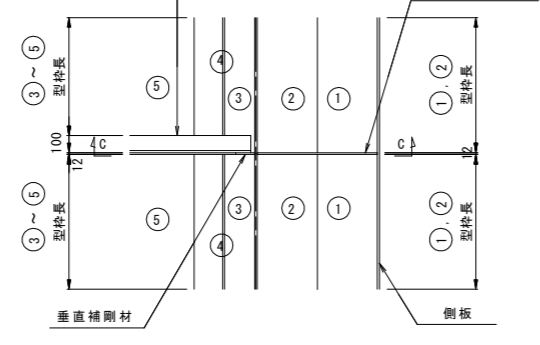
型枠中間部断面図



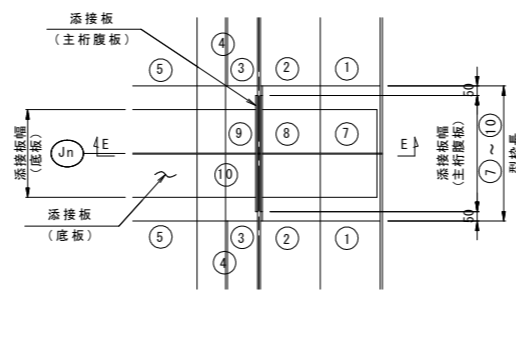
B - B



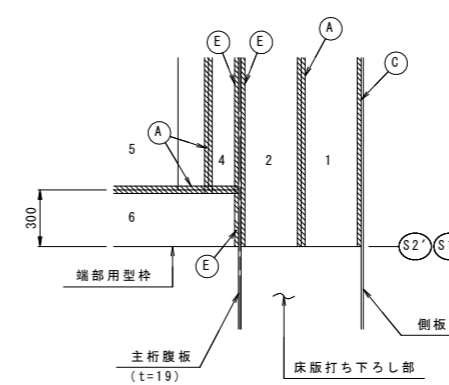
D - D



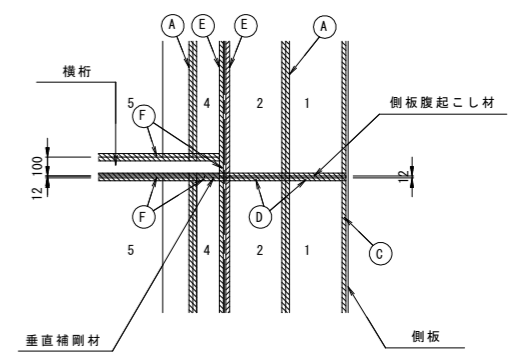
F - F



型枠端部



横桁及び側板腹起こし材部

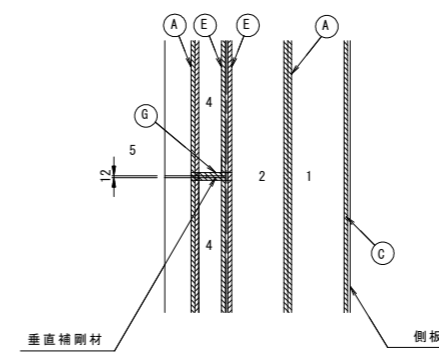


型枠タイプ	型枠分割位置	型枠密閉処理(端部)	型枠密閉処理(中間部)
① 張り出し部	a, c	A, B, C, D	A, C, D
② "	a, c	A, B, D, E	A, D, E
③ 主桁間(中間部)	b, d, e, f		
④ "	b, d, e, f		A, E, F, G
⑤ "	b, d		A, F
⑥ 主桁間(端部)	g	A, B, E	
⑦ 横継手部	c		A, C
⑧ "	c		A, H
⑨ "	f		
⑩ "	f		A, H

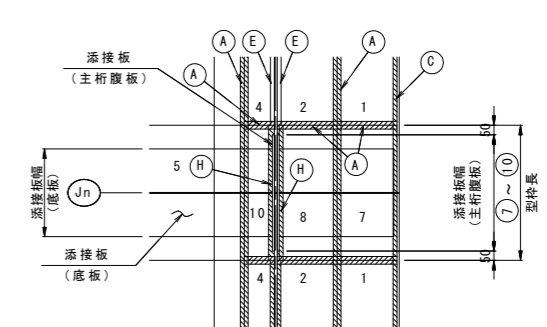
注⑦～⑩型枠長：各継手位置において、最大添接板幅+100mm程度。

但し、横桁や側板腹起こし材などの他の分割位置と接近する場合は、この限りではない。

中間垂直補剛材部



横継手部



<説明1：型枠分割位置>

- Ⓐ：床版打ち下ろし部 (S1, S2 ライン)
- Ⓑ：端部用型枠部
- Ⓒ：側板腹起こし材部
- Ⓓ：横桁部
- Ⓔ：横継手部 (添接板幅+100mm)
- Ⓕ：横継手部
- Ⓖ：主桁間

<説明2：型枠分割位置>

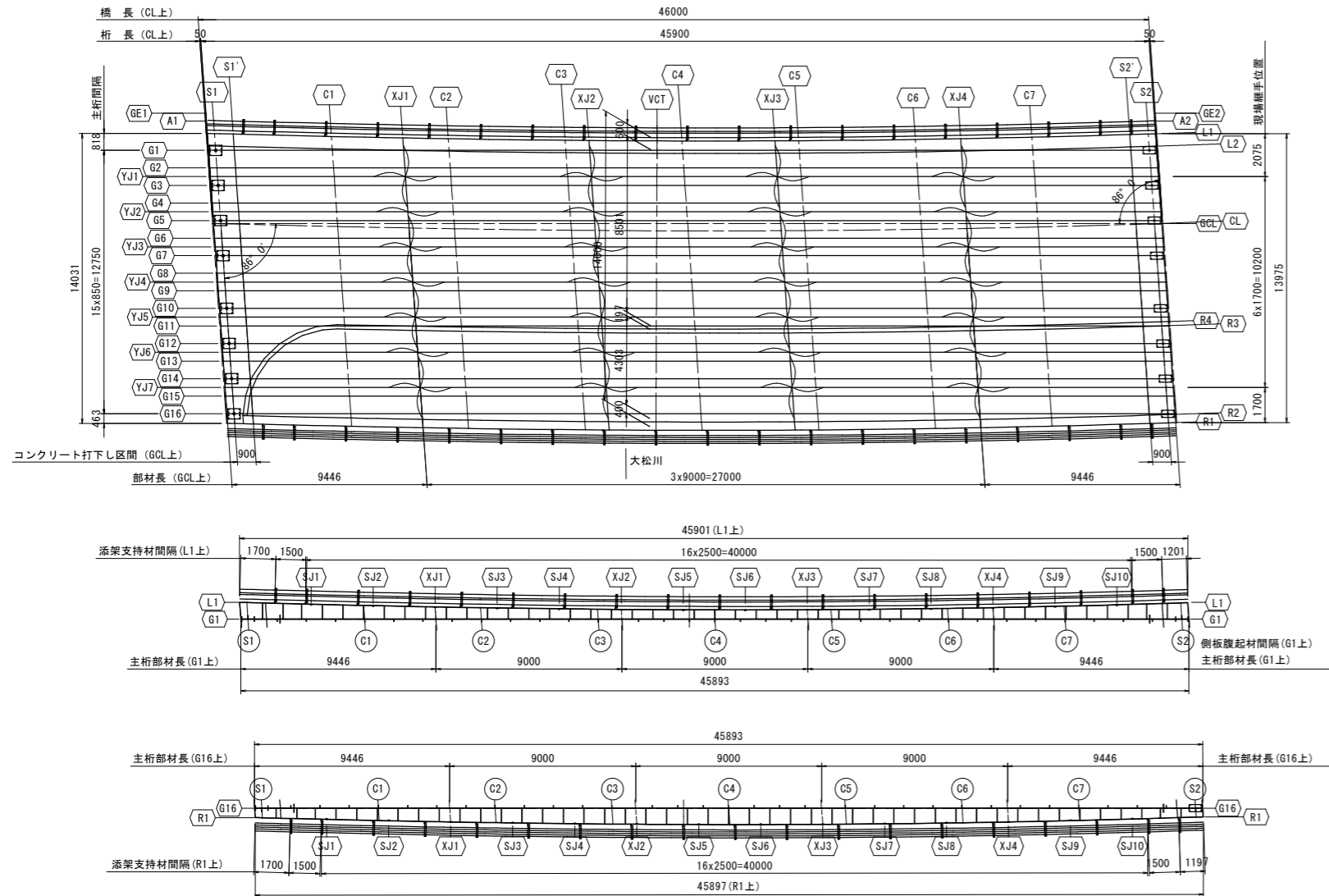
- Ⓐ：型枠と型枠の接触ライン
- Ⓑ：型枠と底板の接触ライン
- Ⓒ：型枠と側板の接触ライン
- Ⓓ：型枠と側板腹起こし材の接触ライン
- Ⓔ：型枠と主桁腹板の接触ライン
- Ⓕ：型枠と横桁上面の接触ライン
- Ⓖ：型枠と中間垂直補剛材の接触ライン
- Ⓗ：型枠と横継手部(主桁腹板)の隙間

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

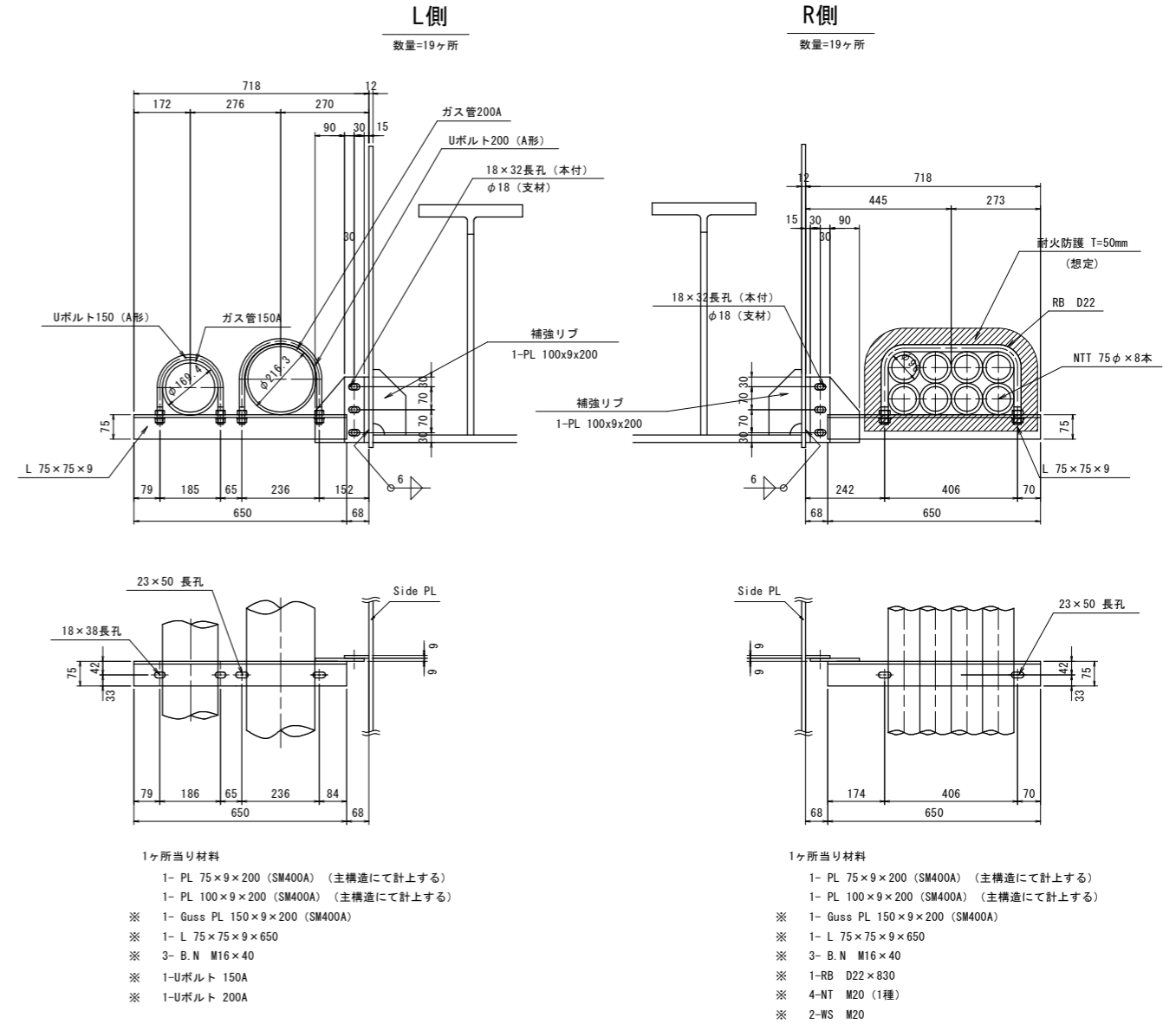
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	埋込型枠詳細図(その2)
縮尺	1:20 図面番号 46/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

添架物支持材(参考図) S=1:150

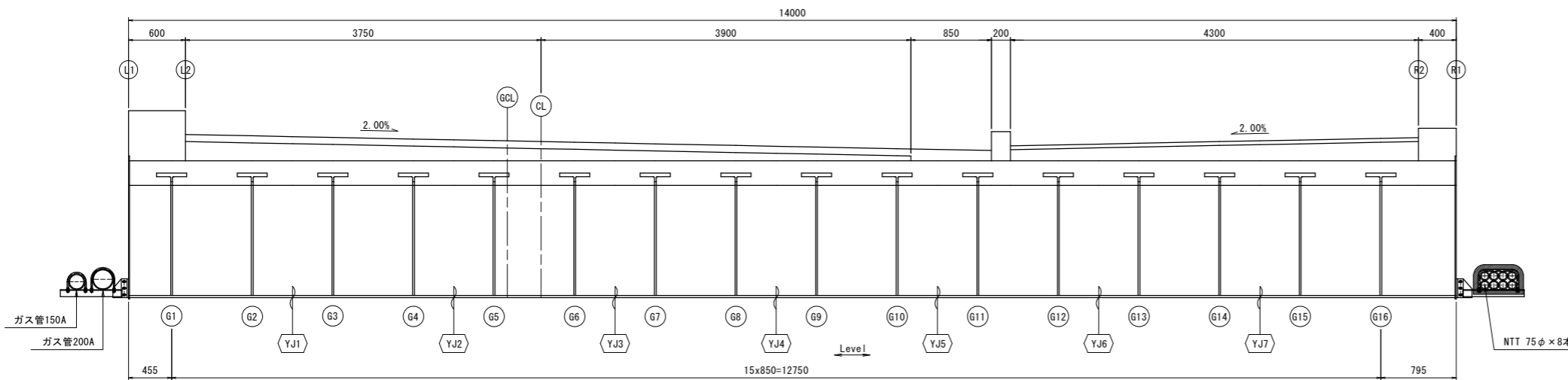
平面図 S=1:150



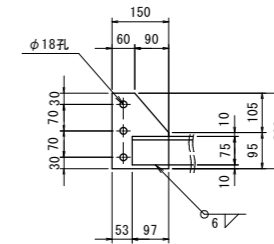
添架物支材詳細図 S=1:10



断面図 S=1:30



ガセット詳細 S=1:10

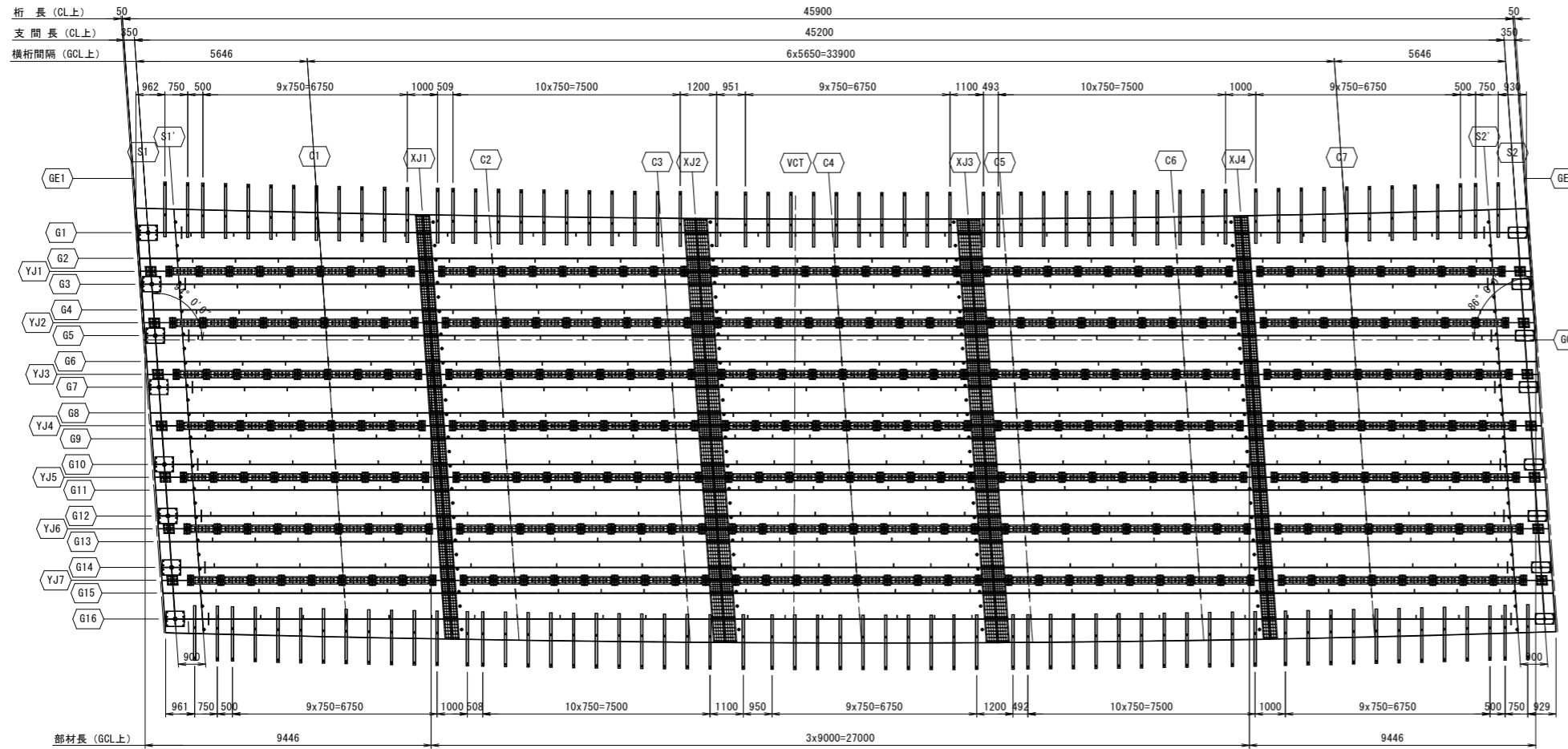


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ※印の材料は、溶融亜鉛メッキとする。付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト、ナット類はHDZ35とする。

当初設計図面 縮小版 参考図
【上部工設計図面】

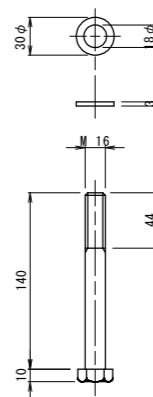
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	添架物支持材(参考図)
縮尺	1:150 図面番号 47/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

足場詳細図(参考図) S=1:10

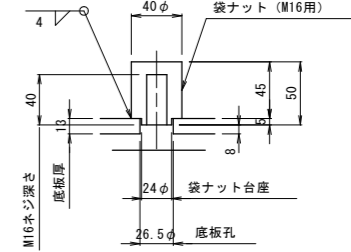


六角ボルト・ナット・座金 S=1:3

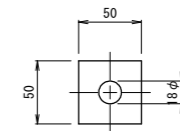
六角ボルト・座金



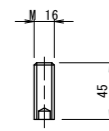
袋ナット



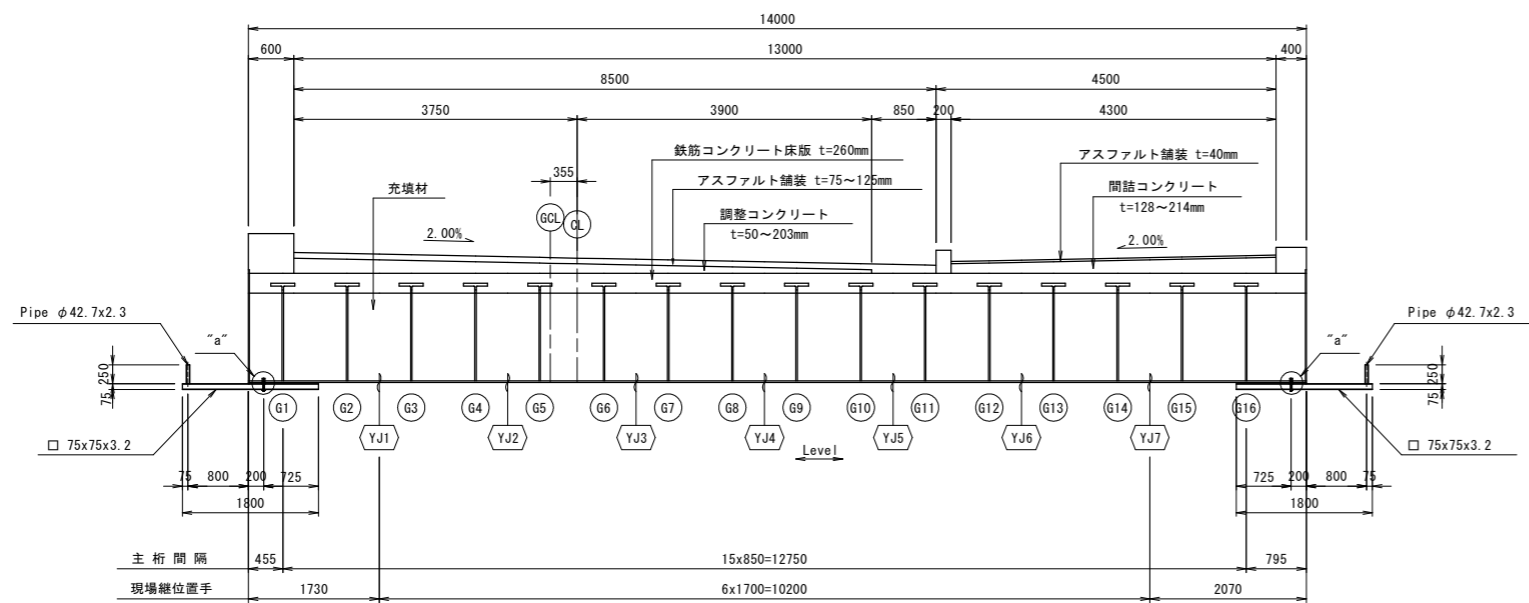
FILL PL



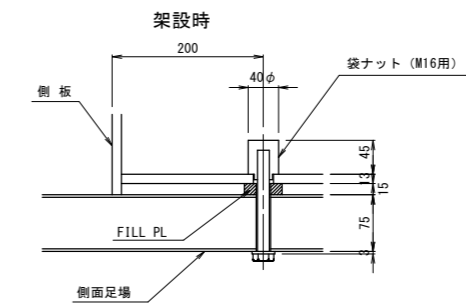
六角穴付止めネジ



断面図 S=1:50

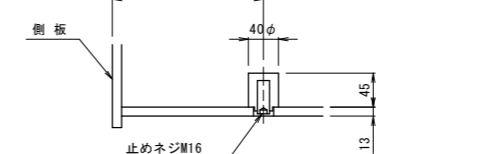


"a"部詳細 S=1:5



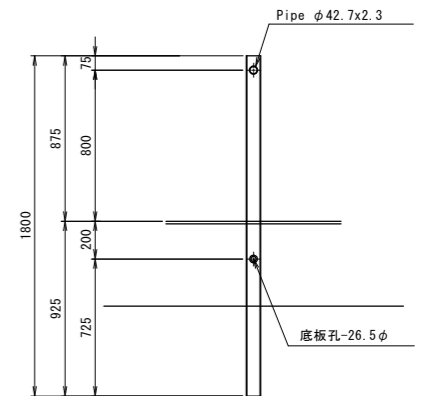
- 1-FILL PL 50x15x50(SS400) ... 150ヶ
- 1-六角ボルト M16x140(SS400) (1-W付) ... 150本

完成時



- 1-袋ナット RB40φx50(SS400, 電気メッキ) ... 150ヶ
- 1-六角穴付止めネジ M16x45(SS400, 電気メッキ) ... 150本

"b"部詳細 S=1:20

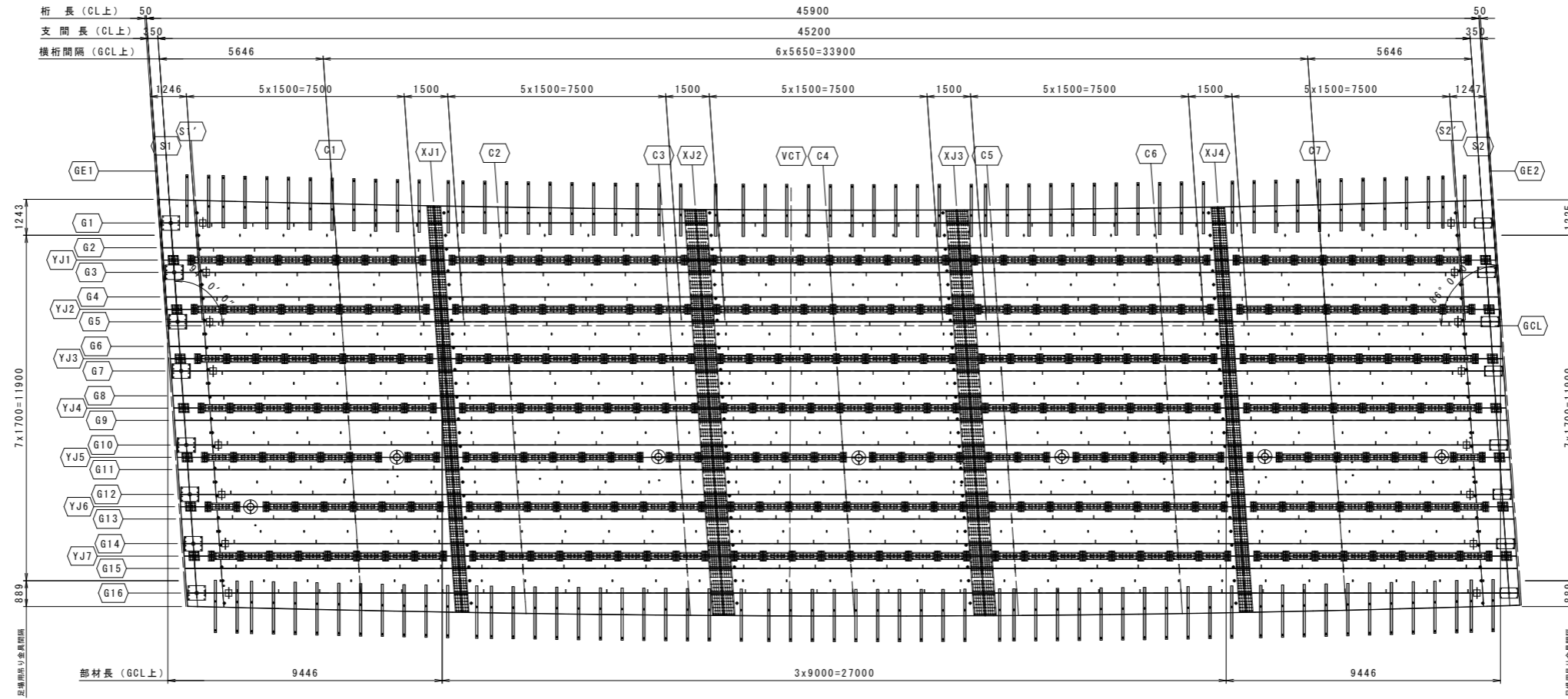


- 注記
1. 本図は参考図として数量は面積のみ計上する。

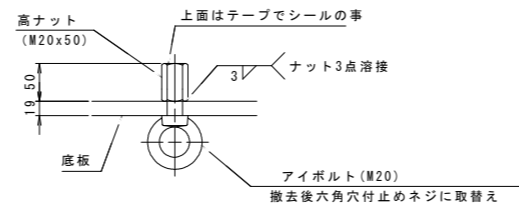
当初設計図面 縮小版 参考図
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	足場詳細図(参考図)
縮尺	1:10 図面番号 48/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

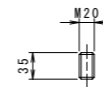
足場用吊り金具詳細図(参考図) S=1:100



足場用吊り金具 S=1:5



六角穴付止めネジ



製作数： 240組
 ※ 1-アイボルト M20x 50
 1-高ナット M20x 50
 ※ 1-六角穴付止めネジ M20x 35

注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ※ 印付の材料は、溶融亜鉛メッキとする。
 (付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
 ただし、ボルト、ナット類は、HDZ35とする。)

当初設計図面 縮小版 参考図
 【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	足場用吊り金具詳細図
縮尺	1:100 図面番号 49/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

塗装仕様

1、使用鋼材と基本塗装系

使用箇所	使用鋼材	塗装仕様
一般外面	普通鋼材	C-5外面塗装系
一般内面	普通鋼材	D-5内面塗装系
塗替塗装困難部	普通鋼材	D-5塗装系+増塗り1回(桁端)
コンクリート接触面(内面)	普通鋼材	プライマー処理

2、現場継手部

使用箇所	塗装仕様
一般外面	ボルト継手部 F 1 1 現場継手部塗装系
添接板接触面	F 1 1 現場継手部塗装系(工場塗装まで)
一般内面	ボルト継手部 F 1 2 現場継手部塗装系
添接板接触面	F 1 2 現場継手部塗装系(工場塗装まで)

3、塗装仕様

■一般外面の塗装仕様 C-5 塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
橋梁製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		6ヶ月以内
	防食下地	無機ジnkリッチペイント	600 75	
	ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160 -	4時間以内
	下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540 120	1日~10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170 30	1日~10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140 25	1日~10日

- 注) 1. 使用量はスプレーの場合を示す。
 注) 2. プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
 注) 3. 隠ぺい力が劣る有機着色顔料を使用した塗色の上塗りは2回以上塗装する必要がある。

■内面用塗装仕様 D-5 塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
橋梁製作工場	2次素地調整	動力工具処理 ISO St 3		6ヶ月以内
	第1層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410 120	
	第2層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410 120	4時間以内
現場塗装	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		1日~10日
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	160 (130) -	
現場塗装	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗	1100 (500*2) 300	1日~10日

注) プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。

■塗替塗装困難部 塗装仕様 D-5 塗装系+増塗り1回

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
橋梁製作工場	2次素地調整	動力工具処理 ISO St 3		6ヶ月以内
	第1層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410 120	
	第2層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410 120	4時間以内
	第3層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410 120	1日~10日

- 注) 1. プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
 注) 2. 桁端部は漏水などにより発錆しやすいことから増塗する。
 (設計施工マニュアル[橋梁マニュアル]「東北地方整備局」参照)

■コンクリート接触面(埋め込み部)の塗装仕様

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
製橋梁工場	2次素地調整	動力工具処理 ISO St 3		-
	-	-	-	-

- 注) 1. 補修する場合は、有機ジnkリッチペイントにて行なう。
 注) 2. 鋼道路橋塗装・防食便覧11-24参照。

■高力ボルト連結部の塗装仕様 F-1 1 塗装系

【一般部塗装系 C-5】

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
橋梁製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		6ヶ月以内
	下塗	無機ジnkリッチペイント	600 75	
現場塗装	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		4時間以内
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	160 (130) -	
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗	1100 (500*2) 300	6ヶ月以内
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170 (140) 30	1日~10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140 (120) 25	1日~10日

- 注) 1. 塗料使用量：スプレーとし、()内ははけ・ローラー塗りの場合を示す。
 注) 2. プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。

■高力ボルト連結部の塗装仕様 F-1 2 塗装系

【一般部塗装系 D-5】

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
橋梁製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		6ヶ月以内
	下塗	無機ジnkリッチペイント	600 75	
現場塗装	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		4時間以内
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	160 (130) -	
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗	1100 (500*2) 300	6ヶ月以内
現場塗装	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		1日~10日
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗	1100 (500*2) 300	

- 注) 1. 塗料使用量：スプレーとし、()内ははけ・ローラー塗りの場合を示す。
 注) 2. プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。

■高力ボルト連結部接触面の塗装仕様(便宜上F-1 1' F-1 2' と称す)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚(μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	160 (15)	
橋梁製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		6ヶ月以内
	下塗	無機ジnkリッチペイント	600 75	

注) 塗装系F-11'、F-12'は正式名称ではないので注意のこと。

当初設計図面 縮小版

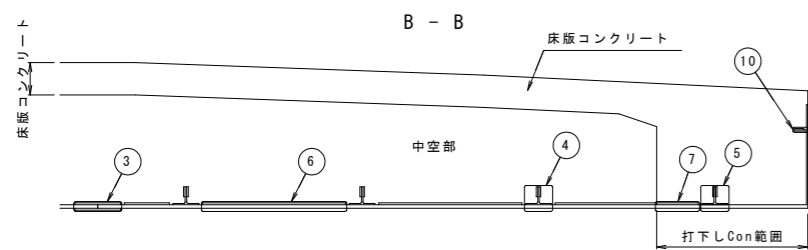
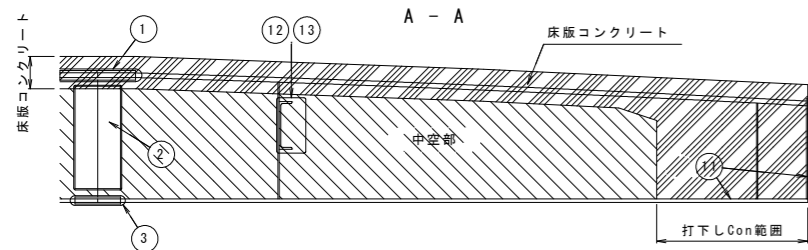
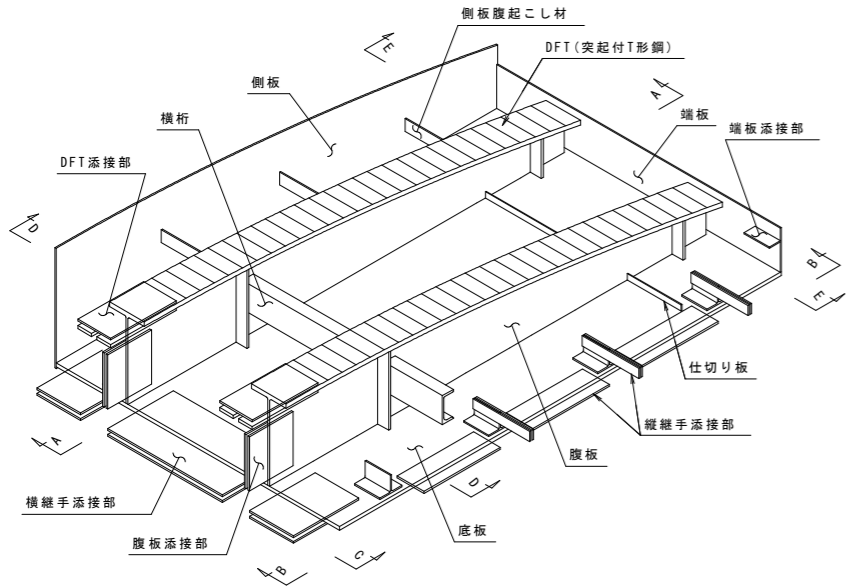
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町		
図面名	塗装仕様		
縮尺	1:1	図面番号	50 / 56
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎		

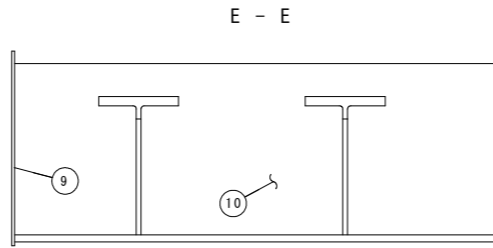
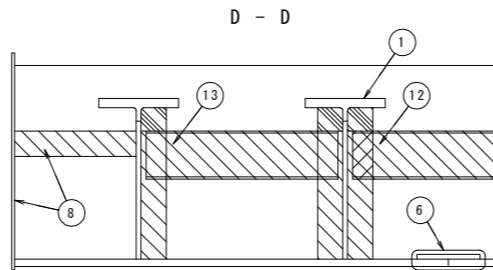
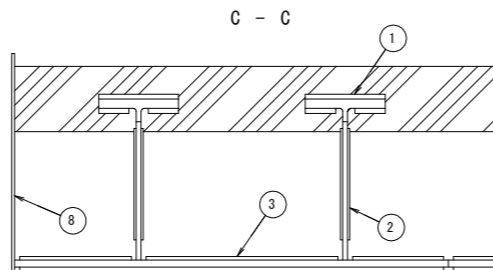
塗装塗り区分図

塗り分け概略図

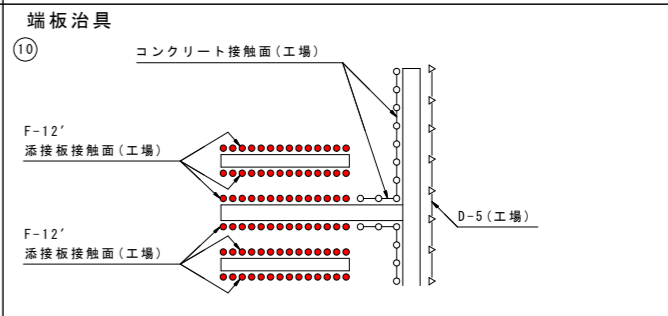
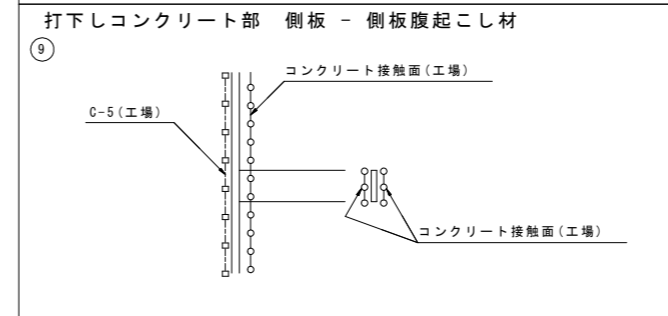
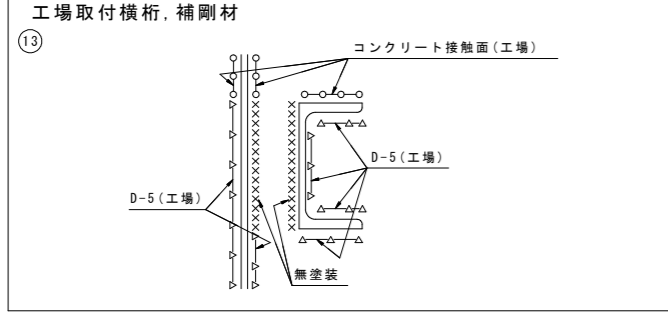
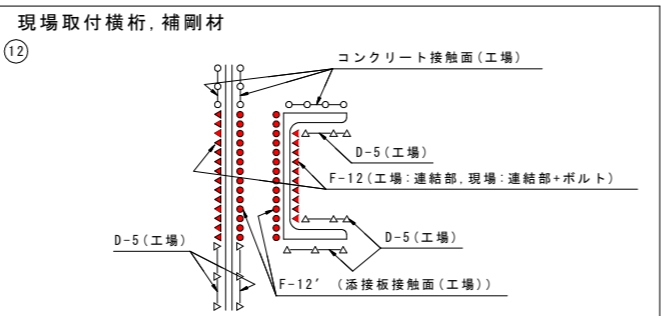
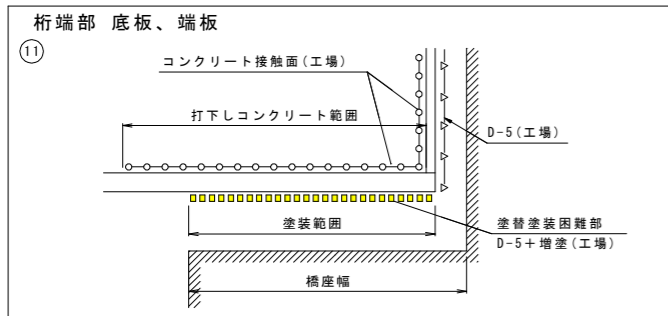
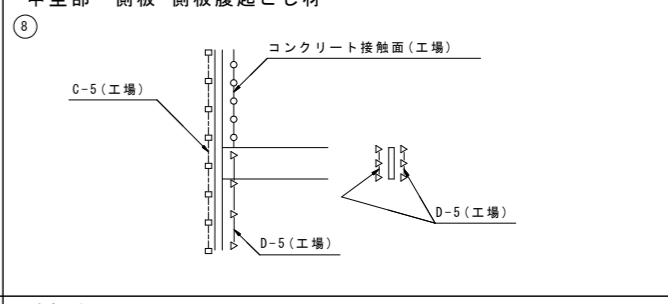
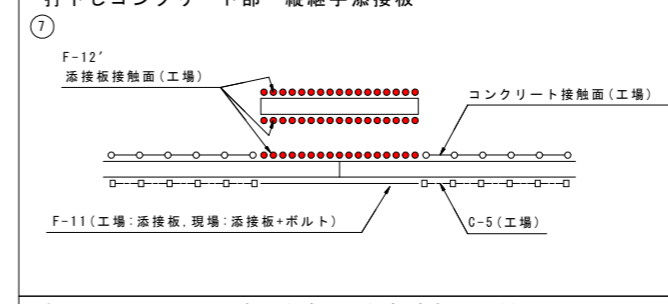
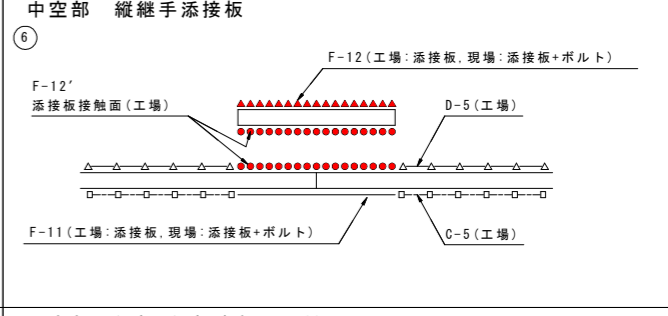
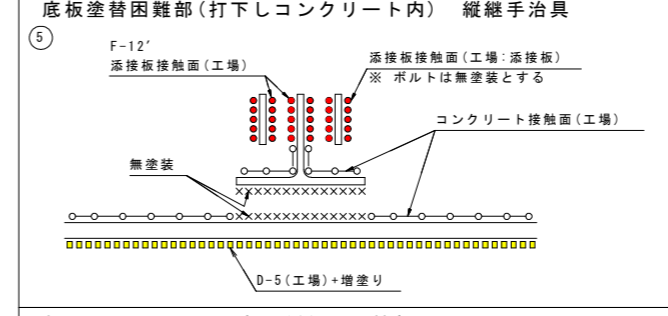
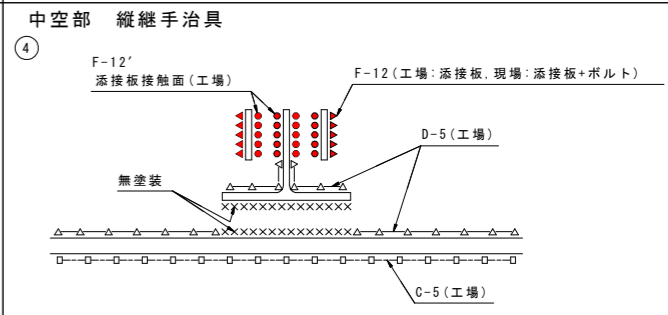
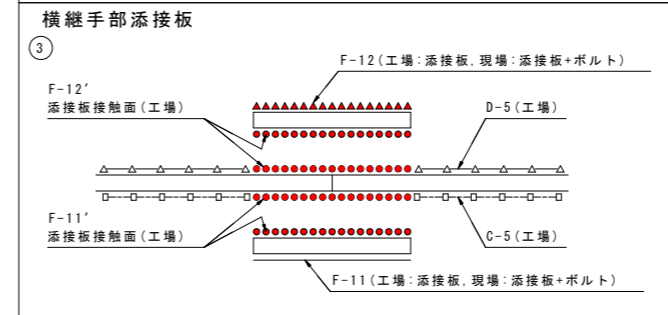
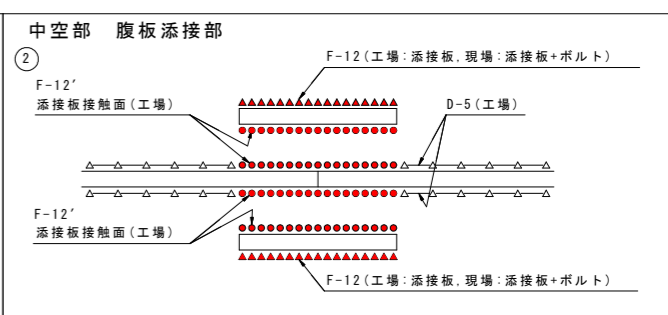
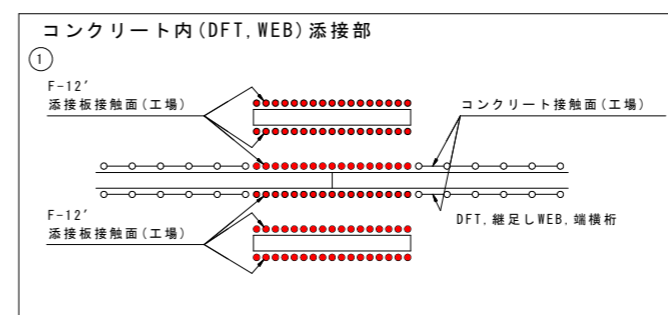
中空タイプ
普通鋼材仕様



△-△-△	D-5(工場)
□-□-□	C-5(工場)
○-○-○	コンクリート接触面(工場)
▲▲▲▲▲	F-12(工場:添接板,現場:添接板+ボルト)
■	F-11(工場:添接板,現場:添接板+ボルト)
□□□□□	D-5(工場)+増差し
●●●●●	F-11',F-12'(添接板接触面(工場))
xxxxxxx	無塗装



各部塗り分け図

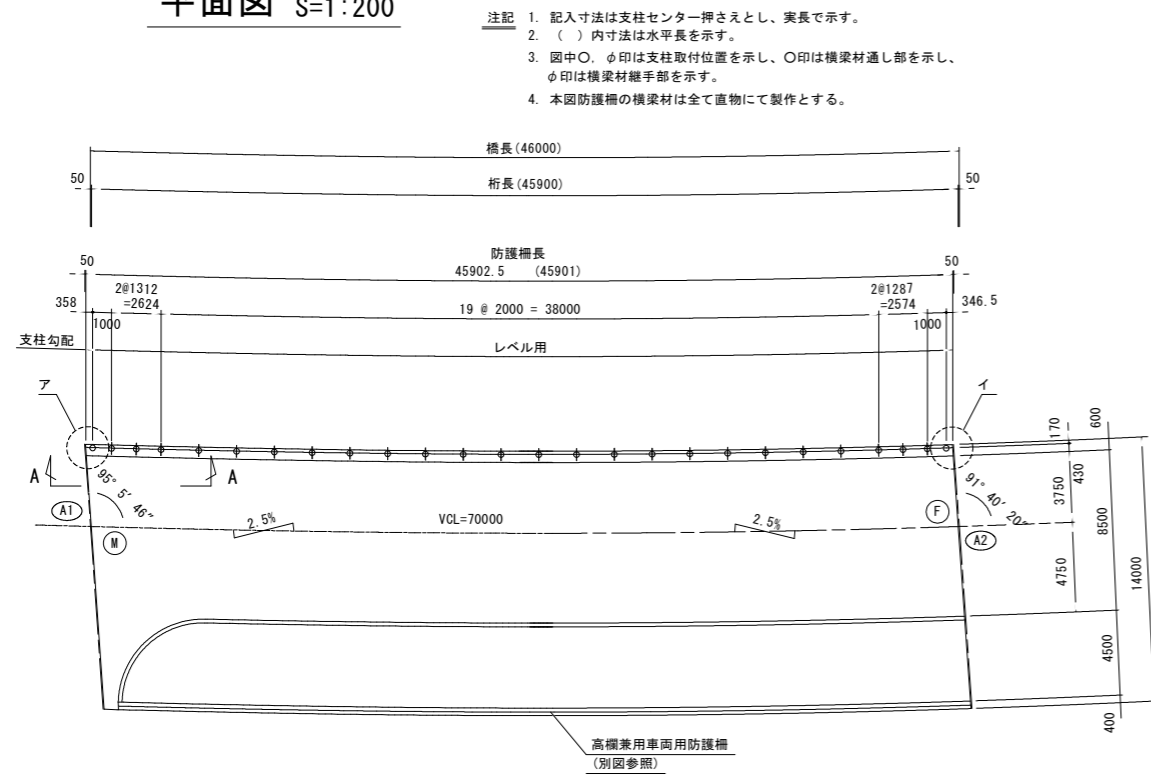


当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	塗装塗り区分図
縮尺	図示 図面番号 51 / 56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

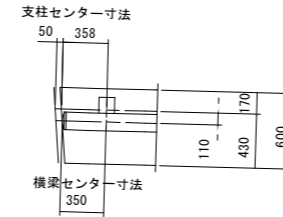
防護柵詳細図(その1) S=1:30

平面図 S=1:200

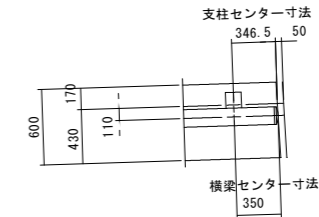


- 注記
1. 記入寸法は支柱センター押しえとし、実長で示す。
 2. () 内寸法は水平長を示す。
 3. 図中○、φ印は支柱取付位置を示し、○印は横梁材通し部を示し、φ印は横梁材継手部を示す。
 4. 本図防護柵の横梁材は全て直物にて製作とする。

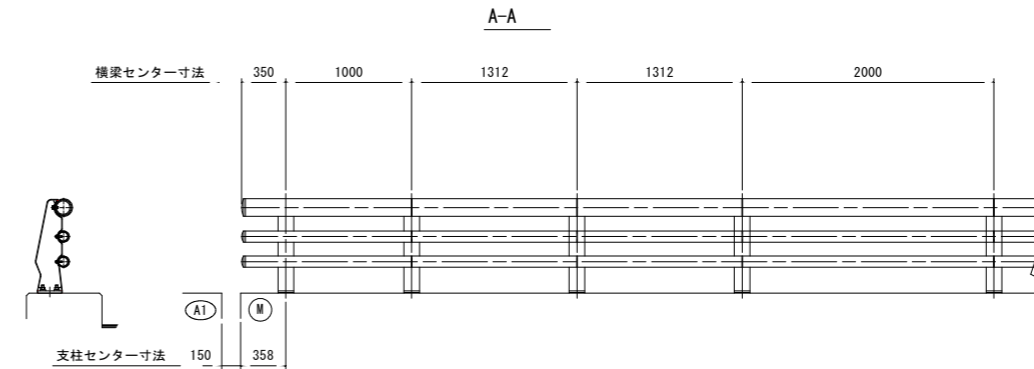
ア部詳細図



イ部詳細図

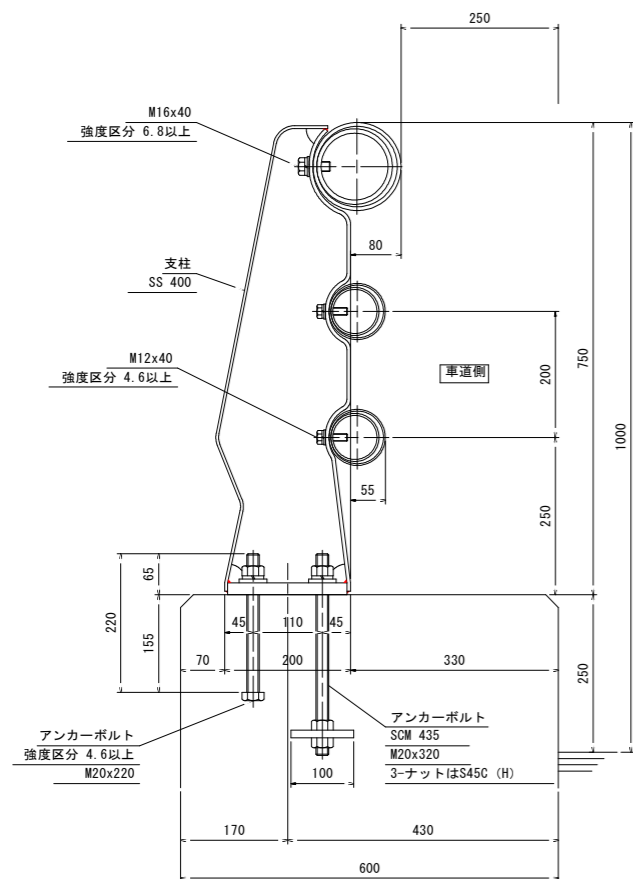


姿図 S=1/30

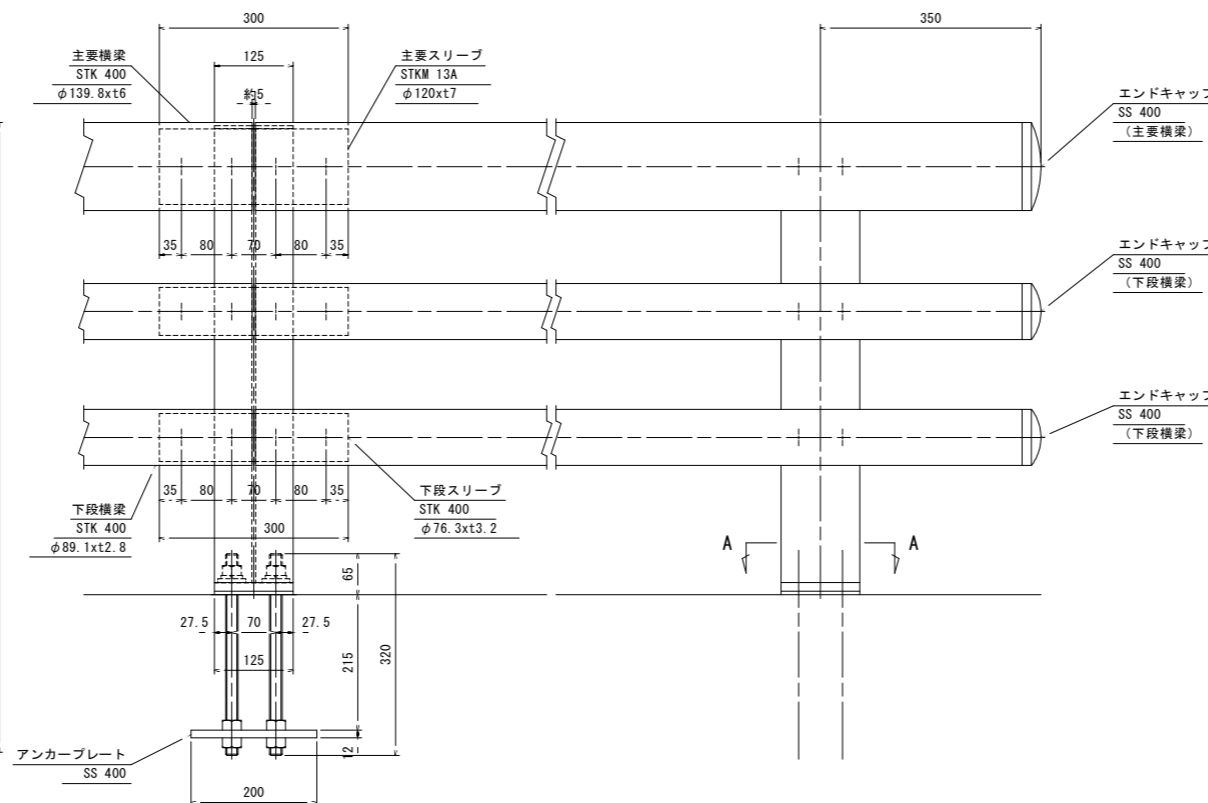


車両用防護柵取付詳細図 S=1:6

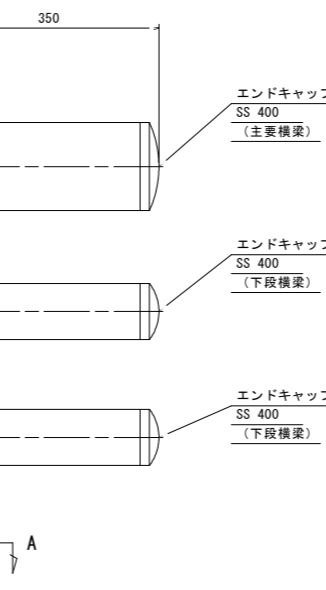
(種別 A種)



継手部



端部



材料表

(20.35m当り)

部番	名称	寸法	材質	単重	数量	重量
1	支柱	750x200x125	SS400	16.64 Kg/本	11 本	183.0
2	主要横梁	φ139.8x t6	STK400	19.80 Kg/m	20.35 m	402.9
3	下段横梁	φ89.1x t2.8	"	5.96 Kg/m	40.70 m	242.6
4	主要スリーブ	φ120x t7x300	STKM13A	5.85 Kg/コ	10 コ	58.5
5	下段スリーブ	φ76.3x t3.2x300	STK400	1.73 Kg/コ	20 コ	34.6
6	六角ボルト	M16 x 40	強度区分 6.8以上	0.12 Kg/本	42 本	5.0
7	"	M12 x 40	強度区分 4.6以上	0.06 Kg/本	84 本	5.0
8	アンカーボルト	M20 x 220	"	0.68 Kg/本	22 本	15.0
9	"	M20 x 320	SCM435	0.93 Kg/本	22 本	20.5
10	アンカープレート	t12x200x100	SS400	1.88 Kg/コ	11 コ	20.7
総重量				m当り重量		
					987.8 Kg	48.5 Kg/m

- 注記
1. 本防護柵の設計仕様は、「防護柵の設置基準・同解説」(平成28年12月(社)日本道路協会)による。
 2. 本防護柵本体の表面処理は、溶融亜鉛メッキ (HDZ 55) 仕上げとする。但し、肉厚3.0mm以下の部材は、HDZ 40とする。又、結合ボルト類及びアンカーボルト類の表面処理は、溶融亜鉛メッキ (HDZ 35) 仕上げとする。
 3. 本防護柵の支柱はレベル用 (0~1.5%対応) とする。
 4. 防護柵総延長 45M902.5(支柱センター) 46M078(横梁センター) コンクリート強度 σ_{ck}=21N/mm²

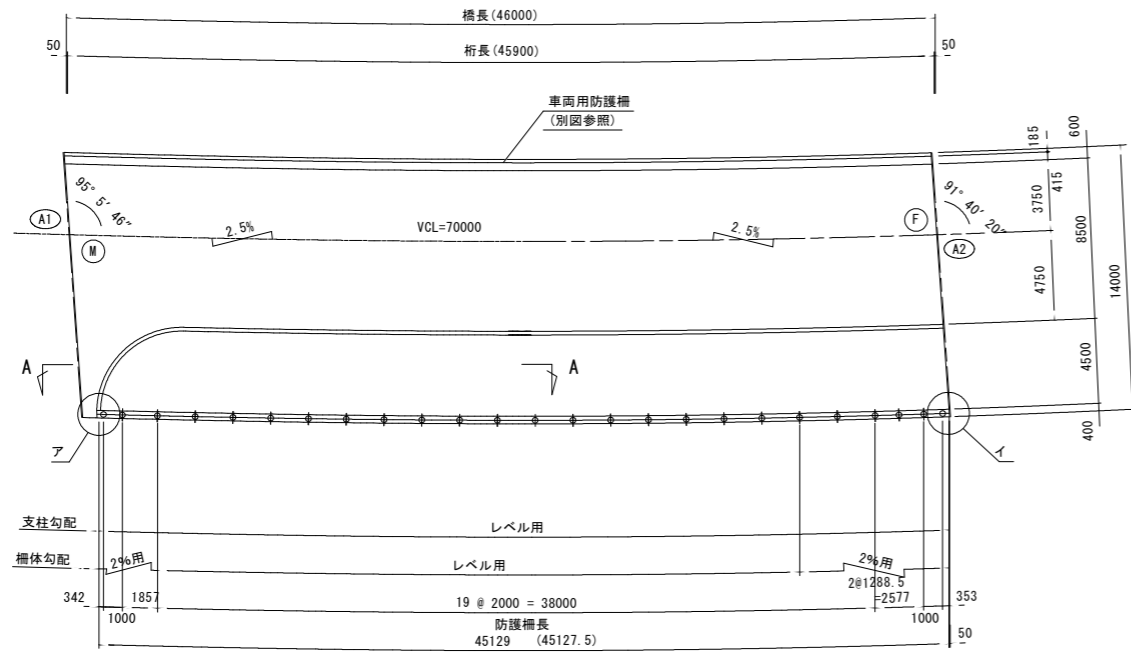
当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜~ 新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町~ 新浜本町
図面名	防護柵詳細図(その1)
縮尺	1:30 図面番号 52 / 56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

注記 1. 本防護柵の設計仕様は、「防護柵の設置基準・同解説」(平成28年12月(社)日本道路協会)による。

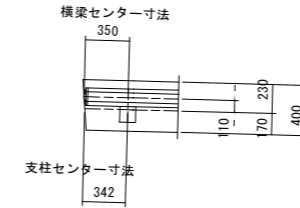
防護柵詳細図(その2) S=1:30

平面図 S=1:200

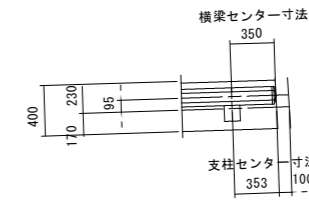


- 注記
- 記入寸法は支柱センター押さえとし、実長で示す。
 - () 内寸法は水平長を示す。
 - 図中○、φ印は支柱取付位置を示し、○印は横梁材通し部を示し、φ印は横梁材継手部を示す。
 - 本図防護柵の横梁材は全て直物にて製作とする。

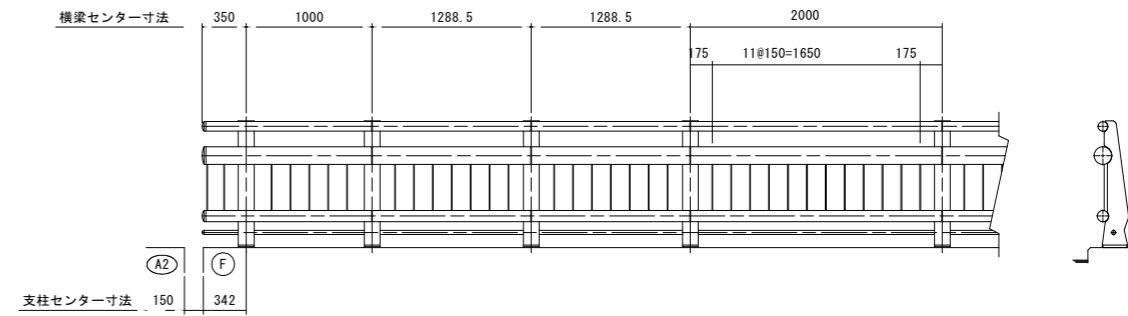
ア部詳細図



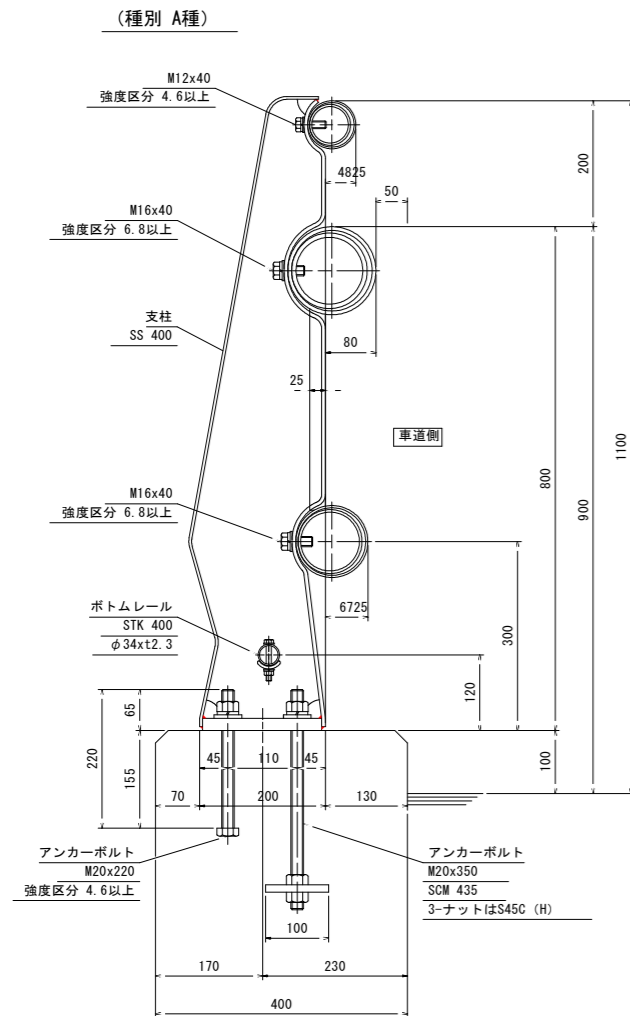
イ部詳細図



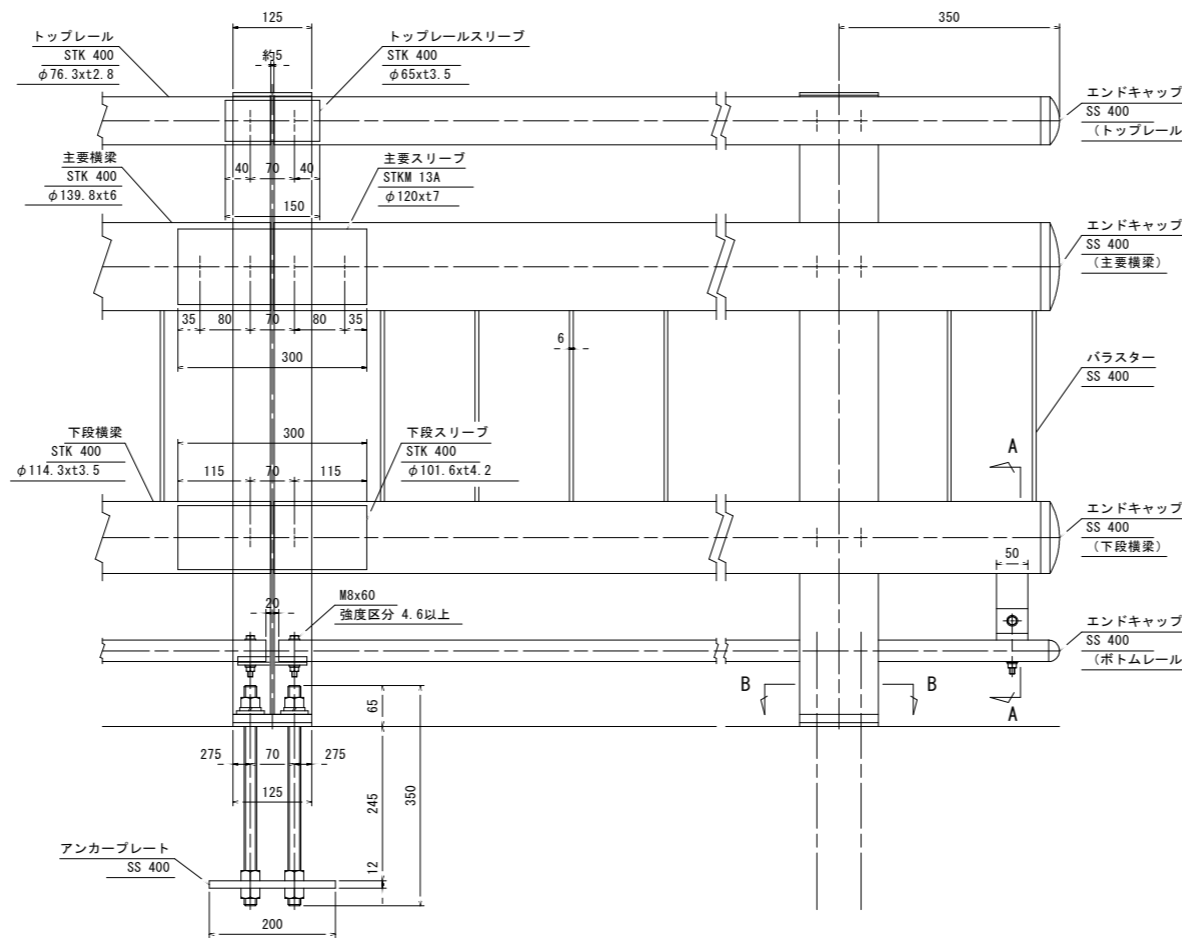
姿図 A-A



高欄兼用
車両用防護柵取付詳細図 S=1:6



継手部



端部

材料表 (20.35m当り)

部番	名称	寸法	材質	単重	数量	重量
1	支柱	1000x200x125	SS400	21.09 Kg/本	11 本	232.0
2	主要横梁	φ139.8x t6	STK400	19.80 Kg/m	20.35 m	402.9
3	下段横梁	φ114.3x t3.5	"	9.56 Kg/m	20.35 m	194.5
4	トップレール	φ76.3x t2.8	"	5.08 Kg/m	20.35 m	103.4
5	主要スリーブ	φ120x t7x300	STKM13A	5.85 Kg/コ	10 コ	58.5
6	下段スリーブ	φ101.6x t4.2x300	STK400	3.03 Kg/コ	10 コ	30.3
7	トップレールスリーブ	φ65x t3.5x150	"	0.80 Kg/コ	10 コ	8.0
8	ボトムレール	φ34x t2.3	"	1.80 Kg/m	20.13 m	36.2
9	バラスト	25x t6x320	SS400	0.38 Kg/本	121 本	46.0
10	六角ボルト	M16 x 40	強度区分 6.8以上	0.12 Kg/本	42 本	5.0
11	"	"	"	0.12 Kg/本	22 本	2.6
12	"	M12 x 40	強度区分 4.6以上	0.06 Kg/本	22 本	1.3
13	"	M8 x 60	"	0.04 Kg/本	22 本	0.9
14	アンカーボルト	M20 x 220	"	0.68 Kg/本	22 本	15.0
15	"	M20 x 350	SCM435	1.00 Kg/本	22 本	22.0
16	アンカープレート	t12x200x100	SS400	1.88 Kg/コ	11 コ	20.7
総重量				m当り重量		
					58.0 Kg/m	

- 注記
- 本防護柵の設計仕様は、「防護柵の設置基準・同解説」(平成28年12月 (社)日本道路協会)による。
 - 本防護柵本体の表面処理は、溶融亜鉛メッキ (HDZ 55) 仕上げとする。但し、肉厚3.0mm以下の部材は、HDZ 40とする。又、結合ボルト類及びアンカーボルト類の表面処理は、溶融亜鉛メッキ (HDZ 35) 仕上げとする。
 - 本防護柵の支柱はレベル用(0~1.5%対応)とする。
 - 防護柵総延長 45M129(支柱センター) 45M134(横梁センター)

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$

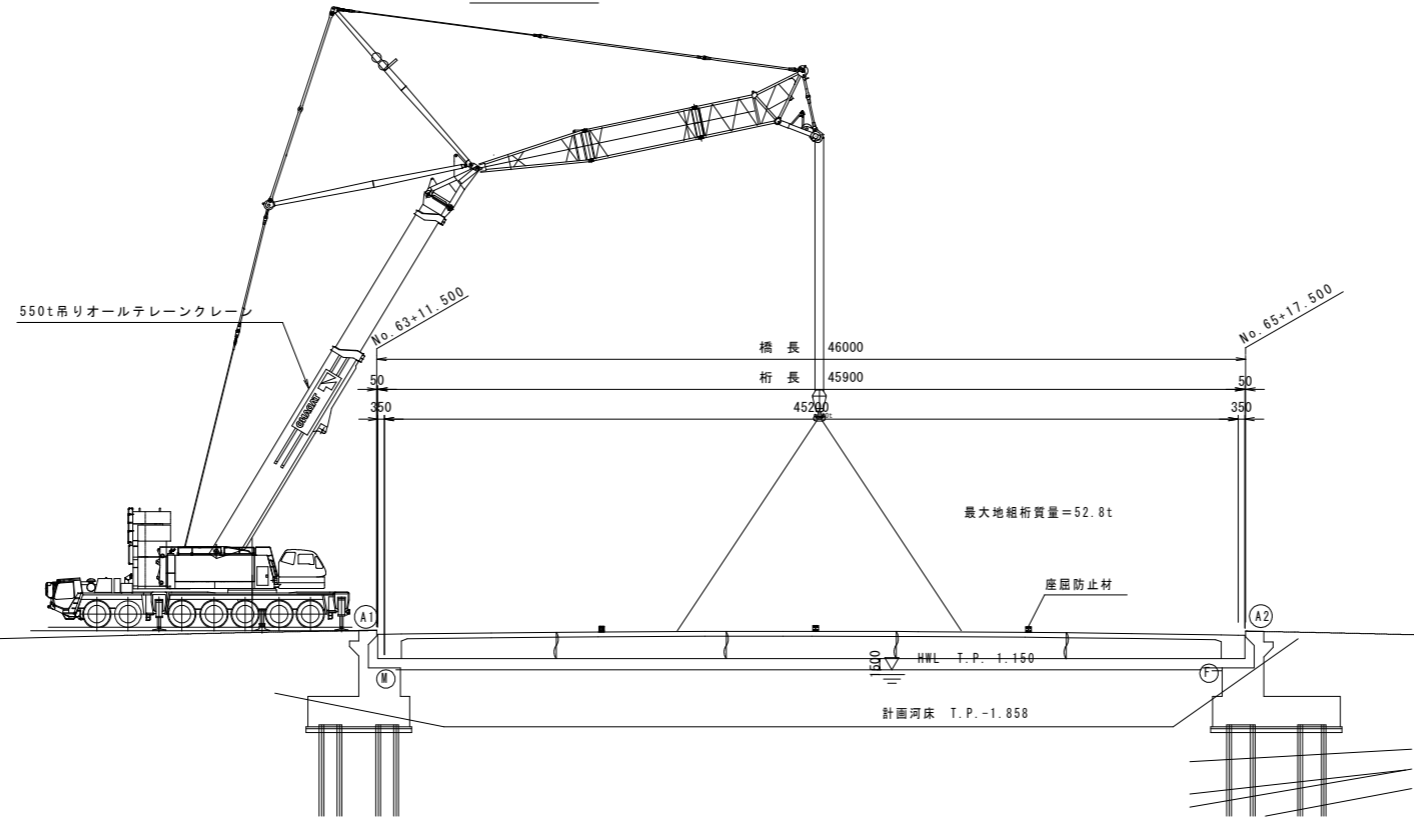
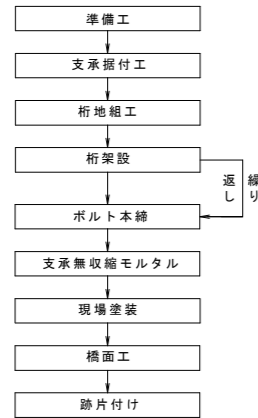
当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜~新浜本橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町~新浜本町
図面名	防護柵詳細図(その2)
縮尺	1:30 図面番号 53/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

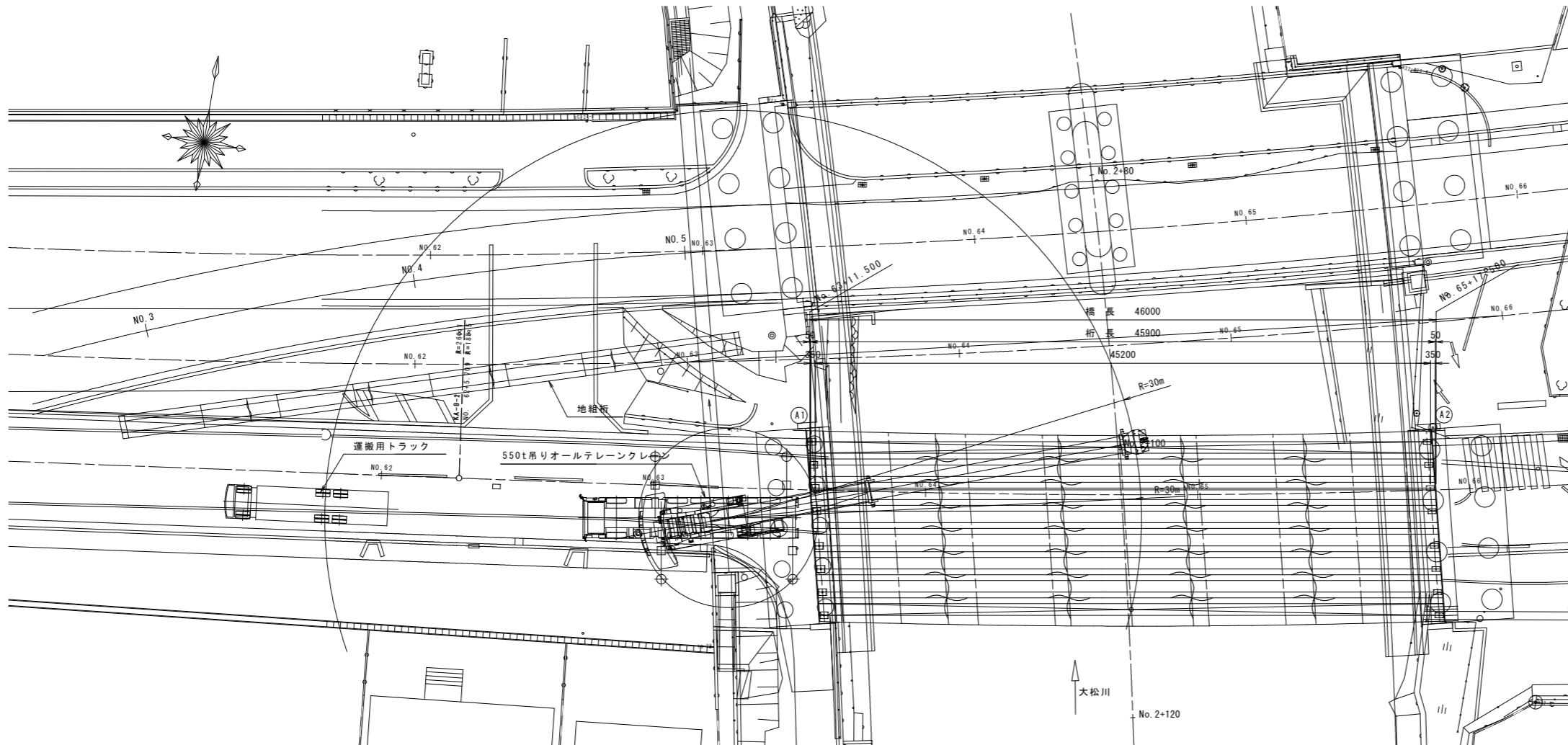
架設計画図(参考図) S=1:200

側面図

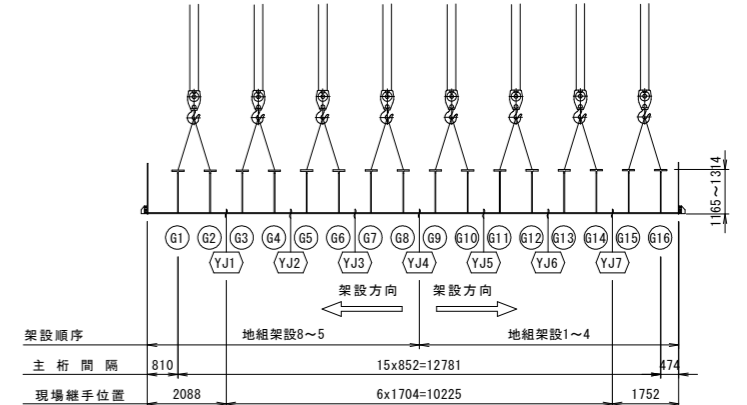
架設順序



平面図



断面図 S=1:100



クレーン選定基準 (MB+2.5+18mラフィングジブ)

吊上対象ブロック	吊上質量	56.2	t
ブーム長 : 26+2.5+18 m	吊上質量算出		
作業半径 : 30 m	架設質量	52.8	t
定格荷重 : 57.7 t	フック質量	1.9	t
オフセット角 : 45°	吊具+産屈防止材質量	1.5	t
	吊上質量	56.2	t

上記条件より使用クレーンは550t吊級オールテレーンクレーン

550t吊りオールテレーンクレーン定格総荷重 (AR5500M)

MB長さ (m)	オフセット			吊り荷重 (t)
	20°	30°	45°	
16.0	103.0 t	88.2 t	---	56.2
18.0	96.6 t	83.2 t	---	
20.0	90.4 t	78.8 t	67.1 t	
22.0	84.7 t	74.9 t	64.7 t	
24.0	75.6 t	71.5 t	62.6 t	
26.0	68.0 t	68.4 t	60.7 t	
28.0	61.4 t	62.6 t	59.1 t	
30.0	55.3 t	56.4 t	57.7 t	
32.0	49.9 t	50.8 t	51.8 t	

(80tフック質量1.87t+吊具、産屈防止材等質量1.5t=3.4t)

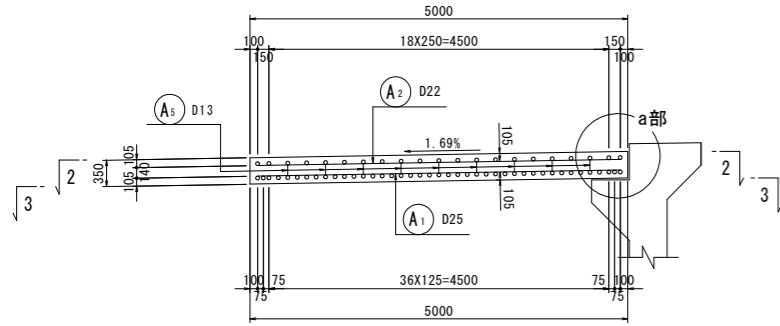
※桁架設時上フランジに産屈防止用仮架設材で補強すること。

当初設計図面 縮小版 参考図
【上部工設計図面】

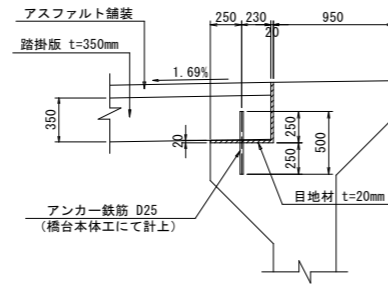
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	架設計画図(参考図)
縮尺	1:200 図面番号 54 / 56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

A1橋台踏掛版配筋図 S=1:50

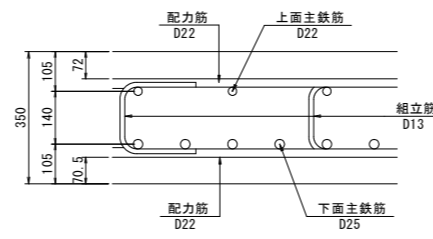
1-1
(断面図)



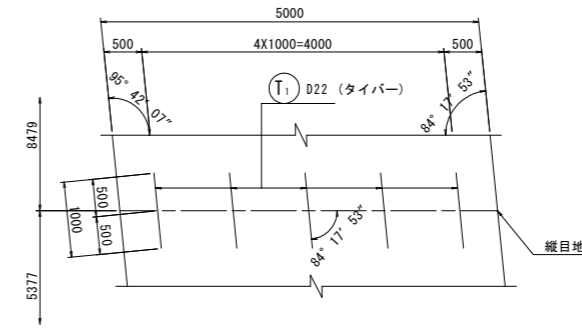
a部詳細図 S=1:30



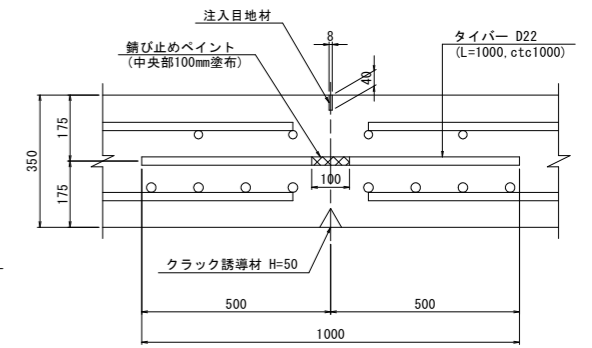
組立筋詳細図 S=1:10



タイバー配置図

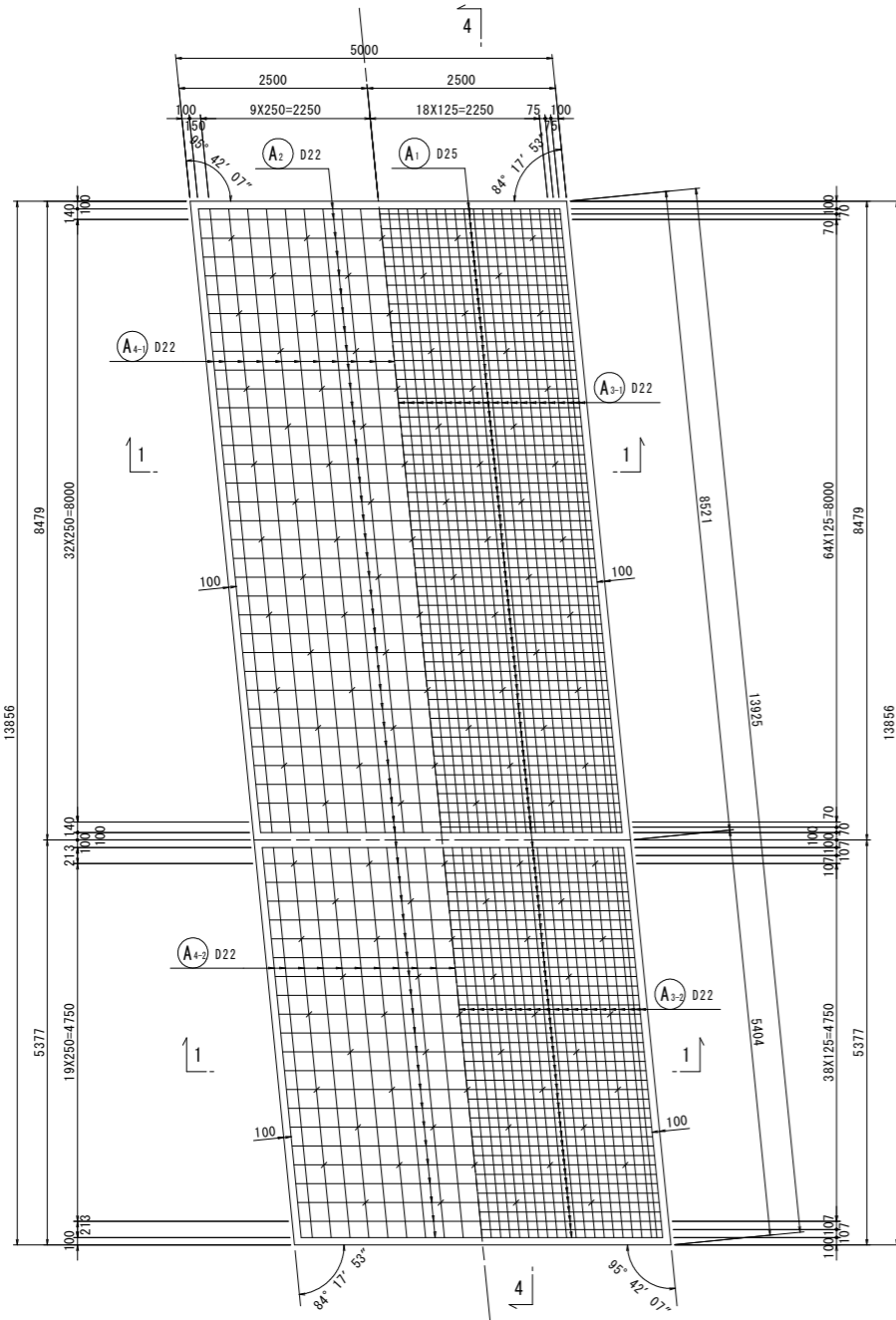


縦目地詳細図 S=1:10

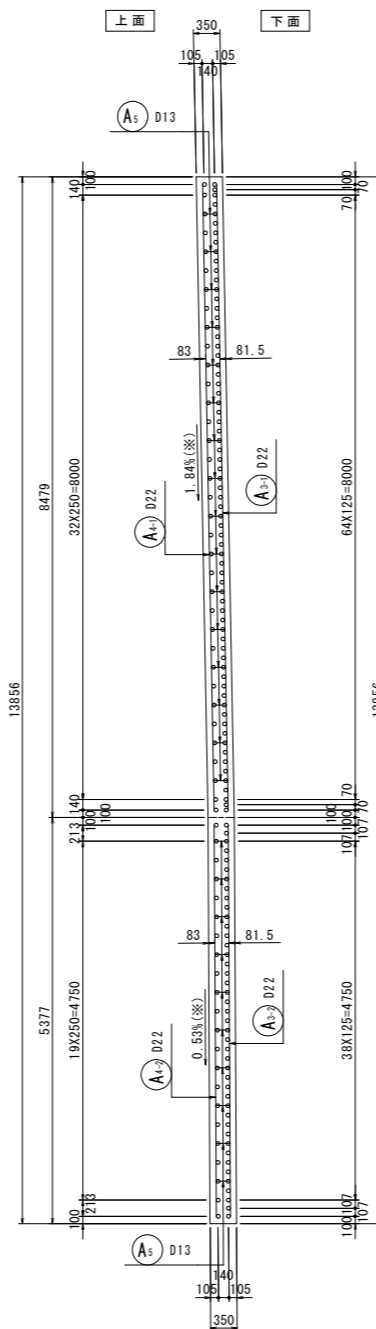


2-2
(上面)

3-3
(下面)



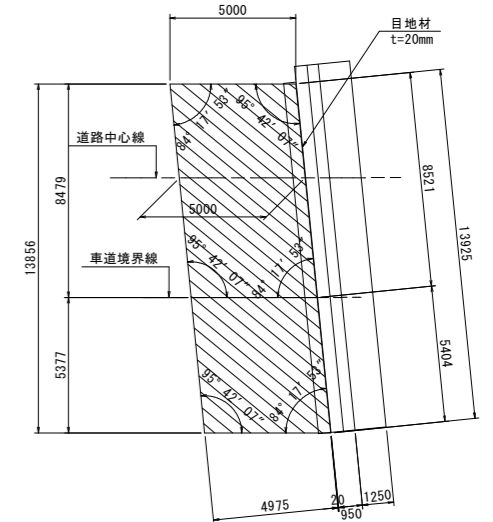
4-4
(断面図)



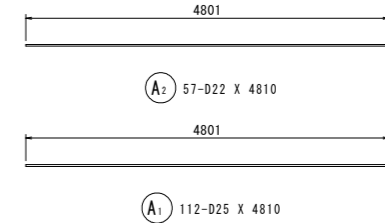
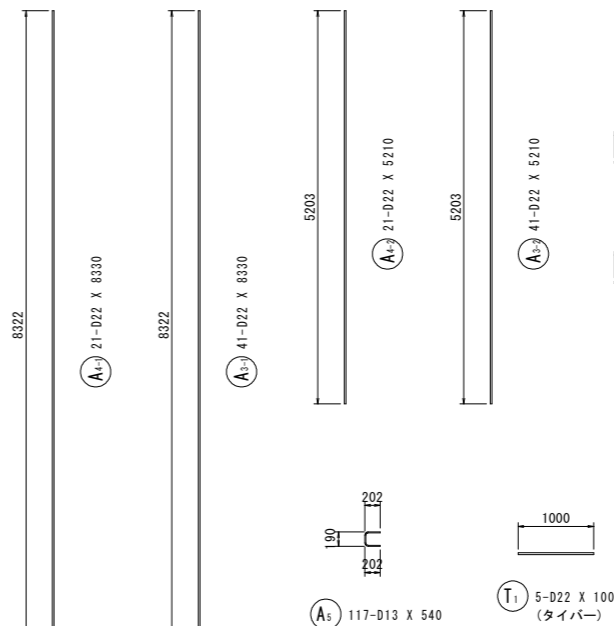
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D25	4810	112	3.98	19.14	2144	—
A ₂	D22	4810	57	3.04	14.62	833	—
A ₃₋₁	D22	8330	41	3.04	25.32	1038	
A ₃₋₂	D22	5210	41	3.04	15.84	649	
A ₄₋₁	D22	8330	21	3.04	25.32	532	
A ₄₋₂	D22	5210	21	3.04	15.84	333	
A ₅	D13	540	117	0.995	0.54	63	□
						5592	
T ₁	D22	1000	5	3.04	3.04	15	—
						15	
合計				D25	2144	kg	
				D22	3400	kg	
				D13	63	kg	
総質量					5607	kg	

マーク図 S=1:150



※ 勾配は、橋台方向の勾配を示す。

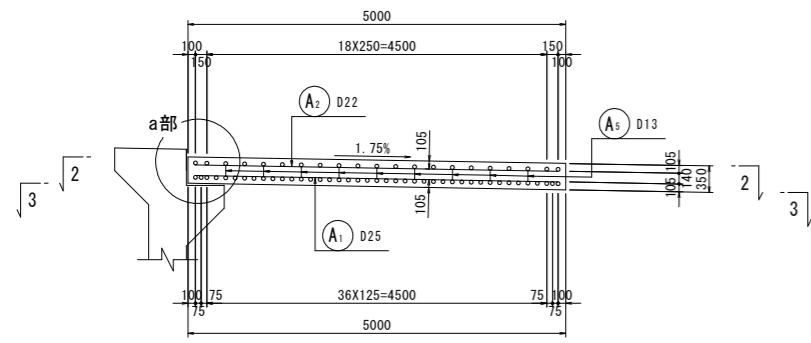


当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

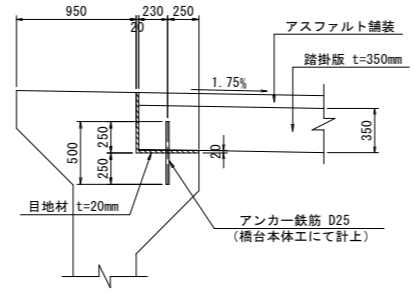
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	A1橋台踏掛版配筋図
縮尺	1:50 図面番号 55/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎

A2橋台踏掛版配筋図 S=1:50

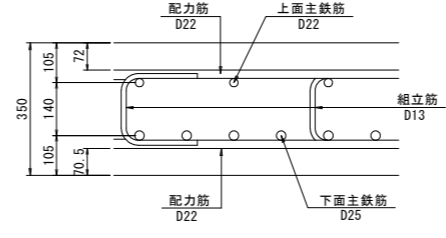
1-1
(断面図)



a部詳細図 S=1:30



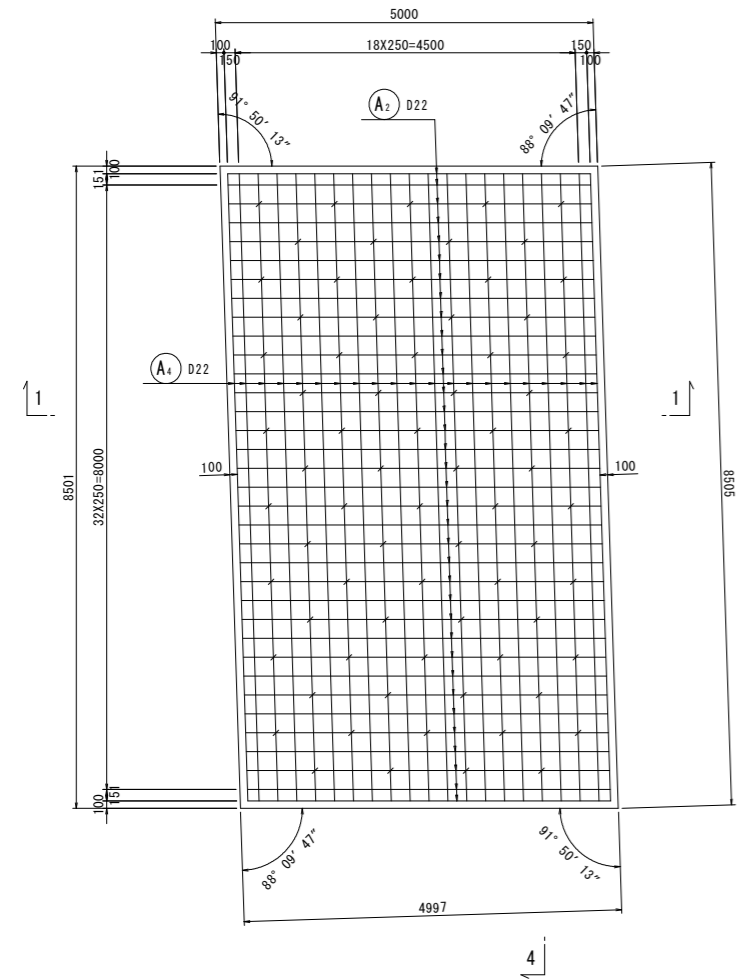
組立筋詳細図 S=1:10



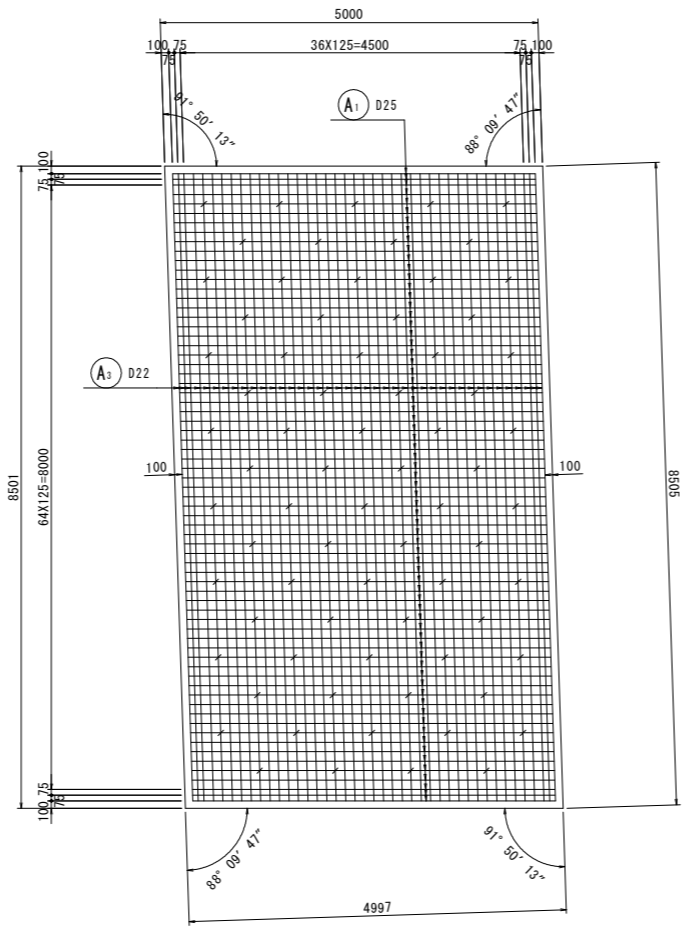
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A1	D25	4810	69	3.98	19.14	1321	—
A2	D22	4810	35	3.04	14.62	512	—
A3	D22	8310	41	3.04	25.26	1036	
A4	D22	8310	21	3.04	25.26	530	
A5	D13	540	72	0.995	0.54	39	C
						3438	
合計				D25	1321 kg		
				D22	2078 kg		
				D13	39 kg		
総質量					3438 kg		

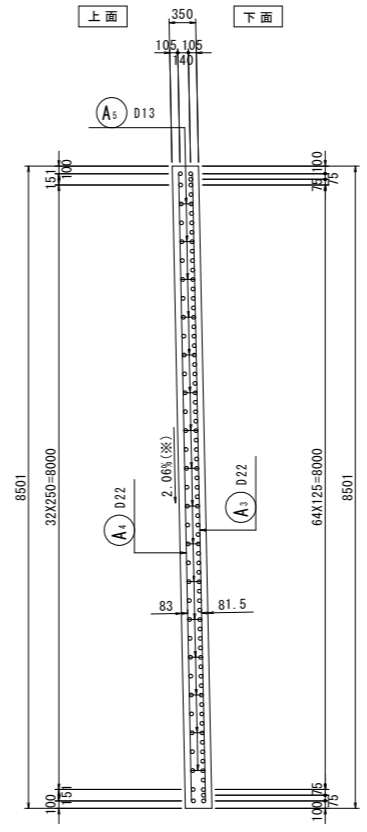
2-2
(上面)



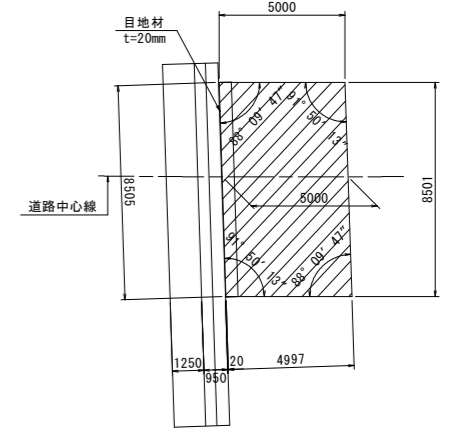
3-3
(下面)



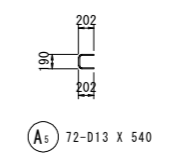
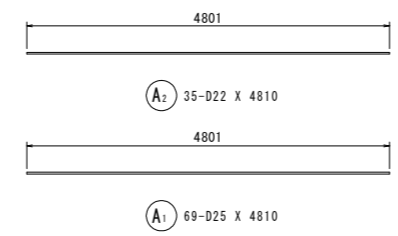
4-4
(断面図)



マーク図 S=1:150



※ 勾配は、橋台方向の勾配を示す。



「本図面は新JISA0101(2003)に基づき作成した図面である」(外形寸法)

当初設計図面 縮小版
【上部工設計図面】

工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・西新浜～新浜本 橋梁上部工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市西新浜町～新浜本町
図面名	A2橋台踏掛版配筋図
縮尺	1:50 図面番号 56/56
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 徳島庁舎